

PC98-NX SERIES

(Windows 98 インストール)

活用<mark>ガイド</mark> ソフトウェア編

アプリケーションの削除と追加

再セットアップするには

他のOSを利用するには

トラブルを解決するには





このマニュアルは、パソコンにインストールされているア プリケーションや添付されているアプリケーションを、削除 / 追加する方法について説明しています。

また、パソコンを使用中にトラブルが起こったときの対応や 解決方法、再セットアップの方法についても説明しています。

トラブルが起こったときは、まず、巻末の「索引」にある「ト ラブル解決 Q&A内容一覧」を見て、自分のパソコンで起き たトラブルを探してください。トラブルの種類別に分類して、 問題点を見つけやすくしています。トラブルの原因や解決 方法をよく読んで対処してください。

1999年 10月 初版

(Windows 98インストールモデル)

対象機種

VersaPro NX : VA46H/WX、VA40H/WX、VA40H/WT、VA40H/WS、VA33H/BS、VA33H/BC

このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



このマニュアルで使用している表記の意味

CD-ROMモデル	CD-ROMドライブを内蔵または添付しているモデルのことです。
FAXモデム内蔵モデル	FAXモデムを内蔵しているモデルのことです。
ワイヤレスモデム	本体にワイヤレス通信機能を内蔵し、別売のワイヤレスモデムステー ションやAtemIWシリーズと無線通信が可能なモデルのことです。
PIAFSモデル	PHSインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。
LAN内蔵モデル	LANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。
Office 2000モデル	Office 2000 Personalがあらかじめインストールされているモデル です。
一太郎モデル	ー太郎10、三四郎9、花子10、Sasukeがあらかじめインストールされ ているモデルのことです。
暗証番号機能モデル	セキュリティ用の暗証番号入力機能を搭載したモデルのことです。
[]	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」	「スタート」ボタンをクリックし、現われたポップアップメニューから「プ ログラム を選択し、横に現われたサブメニューから「アクセサリ」を 選択する操作を指します。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、 Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版
Windows 95	$\texttt{Microsoft}_{\circledast}$ $\texttt{Windows}_{\circledast}$ 95 <code>Operating System</code>
Windows 3.1	$\texttt{Microsoft}_{\circledast}\ \texttt{Windows}_{\circledast}\ \texttt{Operating System Version 3.1}$
Windows NT 4.0	$\texttt{Microsoft}_{\circledast}$ Windows $\texttt{NT}_{\circledast}$ Workstation Operating System Version 4.0
インターネット エクスプローラ	${\tt Microsoft}_{\circledast}$ Internet Explorer 5
Office 2000 Personal	Microsoft® Office 2000 Personal(Microsoft Word 2000、 Microsoft Excel 2000,Microsoft Outlook® 2000,Microsoft/ Shogakukan Bookshelf® Basic)
一太郎 10パック	ー太郎10・花子10パック(一太郎10、三四郎9、花子10、ATOK13)
RSA SecurPC	RSA SecurPC $^{\scriptscriptstyle \rm T\!M}$ for Windows® 95/98 Version 1.1.3J
Masty Data Backup	Masty Data Backup/F for Windows 95/NT
Acrobat Reader 3.0J	Adobe _® Acrobat™ Reader 3.0J

このマニュアルで使用しているイラストと画面

・本機のイラストや記載の画面は、モデルによって異なることがあります。

・本書に記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラ ムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進の ための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普 及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。 対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、 それぞれの基準ならびにマーケ、ロゴ」は参加各国の間で統一されています。

電波障害自主規制について

LAN内蔵モデル(VA33Hを除く)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

上記以外のモデル

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置 です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信 機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱い をしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

瞬時電圧低下について

[バッテリパックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。 電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリパックを取り付けている場合]

本装置にバッテリバック実装時は、社団法人日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの 瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不 都合が生じることがあります。

レーザ安全基準について

CD-ROMモデルには、レーザに関する安全基準(JIS・C-6802、IEC825) クラス1 適合のCD-ROMドラ イブが内蔵または添付されています。

ご注意

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。

- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお 気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセ ンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えします。ご購入元までご連絡ください。
- (4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらず いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備 や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害な どが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6)海外における保守・修理対応は、海外保証サービス[NEC UI traCare® 対象機種に限り、当社の定め る地域・サービス拠点にてハードウェアの保守サービスを行います。
- (7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft。Windows。98は本機でのみご使用ください。また、本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでしかご利用になれません(Intellisync、モバイルメールを除く詳細は、ソフトウェアのご使用条件」および、ソフトウェア使用条件適用一覧をお読みください。)
- (8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の 侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Active Movie、NetMeeting、Outlook、 Windows MediaおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国に おける商標または登録商標です。

商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ビーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許 諾を受けています。

「一太郎」花子」ATOK」「Voice一太郎10・花子10パック」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。 「Voice一太郎10・花子10パック」、「一太郎10・花子10パック」「Shuriken」 Sasuke」は、株式会社ジャ ストシステムの商標です。

「一太郎10・花子10パック」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「Voice一太郎10・花子10パック」「一太郎10・花子10パック」にかかる著作権その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

VirusScanは米国法人Network Associates, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

Puma Technology、Puma Technologyロゴ、DSX Technology、DSX Technologyロゴ、Intellisync およびIntellisyncロゴはいくつかの法域で登録することができるPuma Technology, Inc.の商標です。 Hayesは、米国Hayes Microcomputer Productsの登録商標です。

MNPは、Microcom, Inc.の登録商標です。

PS/2はIBM社が所有している商標です。

pcANYWHERE32およびpcAnywhereは、Symantec Corporationの米国における登録商標です。 AutoCrypt、Emergency Access、RC4ならびにGenuine RSA Encryption and Design、Interlocking Key Designのロゴマークは、米国Security Dynamics社の子会社である米国RSA Data Security社の 商標または登録商標です。

RSA SecurPCおよびSecurityDynamicsは米国Security Dynamics社の商標または登録商標です。 Adobe, AcrobatおよびAcrobat日ゴはAdobe Systems Incorporated アドビシステムズ社)の商標です。 IntelおよびLANDeskは、米国およびその他の国々におけるIntel Corporationの登録商標です。

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)は、Intel® LANDesk® Client Managerのテクノロジを使用しています。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 1999 日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェア合む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当 社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。(た だし、海外保証サービス NEC UltraCare®)対象機種については、海外でのハードウェ ア保守サービスを行います。)本製品の輸出については、外国為替及び外国貿易法に 基づいて通商産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸 出すると同法により罰せられます。輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂い た販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。



目

次

添付アプリケーションについて 1	1
添付アプリケーションの紹介	2
アプリケーションを使う前に	4
Office 2000 Personal	4 5
インターネットエクスプローラ	5
Intellisync	5 ೧
プレーヤ-NX	0
CyberAccess	1
Virusscan	9 0
Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)20	0
pcAnywhere 9.0 EX	0 1
Masty Data Backup 22	2
インターネット設定切替ツール	2 3
Virtual CD 2(VA33Hのみ)	3
自動メール受信ユーティリティ23	3
法付アプリケーションの追加と削除 20	2

PART



29
30
30 30
32
32
32
33
34
35
35
36
39
40
41

pcAnywhere 9.0 EX 4	42
RSA SecurPC 4	12
Masty Data Backup 4	43
インターネット設定切替ツール4	44
Virtual CD X VA33Hのみ)4	44
削除の前に	15
削除するときの注意 4	45
削除の準備 4	45
アイコン削除の準備 4	46
削除のしかた	17
Office 2000 Personal 4	47
一太郎10パック 4	48
Intellisync	49
NEC Soft MPEG1.0 4	49
プレーヤ-NX 5	50
Acrobat Reader 3.0J 5	51
CyberAccess5	51
VirusScan 5	52
英語モードフォント 5	53
Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)5	53
pcAnywhere 9.0 EX 5	54
RSA SecurPC5	54
Masty Data Backup 5	55
インターネット設定切替ツール5	56
Virtual CD 2(VA33Hのみ)5	56
再セットアップ 5	7
	''
再セットアップが必要な場合 5	58
こんなときは再セットアップが必要です 5	58
再セットアップの種類 5	58
再セットアップ時の注意 5	59
再セットアップの準備6	60
必要なものをそろえる6	30
システムインストールディスク(起動用)のバックアップをとる 6	31
ハードディスクのデータのバックアップをとる6	31
パソコンの設定を控える6	31
機器の進備をする。	20



標準再セットアップ	64
操作の流れ	64
システムを再セットアップする	64
カスタム再セットアップ	
~ 全領域を1パーティションにして再セットアップする	68
操作の流れ	68
システムを再セットアップする	68
カスタム再セットアップ	
~Cドライブのみを再セットアップする	71
操作の流れ	71
システムを再セットアップする	71
カスタム再セットアップ	
~ ハードディスクの領域を設定して再セットアップする	74
操作の流れ	74
現在のハードディスク領域を削除する	74
ハードディスクに新しい領域を作成する	80
ドライブを初期化する	87
システムを再セットアップする	89
Windows 98の設定をする	91
Office 2000 Personalの再セットアップ	93
Office 2000 Personalを再セットアップする	93
MS-IME 2000を再セットアップする	95
IMEツールバーを削除する	96
ー太郎10・花子10パックの再セットアップ	97
一太郎10パックをセットアップする	97
ショートカットやATOKパレットを削除する	99
各種の設定をする1	01
再セットアップ中にフォーマットできなかったドライブを	
初期化(フォーマット)する1	02
他の0Sを利用する 1	05
Windows NT 4 0を使う	106
WINDOWS NI 4.0で戻ノ	
ビット デッノの 年 禰 ^	100

Windows NT 4.0を使うときの注意 108



Windows NT 4.0のセットアップ 109 周辺機器の設定 113
トラブル解決 Q&A 131
はじめて電源を入れたら 132
電源を入れたが135
バッテリを使っていたら 144
電源を切ろうとしたが 146
画面がおかしい148
別売のディスプレイを使っていたら150
NXパッドを操作しても154
文字を入力しようとしたら156
ファイルを保存しようとしたら160
インターネット / パソコン通信しようとしたら
ネットワーク(LAN)に接続しようとしたら171
赤外線通信しようとしたら 173
印刷しようとしたら
フロッピーディスクを使っていたら177
ハードディスクを使っていたら180
CD-ROMを使っていたら 184
周辺機器を取り付けようとしたら 189
アプリケーションを使っていたら194
スタンバイ状態(サスペンド)にしようとしたら200
休止状態(ハイバネーション)にしようとしたら201
スリープ状態から復帰(レジューム)しようとしたら 203
その他 204

PART 5

PART

付録 209
Windows 98でMS-DOSモードを利用する
MS-DOSモードを利用する210
MS-DOSモードでCD-ROMドライプを利用する
新しいMS-DOS設定を指定する場合 212
アフターケアについて215
Windows NT 4.0を使う場合の補足事項
VA33Hで内蔵アクセラレータを利用するには
索 引 219
トラブル解決 Q&A内容一覧 220



添付アプリケーションの用途、使用上の注意事項、必要な設定などを説明します。



添付アプリケーションの紹介

次のアプリケーションは、ご購入時に、ハードディスクにインストールされています。

アプリケーション名	概要
Word 2000*1	ワープロを使う
Exel 2000*1	表計算をする
Outlook 2000*1	メール、スケジュール、文書などを管理する
一太郎 10 ^{*2}	ワープロを使う
三四郎 9*2	表計算をする
花子10 ^{*2}	図形を作成する
Sasuke ^{*2}	メール、スケジュール、文書などを管理する
Shuriken ^{*2}	メールでスケジュールを通知する
インターネットエクスプローラ	インターネットの情報を管理する
Outlook Express	
自動メール受信ユーティリティ	メールの着信を、日付や時刻を指定して定期的に 確認する
ワンタッチスタートボタンの設定	ワンタッチスタートボタンの設定、変更をする

*1 Office 2000モデルのみ

*2 一太郎モデルのみ

次のアプリケーションを使用する場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってハードディスクにインストールしてください。

インストールの方法については、PART2の「追加のしかた」をご覧ください。

アプリケーション名	概要
Intellisync	赤外線/シリアルケーブル接続でファイルをシンク
	(
NEC Soft MPEG1.0	MPEGファイルを再生する
プレーヤ NX	オーディオCD、ビデオCDなどを再生する
Acrobat Reader 3.0J	PDFファイルを表示する
CyberAccess	操作可能なアプリケーションやツールを、ユーザのレベルに合わせて制限したり、OSが必要とするファイルを保護する
VirusScan	コンピュータウイルスを検出して除去する
英語モードフォント	海外製アプリケーションの文字表示を正しくする
Intel [®] LANDesk [®] Client Manager	パソコンに接続されているハードウェアやインストール
6.0 (with NEC Extensions)	されているソフトウェアの情報を管理する
RSA SecurPC	ファイルのプライバシーを守る
pcAnywhere 9.0 EX	ネットワークに接続された遠隔地のパソコンを操作する
Masty Data Backup	さまざまな媒体のバックアップを行う
インターネット設定切替ツール	通信環境を切り替える
Virtual CD 2 ^{*1}	ハードディスクに仮想CDを作成する

*1 VA33Hのみ

アプリケーションを使う前に

アプリケーションを使う前に知っておいていただきたいこと、使用上の注意 事項、機能の概要、必要な設定などについて説明します。

Office 2000 Personal

Excel 2000、Word 2000、Outlook 2000のいずれかを初めて起動したときに行う設定と、Outlook 2000を初めて起動したときに行う設定について説明します。

初回起動時の設定

ユーザ情報の登録

Excel 2000、Word 2000、Outlook 2000のいずれかを初めて起動すると、 ユーザ情報を登録する画面が表示されます。 必要な情報を入力してください。

「ユーザ名」、「所属」には、Windows 98のユーザ情報が表示されています。

・CDキーは「Office 2000 Personal添付品」に記載されています。

オフィシャルユーザ登録

Excel 2000、Word 2000、Outlook 2000のいずれかを初めて起動すると 「Microsoft Office 2000 PersonalをMicrosoftにオフィシャルユーザ登録 しますか?」と表示されます。オフィシャルユーザ登録をしたい場合は、画面の 指示にしたがって登録してください。

Outlook 2000の設定

Outlook 2000を初めて起動したときには、「Outlook 2000スタートアップ」 の画面が表示されます。次の手順で設定してください。

1 「Out look 2000スタートアップ」の画面で「次へ」ボタンをクリッ クする

「メール サービス オプション」の画面が表示されます。

2「企業 / ワークグループ」を選び「次へ」ボタンをクリックする 「Microsoft Outlookセットアップウィザード」または「インターネット接続ウィザード」の画面が表示されます。必要に応じ、画面の指示にしたがってOutlook 2000のセットアップを行ってください。

一太郎10パック

一太郎10パックを使う前に

- 一太郎10パックを使う前に、次の点をご確認ください。
- ・本機にセットアップされている「一太郎10パック」は、「標準」でセットアップ されており、ご購入時の状態では、すべての機能が使用できるわけではあ りません。ご購入時の状態で使用できる機能については、一太郎10パック の添付マニュアル「セットアップ」の「各セットアップ方法でコピーされる機 能について」をご覧ください。
- ・「標準」以外の機能を使用する場合は、添付の「一太郎10・花子10パック CD-ROM」から追加してください。追加の方法については、一太郎10パッ クの添付マニュアル『一太郎10・花子10パック』の「一太郎10・花子10パッ クの機能を追加する」をご覧ください。

インターネットエクスプローラ

インターネットエクスプローラを使う前に

ご購入時にはインターネットエクスプローラ5がインストールされています。

Intellisync

Intellisyncを使うために必要な設定について説明します。

設定を行う前に

Intellisyncの設定を行う前に、次の点をご確認ください。

・Intellisyncで赤外線通信機能を使う場合には、赤外線の接続設定を行う 前に、必ず『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信を行う前 に、をご覧ください。

- ・通信相手のパソコンとして他のPC98-NXシリーズやPC-9800シリーズを 使う場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使って、相手のパソコ ンにIntellisyncをインストールする必要があります。インストールの方法は、 PART2の「追加のしかた」の「Intellisync(p.33)をご覧ください。
- ・通信相手のパソコンにIntellisyncをインストールする前に、本機に添付の 「ソフトウェア使用条件適用一覧」の「Intellisync ソフトウェアのご使用条 件」をご覧ください。
- Intellisyncに添付のユーザマニュアルをご覧になるには、Acrobat Reader 3.0Jが必要です。インストールの方法は、PART2の「追加のしか た」の「Acrobat Reader 3.0J(p.35 をご覧ください。

Intellisyncの設定

Intellisyncの設定は、Intellisyncランチャーを使って行います。

Intellisyncランチャーの起動

- **1**「スタート」ボタン「プログラム」「Intellisync」の「Intellisync エージェント」をクリックする
- **2**「はじめに-Intellisync」で「OK」ボタンをクリックする 「Intellisyncランチャー」が表示されます。



ローカルシステムの設定

パソコン間でデータのやりとりをするには、はじめに各パソコンで接続システムの設定を行います。

1 Intellisyncランチャーを起動する

2 ランチャーの「接続設定マネージャ」をクリックする

■初回起動時には使用許諾画面が表示されます。

3 「ローカルデバイス」をクリックする

- 4 接続に使用するデバイスのアイコンの左側の 団をクリックし、表示されたデバイス名をクリックする デバイスの詳細は「接続設定」をご覧ください。また、「赤外線のデバイス」に団が表示されていないときは、「接続設定」の「赤外線」R)接続設定」をご覧のうえ、赤外線の設定を行ってください。
- 5 「プロパティ」をクリックする
- 6 「プロパティ」画面で「接続可能にする」をチェックし、「OK」ボタン をクリックする

接続設定

パソコン間を赤外線、シリアルポートで接続できます。

・赤外線(IR)接続設定

本機に内蔵されている赤外線デバイスを使用する場合は、手順2から設定 を行ってください。別売の赤外線デバイスを使うときは、手順1から設定を 行ってください。

- COMポートに赤外線デバイスを接続する
 詳細は各デバイス添付のマニュアルをご覧ください。
- 2 二つのシステムの赤外線ポート(IRポート)が向かい合うようにパ ソコンを設置する

参照) 設置時の注意 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」

- 3 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする
- 4 「赤外線のデバイス」を右クリックする
- 5 「IRウィザード」をクリックする
- 6 現在のデバイスが表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 7 デバイスのリストから使用するデバイスを選び、「次へ」ボタンを クリックする 本機内蔵の赤外線デバイスを使うときは、「NEC FIR port model 04」を選んでください。
- 8「IrCommポートの選択」で「None」を選び、「次へ」ボタンをクリック する
- **9**「Ir LPTポートの選択」で「None」を選び、「次へ」ボタンをクリッ クする
- 10 設定内容が表示されるので、確認して 完了 ボタンをクリックする
- 11 「接続設定マネージャ」画面で「OK」ボタンをクリックする
- 12 再起動を促すメッセージが表示された場合は、本機を再起動する
- ・シリアルケーブル接続設定
- VA33Hの場合は、別売のUSBポートを接続しておく必要があります。
 - 使用するパソコン両方に同じ設定をします。
 - 1 COMポート(シリアルポート)にシリアルケーブルを接続する ケーブルの長さは6m以下にしてください。
 - 2「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリック する

- 3 シリアルケーブルの左側の田をクリックする
- **4** COMポートが表示されるので、「COMポート」を選び、「プロパ ティ」をクリックする
- 5 「接続を可能にする」をチェックし、「OK」ボタンをクリックする
- 6 「接続設定マネージャ」で「OK」ボタンをクリックする

接続状態のチェック

接続状況をチェックします。接続がうまくいかないときに確認してください。

- 1 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリック する
- 2 接続状態をチェックしたいデバイスの左側の団をクリックする 表示されたマークで確認します。

マーク	マークの意味
y	使用可能なポートがない
9	接続設定が不可になっている
	他のパソコンと接続されていない(赤信号)
	接続中(黄信号)
	接続されている(青信号)

NEC Soft MPEG1.0

NEC Soft MPEG1.0を使う前に

NEC Soft MPEG1.0を使う前に、次の点をご確認ください。

- ・ビデオのみのデータや、ビデオCDの静止画を含むデータでは、現在の再 生位置を示すスクロールバーの位置と実際の再生位置とが必ずしも一致 しません。
- ・メディアプレーヤーのスクロールバーの右側にある小さなボタンは、インジ ケータがフレームのときのみ、コマ送りとなります(順方向ボタン),逆再生 方向のボタンは、戻る場合と戻らない場合があります。
- ・ 画質優先モードで再生しているときに画像サイズを変更すると、再生が遅 くなる場合があります。
- ・メディアプレーヤー、プレーヤ-NXでプルダウンメニューを表示すると、再 生が停止します。再生中にキーボードから【Alt】を押したときも、同様に停 止します。

プレーヤ-NX

プレーヤ-NXで利用できるCD

プレーヤ-NXでは、次のメディアを再生できます。

- ・音楽(オーディオCD)
- ・ビデオCD(Ver1.1)、ビデオCD(Ver2.0)/カラオケCD(Ver1.1)
- ・フォトCD
- ・フォトCDポートフォリオ

プレーヤ-NXを使う前に

プレーヤ-NXを使う前に、次の点をご確認ください。

- ・プレーヤ-NXでビデオCDを再生する場合は、NEC Soft MPEG1.0が必要です。
- ・プレーヤ-NXでビデオCDを再生しているときに、ビデオ画面の表示サイズを変更するには、プレーヤ-NXのビデオCDウィンドウをNXパッドなどのポインティングデバイスでドラッグして、表示サイズを変更してください。

使用上の注意

「アプリケーションの追加と削除」で「CDプレーヤー」を削除または再追加す ると、音楽CDをセットしても「プレーヤ-NX」は自動起動しません。音楽CDを セットして「プレーヤ-NX」を自動起動させる場合は、「CDプレーヤー」、「プ レーヤ-NX」の順で再追加してください。

CyberAccess

CyberAccessの機能

CyberAccessは、個人または会社の管理者が「モード」を作成してシステム 設定ツールへのアクセスを限定し、デスクトップを単純化および、操作可能な アプリケーションを限定することができるアプリケーションです。使用者のレベ ルに合わせて機能を制限できるので、システムへ影響を与えてしまうような 操作を未然に防ぐことができます。また、ログインするユーザ別にモードを対 応付けることができるので複数のモードを使い分けることができます。

モード

CyberAccessをインストールすると、次のモードを利用することができます。

- ・エキスパートモード: CyberAccessのすべての機能を利用することができます。
- ・アドバンストモード*:コンピュータのシステムのすべてを利用することが できます。モードの作成、編集など、CyberAccessの 設定を変更することはできません。
- ・ベーシックモード* :システムへ影響を与える機能の動作を制限し、コン ピュータのハードウェアやソフトウェアへの予期しな いダメージを防ぎます。
- ・セキュリティモード : CyberAccess で設定することができるすべての制限 が設定できます。
- 新規作成モード: CyberAccess インストール後、新規に作成するモードです。新規にモードを作成するためには、エキスパートモードで起動する必要があります。
- * CyberAccessをインストールするときに「カスタム」セットアップを行うことで、このモードを利用 するかどうかを選択することができます。「標準」セットアップを行った場合は、このモードを利用 することはできません。セットアップについて詳しくは、PART2の「追加のしかた」の 「CyberAccess(p.36)をご覧ください。

新規モードの作成

使用環境や使用ユーザに合わせてモードを作成します。ここで作成したモードはローカルPCに保存されます。

- ジチェック!! ネットワークを利用した集中管理を行うには、別売の「CyberAccess Ver2.0」が
 必要です。
 - **1**「スタート」ボタン 「プログラム」「CyberAccess」で「モードの 変更」をクリックする 次の画面が表示されます。

CyberAccess		
CyberAccess モード変更		
切り替え先のモードを指定してください。		
○ エキスパートモード(E)		
◎ モードー覧(山) アドバンスト 🔽		
CyberAccess パスワードを指定してください。		
OK++ンセル		

- **2**「エキスパート」モードをクリックし、「OK」ボタンをクリックする システムからログオフし、エキスパートモードに切り替わります。
- 3 「スタート」ボタン 「プログラム」「CyberAccess」で「利用環境の設定」をクリックする 「CyberAccess ローカルのプロパティ」が表示されます。
- 4 「モード」タブをクリックする
- 5 「新規作成」ボタンをクリックする
- 6 「モード」欄に新規作成するモード名を入力する モードにパスワードを設定する場合は、「モードへのアクセスをパスワードで確認する」をチェックし、パスワードを入力します。

- 7 「制限」タブをクリックし、制限したい項目をチェックする
- 8 「単純化」タブをクリックし、システムの動作を単純化したい項目 をチェックする
- **9**「プログラム」タブをクリックする
- 10「下記のプログラムのみ使用可能」をチェックし、「追加」ボタンを 押して利用を許可するプログラムを登録する プログラムの利用制限を行わない場合は、チェックする必要はありま せん。
- 11 「OK」ボタンをクリックする

モードの編集

作成したモードを編集します。

1 「スタート」ボタン 「プログラム」「CyberAccess」で「モードの 変更」をクリックする 次の画面が表示されます。

CyberAccess
CyberAccess モード変更
切り替え先のモードを指定してください。
● エキスパートモード(E)
○モードー覧(山) アドバンスト 🔽
CyberAccess パスワードを指定してください。
OK キャンセル

- **2**「エキスパートモード」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする システムからログオフし、エキスパートモードに切り替わります。
- **3**「スタート」ボタン「プログラム」「CyberAccess」で「利用環境 の設定」をクリックする 「CyberAccessローカルのプロパティ」が表示されます。
- 4 「モード」タブをクリックする

- 5 「CyberAccess モード」一覧から、編集するモードをクリックし、 「編集」をクリックする
 - 「ローカルモードのプロパティ」が表示されます。
- 6 「新規モードの作成 (p.12)の手順6~10と同様に、各項目を 変更する

7 「OK」ボタンをクリックする

モードの切り替え

使用環境や使用ユーザに合わせてモードを切り替えます。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」「CyberAccess」で「モードの 変更」をクリックする
- 2 「モード一覧」をクリックする
- 3 ■をクリックし、切り替えるモードをクリックする
- **4**「OK」ボタンをクリックする システムからログオフし、モードが切り替わります。

CyberAccessには、エキスパートモードへのアクセスを制限するセキュリ ティ機能や、起動時のモードを指定できる機能などもあります。詳しくは、「ス タート」ボタン 「プログラム」「CyberAccess」の「CyberAccess ヘルプ」 をご覧ください。

CyberWarner-NXの機能

Windows 98の動作に影響を与えてしまうファイルを監視し、ユーザが操作 中に削除または変更しようとすると警告を行います。また、ログファイルを採 取して、保守時に使うことができます。

✓ チェック? CyberWarner -NXで保護されているファイルを削除しようとすると、ごみ箱の中 身は空なのに、中身があるようにアイコン表示されてしまう場合があります。このような場合は、次の手順で表示を正しく直してください。

- 1 「ごみ箱」アイコンを右クリックする
- 2 表示されたメニューから「プロパティ」をクリックする
- **3**「OK」ボタンをクリックする
- ✓ チェック! CyberWarner-NXの監視対象となるのはファイルのみですが、監視対象となる ファイルが格納されているフォルダの削除やフォルダ名の変更は行わないで ください。ファイルの監視を行うことができなくなります。

CyberWarner-NXを常駐させる

- **1**「コントロールパネル」を開き「CyberWarner-NX」アイコンをダブ ルクリックする
- 2 「スタートアップ」タブの「開始」ボタンをクリックする
- ✓ チェック!「CyberWarner-NX」を起動時に常駐させるには、「スタートアップ」タブの「起動
 時にCyberWarner-NXを実行する」にチェックを入れて「OK」ボタンをクリック
 してください。

CyberWarner-NXの常駐を終了する

- 1 タスクバーの右端に表示されている「CyberWarner-NX」アイコンをクリックする
- 2 「終了」をクリックする
- 3 「CyberWarner-NXのシャットダウン」で「はい」ボタンをクリック する

ログファイルについて

CyberWarner-NX LogViewer
 ログ対象ファイルに対して操作(移動、削除、修正、名前の変更)が行われたとき、CyberWarner-NXは、その操作内容をログファイルに保存します。
 ログファイルに書き込まれた情報を参照するときは、CyberWarner-NXLogViewerを使います。

- チェック! 採取されたログファイルは、CyberWarner-NX LogViewerの「保守モード」での み操作できます。保守モードはNECの担当員から指示があったときのみ使用し てください。通常は使用することはできません。
 - ・ログファイルの種類

ログファイルには、プライマリログファイルとバックアップログファイルの2種類があります。どちらもファイル内容は同じものですが、保存されている期間に違いがあります。ログ対象ファイルの操作(移動、削除、修正、名前の変更)が行われると、その操作内容がログファイルに保存されます。

・ログ対象ファイル

ログ対象ファイルには、「Critical File」Non Critical File」Special Jの 3種類があります。

<u>CriticalFile</u>

次のファイルを操作した場合、操作の警告画面が表示され、操作しようとし たファイルが自動的に復旧、元の状態に戻る 这れます。

¥command.com	¥windows¥system¥iosubsys¥*.md
¥io.sys	¥windows¥system¥iosubsys¥*.pd
¥himem.sys	¥windows¥rundll.exe
¥windows¥win.com	¥windows¥rund1132.exe
¥windows¥notepad.exe	¥windows¥progman.exe
¥windows¥regedit.exe	¥windows¥control.exe
¥windows¥explorer.exe	¥windows¥winfile.exe
¥windows¥system¥vmm32¥*.*	¥windows¥taskman.exe
¥windows¥command.com	¥windows¥aztpnp.exe
¥windows¥himem.sys	¥windows¥winsock.dll
¥windows¥system¥sysedit.exe	

<u>Non Critical File</u> 次のファイルを操作した場合、操作の確認画面が表示されます。 ¥autoexec.bat ¥config.sys ¥msdos.sys ¥windows¥command¥*.exe ¥windows¥command¥*.com ¥windows¥command¥*.bin ¥windows¥command¥*.bin ¥windows¥command¥*.sys ¥windows¥command¥*.sys ¥windows¥system¥*.dll ¥windows¥system¥*.vxd

<u>Special</u>

次のファイルを操作すると、操作の確認画面が表示されます。また、アプリ ケーションをインストールしたときにこれらのファイルに修正が加わると、自動 的に修正前の状態がログファイルに保存されます。 ¥windows¥win.ini ¥windows¥system.ini エマージェンシーディスクの作り方

ウィルスに感染してパソコンが起動できなくなったときに、エマージェンシー ディスクを使って起動することができます。エマージェンシーディスクは、次の 手順で作成します。

用意するもの

エマージェンシーディスクの作成には、フォーマット済みのフロッピーディスクが2枚必要です。

エマージェンシーディスクの作成

1 「スタート」ボタン 「プログラム」「McAfee VirusScan」の「McAfee VirusScan セントラル」をクリックする「McAfee VirusScan セントラル」が起動します。

2 「ツール」 「エマージェンシーディスク」をクリックする

以降は、画面に表示されるメッセージに従って、エマージェンシーディスク を作成します。 詳しくは、VirusScanのヘルプをご覧ください。

VShieldを有効にする

VirusScanには、Windowsで操作するファイルがウィルスに汚染されていないか監視する機能もあります。この機能を使うには、次の手順を行います。

- ✓ チェック? VShieldの機能を有効にすると、ディスクアクセス時にウィルス検査を実行するため、アプリケーションなどの実行が遅くなります。
 - **1**「スタート」ボタン 「プログラム」「McAfee VirusScan」 「McAfee VirusScanセントラル」をクリックする
 - **2**「VirusScanセントラル」が表示されたら、「VShield」をクリックする
 - 3 「システムスキャンプロパティ」が表示されたら、「システムスキャンを有効」、「システムスキャンのサスペンド可能」、「タスクバーにアイコンを表示」のチェックボックスにチェックを入れる

4 「OK」ボタンをクリックする

5 「今すぐ読み込みを行いますか?」のメッセージが表示されたら、 「はい」ボタンをクリックする

これでVShieldの設定は完了です。次回起動時からは、自動的にVShield が常駐します。

✓チェック! VShieldが常駐している状態では、VShieldが常にファイルへのアクセスを監視 するため、アプリケーションの動作が多少遅くなります。VShieldの常駐を解除 する方法については、「VirusScanセントラル」のヘルプをご覧ください。

> 「VShield」の設定の他に、「E-mailスキャン」、「ダウンロードスキャン」、「イ ンターネットフィルター」の設定ができます。詳しくは、「VirusScanセントラ ル」のヘルプをご覧ください。

英語モードフォント

英語モードフォントを使う前に

英語モードフォントを使う前に、次の点についてご確認ください。

- ・日本語モードフォントを使用したまま、本機で海外製Windows 98アプリ ケーションを利用する場合、著作権(ⓒ)や登録商標(®)(\)が正しく表示 されません。そのため、使用するフォントの一部を英語モードフォントに切り 替えて、正しく表示する必要があります。
- ・また、その逆に英語モードフォントを使用したまま、本機で日本語版Windows 98のアプリケーションを利用する場合、「ゥ」ョ」¥」が正しく表示され ないことがあります。そのときは、英語モードフォントを日本語モードフォント に切り替えます。
- ・英語モードフォント、日本語モードフォントでのそれぞれの表示状態は、次の 表の通りです。

	海外製Windows 98 アプリケーションを使用	日本語版Windows 98 アプリケーションを使用
日本語モードフォント	「©」「ゥ _ム 「®」「∃」、 「\」「¥」	正しく表示される
英語モードフォント 	正しく表示される	ر¢∟ د¢∟ ۲≴ا ()

Intel[®] LANDesk[®] Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0(with NEC Extensions を使う前に

Intel[®] LANDesk[®] Client Manager 6.0 (with NEC Extensions を使う前に、次の点をご確認ください。

- ・Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)は、管理方法として、標準化団体DMTF(Desktop Management Task Force)が 規定したDMI(Desktop Management Interface を採用しています。
- ・使用しているコンピュータがネットワークに接続されている場合は、定期的 にパケットが送信されることがあります。パケットを送信したくない場合は、 注意が必要です。詳しくは、オンラインヘルプをご覧ください。

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0(with NEC Extensions)の機能

Intel[®] LANDesk[®] Client Manager 6.0(with NEC Extensions)は、次の 5つの機能で構成されています。

- ・システムビューア
- ・状態監視
- ・MIFブラウザ
- ・リモート電源制御
- WWW Extension

操作方法や表示画面については、オンラインヘルプおよびご使用になる前に(Readme.txt)をご覧ください。

pcAnywhere 9.0 EX

pcAnywhere 9.0 EXを使う前に

pcAnywhere 9.0 EXを使う前に、次の点をご確認ください。

- 本機に添付されているpcAnywhere 9.0 EXを使って、他のパソコンを操 作することはできません。
- ・接続デバイスは、IPX(Windows NTを除く)、SPX、NetBIOS、Banyan
 VINES、TCP/IPが設定できます。

・他のパソコンから本機を操作するには、相手側のパソコンに別売の「DMITOOL Ver8.1(pcAnywhere[™] 9.0 EXコンプリート版付)」または「pcAnywhere (Symantec 社製)がインストールされている必要があります。機能説明や使用方法につい ても、別売の「DMITOOL Ver8.1(pcAnywhere[™] 9.0 EXコンプリート版付)」 などのマニュアルをご覧ください。

RSA SecurPC

RSA SecurPCを使う前に

RSA SecurPCを使う前に、次の点をご確認ください。

- ・RSA SecurPCには、次のような特徴があります。
 - RC4という暗号方式のアルゴリズムの方式を使用しています。
 - マイコンピュータやエクスプローラのファイルメニューにコマンドを追加 できます。
 - 共有パスワードでファイルを暗号化し、ファイルを共有することができま す。また、RSA SecurPCを持っていないユーザとファイルを共有するこ ともできます。
- ・操作方法については、添付の「アプリケーションCD-ROM」に入っている次のファイルをご覧ください。
 - ¥SecurPC¥SecurPC.pdf
- ・¥SecurPC¥SecurPC.pdfをご覧になるにはAcrobat Reader 3.0Jが必要です。インストールの方法は、PART2の「追加のしかた」の「Acrobat Reader 3.0J(p.35)をご覧ください。
- ・¥SecurPC¥SecurPC.pdf、オンラインヘルプ、バージョン情報などに記載 されている「Windows 95」は、「Windows 98」と読み替えてください。

Masty Data Backup

Masty Data Backupの機能

"ハードディスクが突然クラッシュ このときの損害は計り知れないものがあり ます。そのため、データのバックアップは不可欠です。Masty Data Backup は、このような万が一の事態にもデータを保全し、お客様の損害を未然に防 ぐツールです。

Masty Data Backupには次のような機能があります。

- ・OSがサポートしている装置(MO、PD、ハードディスクなど)にデータをバッ クアップできます。
- ・日付 / 曜日 / 時間を指定すれば、好きな時に自動実行するスケジューリングができます。
- ・データの圧縮を行いながらバックアップができます。
- ・複数枚の媒体に分けてバックアップができます。
- ・世代管理ができます。
- ・S.M.A.R.T機能を利用したバックアップができます。

インターネット設定切替ツール

インターネット設定切替ツールの機能

インターネット設定切替ツールを使うと、複数のダイヤルアップ接続を使い分けたり、ダイヤルアップ接続からLAN接続へ切り替えたりと、利用シーンに応じて通信環境を切り替えることができます。パソコンを携帯して、外出先でインターネットを利用するときなどに便利な機能です。

詳しくは、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「内蔵モデム」の「インターネットへの通信環境を切り替える」をご覧ください。
ワンタッチスタートボタンの設定

「ワンタッチスタートボタン」の機能

ワンタッチスタートボタンを使うと、ボタンを押すだけで、あらかじめ設定したアプリケーションを起動することができます。

詳しくは、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「ワンタッチスタートボ タン をご覧ください。

Virtual CD 2(VA33Hのみ)

Virtual CD 2の機能

Virtual CD 2は、パソコンに仮想CD-ROMドライブを追加して、そのドライブで使用できる仮想CDを作成し、利用するためのアプリケーションです。作成した仮想CD-ROMドライブは、Windows上で通常のCD-ROMドライブを扱うような感覚で利用できます。

詳しくは、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「CD-ROMドライ ブ」の「Virtual CD 2を使うをご覧ください。

自動メール受信ユーティリティ

メールの受信方法を自動受信に設定すると、パソコンから離れて何か 別なことをしている間に自動的にメールを受信することができます。

自動受信の設定を行う

ここでは、おもにOutlook Expressを使用してメールを自動受信す るための手順を説明します。その他のメールソフトを使用したい場合 は、メールソフトが次の機能に対応しているか確認し、設定をしておい てください。

- ・自動受信
- ・接続設定
- ・受信後に回線切断

◆チェック? ・Out look Expressでメールの自動受信を行うには、あらかじめOut look Expressで
メールの送受信が行えるように設定しておく必要があります。

- ・Outlook Expressの場合、初回および2回目起動時と、はじめてメールを送受 信したときにキー入力を必要とするため、自動受信がうまく行えない場合があ ります。必ず2回以上、送受信テストを行ってから利用してください。
- ・自動受信を行うには、Outlook Expressで自動切断の設定が必要です。また、 自動切断の設定直後には必ずWindowsの再起動を行ってください。

メール着信ランプについて

自動受信の設定をしておけば、キーボードの「メール着信ランプ() を見るだけで、自分宛てのメールが届いているかどうかを確認することができます。この機能を利用すると、メール着信の確認のためだけに インターネットに接続する必要がなくなります。

自動メール受信ユーティリティの設定をする

自動メール受信ユーティリティを始める

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」「自動メール受信ユーティリ ティ」「自動メール受信ユーティリティ」をクリックする 「自動メール受信ユーティリティ」の画面が表示されます。
- 2 「メールの自動受信を行う」の左の○をクリックする ○が緑色に変わり、メッセージの画面が表示されます。 すでに○が緑色になっている場合は、設定ができる状態です。
- 3 「OK」ボタンをクリックして、メッセージの画面を閉じる これで、自動メール受信ユーティリティの設定を始めることができます。 次の手順で、メールパスワードを設定してください。

メールパスワードを設定する

1 「自動メール受信ユーティリティ」の画面で「受信設定」ボタンを クリックする 「受信設定」の画面が表示されます。

- **2**「パスワード入力」の入力欄をクリックし、「メールパスワード」を入力する
- チェック? ・ここで入力するパスワードは、メールサーバに接続するときに使うパスワードです。
 - ・パスワードの入力では、入力した文字がすべて「*」で表示されるので、画面上 では確認できませんが、必ず半角で、大文字と小文字を区別して入力してくだ さい。
 - **3**「入力確認用」の入力欄をクリックし、手順2と同じメールパスワードを入力する
 - **4**「OK」ボタンをクリックする これでメールパスワードの設定ができました。 続けて、自動受信する日時を設定してください。

自動受信する日時を設定する

- 1「自動メール受信ユーティリティ」の画面で「毎日」 平日」 カスタム」のいずれかの○をクリックする が緑色に変わります。
- 2 「設定時間1」で受信したい時刻を選ぶ
- **3**「0K」ボタンをクリックする
- 4 「設定が変更されています。保存して終了しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックするこれで、自動受信の設定は終了です。
- チェック! ・インターネット接続用のパスワードが保存されていないと、メールの自動受信は行えません。
 - ・パスワードには、大文字 / 小文字 / 全角 / 半角の区別がありますので、間違 えないように入力してください。

メールを自動受信する前に

メールを自動受信をするときには、設定した時刻に本機の電源が入っ ている状態にしておいてください。しばらくパソコンから離れている間 に受信する場合などは、本機をサスペンド状態にしておくことをおすす めします。また、Outlook Expressなどの自動受信するためのメー ルソフトは終了しておいてください。

参照 / サスペンド状態にする 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」

メールを自動受信する

メールを自動受信している間は、画面が自動的に表示されて、次々に 画面が切り替わります。すべて自動的に行われるので、操作の必要は ありません。

自動受信するためのメールソフトが起動している状態では自動受信は 行えません。

「自動メール受信中にエラーが発生しました。」と表示された場合 自動受信が正しく行われなかった場合は、エラーメッセージが表示され ます。このような場合は、次のような原因が考えられますので、エラーメ ッセージの画面を閉じて、設定を確認してください。

- ・メールパスワードの入力に誤りがあった
- ・インターネット接続用のパスワードが保存されていなかった
- ・メールの自動受信を行う前に、メールソフトを終了していなかった
- ・メールソフトにメールパスワードが保存されていなかった
- ・メールソフトに複数のアカウントが登録されていた

メールが受信されたら

自動受信するメールソフトこOutlook Expressを設定している場合 は、メールを受信するとメール着信ランプが点灯します。また、そのほか のメールソフトを設定している場合には、「新しいメールが到着してい ます。」というメッセージが表示されます。受信したメールは、メールソフトを起動して読みます。 メールの自動受信の設定を解除するには

- **1**「スタート」ボタン 「プログラム」「自動メール受信ユーティリ ティ」「自動メール受信ユーティリティ」をクリックする 「自動メール受信ユーティリティ」の画面が表示されます。
- 2 「メールの自動受信を行う」の左の (緑色)をクリックする のが灰色に変わります。
- **3**「OK」ボタンをクリックする
- **4**「設定が変更されています。保存して終了しますか?」という画面 で「はい」ボタンをクリックする



添付アプリケーションの 追加と削除

添付アプリケーションを追加したり削除したりする方法を説明しています。



追加の前に

次のような場合に、アプリケーションを追加する方法を説明しています。

- ・添付のCD-ROMに入っているアプリケーションを追加する場合
- ・標準でインストールされているアプリケーション、または添付のCD-ROM から追加したアプリケーションを削除した後、再追加する場合

追加するときの注意

- ・CD-ROMドライブが内蔵または添付されていないモデルの場合、アプリ ケーションを追加するには、CD-ROMドライブが必要です。
- ・「C:¥Program Files」や「C:¥Windows」などのシステムが使用してい るフォルダには、アプリケーションをインストールしないでください。
- ・CD-ROMを使用して追加した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMド ライブから取り出してください。

追加の準備

添付の「アプリケーションCD-ROM」を使用して追加する場合は、次の手順 を行ってください。 各アプリケーションのCD-ROMを使用する必要はありません。

なお、一部の添付アプリケーションでは次の手順は必要ありません。

- 1 CD-ROMドライブに、添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- **2**「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」 アイコンをダブルクリックする
- 3「インストールと削除」タブを選ぶ
- **4**「インストール」ボタンをクリックし、「フロッピーディスクまたは CD-ROMからのインストール」を起動する

5 「次へ」ボタンをクリックする

- 6 「インストールプログラムの実行」の「インストールプログラムのコマン ドライン」に「<CD-ROMドライブ名>:¥NSETUP.EXE」と入力する
 - 例 CD-ROMドライブ名がQの場合 Q:¥NSETUP.EXE
- 7 「完了」ボタンをクリックする 「プロダクトの選択」が表示されます。

追加の作業中に、メッセージのウィンドウが他のウィンドウに隠れてしまった 場合は、タスクバーにあるそのメッセージウィンドウのボタンをクリックして、 最前面に表示してください。

追加のしかた

アプリケーションを追加する手順を各添付アプリケーションごとに説明しています。

Office 2000 Personal

この説明は、Office 2000モデルのみを対象としています。 Office 2000 Personalは次のアプリケーションで構成されています。

- ・Exel 2000(表計算ソフト)
- ・Word 2000(ワープロソフト)
- ・Outlook 2000(メール / スケジュール管理ソフト)

Office 2000 Personalをまとめて追加することも、各アプリケーションごとに 追加することもできます。

追加については、PART3の「Office 2000 Personalの再セットアップ(p.93)をご覧ください。

-太郎10パック

この説明は、一太郎モデルのみを対象としています。

- 一太郎10パックは次のアプリケーションで構成されています。
 - 「一太郎10(ワープロソフト)
 - 「花子10(図形作成ソフト)
 - 「三四郎9(表計算ソフト)
 - 「Sasuke (スケジュール、文書などを一元的に管理するツール)
 - 「Shuriken (メールソフト)

ー太郎10パックをまとめて追加することも、各アプリケーションごとに追加することもできます。

追加については、PART3の「一太郎10・花子10パックの再セットアップ(p.97)をご覧ください。

Intellisync

Intellisyncを追加する前に、『活用ガイドハードウェア編』PART1の「赤外線 通信をおこなう前に」の手順を行ってください。

- 1 「追加の準備 (p.30)の手順1~7を行う
- **2**「プロダクトの選択」で「Intellisync」をクリックし、「OK」ボタンを クリックする
- 3 「ようこそ」画面で 次へ」ボタンをクリックする
- **4**「製品ライセンス契約」画面で契約内容を読み、同意する場合は 「はい」ボタンをクリックする
- 5「ユーザの情報」画面で「名前」会社名」を入力し、「次へ」ボタン をクリックする 「会社名」を入力したくない(空白としたい)場合は、入力欄に全角ス ペースを入力してください。

▼チェック! シリアル番号は変更しないでください。

- 6 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「セットアップ方法」で「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「 プログラムフォルダの選択 」で「 次へ 」ボタンをクリックする
- **9**「質問」画面の「スタートアップグループにIntellisyncを追加しますか?」で「いいえ」ボタンをクリックする
- 10「セットアップの完了」画面で、「IrWizardを起動して赤外線接続 を設定します」のチェックを外して「完了」ボタンをクリックする

赤外線通信を行う場合は「赤外線」IR 渡続設定(p.7 をご覧になり、設定を行ってください。シリアルケーブルによる通信を行う場合は「シリアルケーブル接続設定(p.8 をご覧になり、設定を行ってください。

NEC Soft MPEG1.0

NEC Soft MPEG1.0の追加は、「コントロールパネル」の「ハードウェアの追加」で行います。

- 1 添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2「コントロールパネル」を開き、「ハードウェアの追加」をダブルク リックする 「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動します。
- 3 「次へ」ボタンを2度クリックする
- デチェック!!「インストールするデバイスは一覧にありますか?」と表示された場合は、「デバイスは一覧にはない」を選んで「次へ」ボタンをクリックしてください。
 - 4 「プラグアンドプレイ以外の新しいハードウェアが自動的に検出 されます」と表示されたら、「いいえ」を選び、次へ」ボタンをクリッ クする
 - 5 「インストールするハードウェアの種類を選んでください」と表示 されたら、「その他のデバイス」を選び、「次へ」ボタンをクリックす る
 - 6 「ディスク使用」をクリックし、「ディスクからインストール」画面で配 布ファイルのコピー元に < CD - ROMドライブ名 > :NECMPEGと入 力し、「OK」ボタンをクリックする
 - 7 「NEC Soft MPEG1.0」と表示されたら「次へ」ボタンをクリック する
 - **8**「完了」ボタンをクリックする ファイルのコピーが始まります。
 - 9 ファイルのコピー終了後に再起動を促すメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする本機が再起動します。

プレーヤ-NX

- 1 「追加の準備 (p.30)の手順1~7を行う
- **2**「プロダクトの選択」で「プレーヤ-NX」をクリックし、「OK」ボタン をクリックする
- **3**「ようこそ! プレーヤ-NXの世界へ」で「次へ」ボタンをクリックする
- **4**「Folder Selection」で「次へ」ボタンをクリックする インストールが自動的に始まります。
- 5 「プレーヤ-NXは正しくインストールされました」と表示されたら、 「OK」ボタンをクリックする
- チェック!!「アプリケーションの追加と削除」で「CDプレーヤー」を削除または再追加する と、音楽CDをセットしても「プレーヤ-NX」は自動起動しません。音楽CDをセットして「プレーヤ-NX」を自動起動させる場合は、「CDプレーヤー」、「プレーヤ-NX」の順で再追加してください。

Acrobat Reader 3.0J

- 1 「追加の準備 (p.30)の手順1~7を行う
- **2**「プロダクトの選択」で「Adobe Acrobat Reader 3.0J」をクリッ クして「OK」ボタンをクリックする
- 3 「Adobe Acrobat 3.0Jインストール」で「はい」ボタンをクリックする
- 4 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「使用許諾契約書」の内容を読み、内容に同意できる場合は「は い」ボタンをクリックする
- 6 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする

- 7 「セットアップの完了」の画面が表示されたら、Acrobat Reader 3.0JのREADMEを読む場合はそのまま「終了」ボタンを、読まな い場合は Acrobat Reader 3.0J Readmeファイルを表示する。 のチェックを外してから、「終了」ボタンをクリックする READMEファイルを読む場合は、読み終わったら右上の図をク リックしてください。
- 8 「セットアップが終了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをク リックする

CyberAccess



✓ チェック! CyberWarnerを単体でインストールすることはできません。CyberAccessのイ ンストールと同時にCyberWarner-NXをインストールしてください。

- 1 「追加の準備 (p.30)の手順1~7を行う
- **2**「プロダクトの選択」で「CyberAccess」をクリックし、「OK」ボタン をクリックする
- **3**「CvberAccess セットアッププログラムへようこそ」で「次へ」ボ タンをクリックする
- 4 「インストール先ディレクトリを選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「CyberAccess」の画面でセットアップ方法を選択し、「次へ」ボタ ンをクリックする 「標準」または「カスタム」のどちらかにチェックを付けてください。

CyberAccessをセットアップするときには、次の項目を設定します。「標 準に設定すると自動的にセットアップが行われます。

・利用できるモード

新規に作成しなくても、あらかじめ準備されているモードのことです。 インストール後、「利用環境の設定」から登録することによって利用す ることができます。

セットアップ方法	設定値
標準	エキスパートモード、 セキュリティモード
カスタム	エキスパートモード、セキュリティモード (上記のほかに、アドバンストモード、ベーシックモード を追加選択可能)

・標準起動モード

特定のモードに対応付けられていないユーザ名でログインしたときな どに起動するモードです。モードはセットアップ後に変更することもで きます。

セットアップ方法	設定値
標準	エキスパートモード
<u> </u>	任意のモードを設定可能

・エキスパートモードのパスワード

エキスパートモード(CyberAccessを設定可能な管理者モード)のパス ワードです。設定することにより、不正なアクセスやCyberAccessの設 定変更などを防ぐことができます。パスワードはセットアップ後に変更 することもできます。

セットアップ方法	設定値
標準	manager
<i>ከ</i> スタム	任意の文字列に変更可能 (初期値は manager)

以降、手順6~9は「カスタム」を選択した時の手順です。「標準を選択 すると、自動的に設定が行われますので、手順10に進んでください。

6 セットアップ時に自動的に作成するモードを選択して「次へ」ボタンをクリックする

- 7 手順6で作成したモードの中から「標準起動モード」を選択して「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「エキスパートモードのパスワード」を設定して「次へ」ボタンをク リックする
- 9 「CyberAccess サーバ名の入力」欄には何も入力せず、「ネット ワークモードをダウンロードしない」にチェックがついていること を確認して「次へ」ボタンをクリックする

この項目は、ネットワークを利用した集中管理を行うためのものです。集中管理を行うためには、別売の「CyberAccess Ver2.0」が必要です。

- **10**「CyberWarner」の画面で「次へ」ボタンをクリックする CyberWarner-NXをインストールしない場合は、「CyberWarnerをイ ンストール」のチェックを外してください。
- 11 「セットアップ開始」で「次へ」ボタンをクリックする
- 12 「Cyber Access のセットアップに成功しました。」と表示された ら「完了」ボタンをクリックする 「CyberWarner-NX」をインストールしない場合は、これで操作は完了 です。「CyberWarner-NX」をインストールする場合は、続けて以下の 操作を行ってください。
- 13 「CyberWarner-NX セットアップへようこそ!」で「次へ」ボタンを クリックする
- 14「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- **15**「セットアップへようこそ!」と表示された場合は、「次へ」ボタンを クリックする
- 16「インストールを有効にするために再起動する必要があります」と 表示されたら、「OK」ボタンをクリックする 本機が再起動します。

VirusScan

- 1 「追加の準備 (p.30)の手順1~7を行う
- **2**「プロダクトの選択」で「McAfee VirusScan」をクリックして、 「OK」ボタンをクリックする セットアッププログラムが起動します。
- 3 「セットアップへようこそ」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 契約内容に同意の上、「はい」ボタンをクリックする
- 5 「セットアップ方法」で「カスタム」を選び、「次へ」ボタンをクリッ クする インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、表示された画 面の「パス」にインストール先を入力し、「OK」ボタンをクリックしてくだ さい。
- 6 「コンポーネントの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「オプションの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 8「オプションの選択」で「ブート時にシステムをスキャン」および 「エマージェンシーディスクを作成」のチェックを外し、「次へ」ボ タンをクリックする

エマージェンシーディスクは、後から作成することもできます。詳しくは、 VirusScanのヘルプをご覧ください。

デチェック!!「ブート時にシステムをスキャン」のチェックを外さずにインストールした場合、
MS-DOS用アプリケーションが動作しなくなる場合があります。

9 「プログラムフォルダの選択」で「次へ」ボタンをクリックする

10「インストール設定の確認」で「次へ」ボタンをクリックする ファイルのコピーが始まります。

- 11 「システム領域のスキャンが完了しました」と表示されたら、「OK」 ボタンをクリックする
- **12**「この製品についての最新の情報を表示しますか?」と表示される ので、このまま最新の情報を読む場合は「はい」ボタン、読まない 場合は「いいえ」ボタンをクリックする 最新の情報は「スタート」ボタン「プログラム」「McAfee VirusScan」 の「ウィルスデータベースの内容」をクリックして読むことができます。
- 13 「変更事項」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 14 インストールが終了すると、「インストールが完了しました」と表示 されるので、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選び、 「終了」ボタンをクリックする 本機が再起動します。 次回起動時からは、自動的にVShieldが常駐します。

英語モードフォント

英語モードフォントに切り替えるには、添付の「アプリケーションCD-ROM」を 使ってインストールする必要があります。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「フォント」アイコンをダブルクリッ クする
- 2 「ファイル」の「新しいフォントのインストール」を選択する
- **3** CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 4 「フォントの追加」の「ドライブ」に「アプリケーションCD-ROM」を セットしたドライブ(通常はQ:¥)を指定する
- 5 「フォルダ」で「usfont」フォルダをダブルクリックする
- 「フォントの一覧」に「EnglishModeFixedSys(Set#6)」 「EnglishModeSystem(Set#6)」「EnglishModeTerminal (Set#6)」が表示されたら「すべて選択」をクリックし「OK」をクリッ クする

Intel[®] LANDesk[®] Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)

- 1 「追加の準備 (p.30)の手順1~7を行う
- **2**「プロダクトの選択」で「Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (NEC Extension)」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「製品ライセンス契約」画面で契約内容を確認して、同意する場合は「はい」ボタンをクリックする
- 5 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「コンポーネントの選択」画面ですべてのコンポーネントにチェックを入れて、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「プログラムフォルダの選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「ユーザの追加」画面で「ユーザ名」と「パスワード」を入力して「次 へ」ボタンをクリックする
- - 9 「セットアップの完了」画面で「はい、直ちにコンピュータを再起動 します」がチェックされていることを確認して、「完了」ボタンをク リックする

pcAnywhere 9.0 EX

- 1 「追加の準備 (p.30)の手順1~7を行う
- **2**「プロダクトの選択」で「pcAnywhere 9.0 EX」をクリックして「OK」 ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「ユーザの情報」画面で「名前」と「会社名」を入力して「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「オンライン使用許諾契約」画面で「はい」ボタンをクリックする
- 6 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「セットアップの確認」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「セットアップの完了」画面で「はい、直ちにコンピュータを再起動 します」がチェックされていることを確認して、「完了」ボタンをク リックする

RSA SecurPC

- **1** userpref.!!!ファイルのバックアップを保存するための、1.44Mバ イトでフォーマットした空のフロッピーディスクを1枚用意する
- **2**「追加の準備(p.30)の手順1~7を行う
- **3**「プロダクトの選択」で「RSA SecurPC for Windows 98」をク リックして「OK」ボタンをクリックする
- 4 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「 複写先を選択 」で「 次へ」ボタンをクリックする
- **6**「RSA SecurPCへようこそ」で「OK」ボタンをクリックする

- 7「ランダム鍵の生成」で、「鍵生成達成率100%」になるまで適当な キー入力及びマウスカーソルの移動操作を行い、「ランダム鍵の 生成が終了しました。」と表示されたら「0K」ボタンをクリックする
- 8 「RSA SecurPC」で「ユーザー名」と「ユーザーパスワード」の設定を行い、「OK」ボタンをクリックする
- 9 「ユーザー参照ファイルをバックアップするドライブを選択し、フロッピーディスクを挿入してください。」と表示されたら、1.44Mでフォーマットされた空のフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットし、「OK」ボタンをクリックする
- **10**「RSA SecurPCセットアップは完了しました。」と表示されたら、 「OK」ボタンをクリックする
- 11 「RSA SecurPCのインストレーションが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

Masty Data Backup

- 1 「追加の準備 (p.30)の手順1~7を行う
- **2**「プロダクトの選択」で「Masty Data Backup/F」を選び、「OK」ボ タンをクリックする
- 3 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「セットアップ完了」画面で「完了」ボタンをクリックする Readmeファイルを読む場合は、「Readmeファイルを読みます。」に チェックを入れてください。読み終ったら、ウインドウ右上の 図 をクリッ クして閉じてください。

インターネット設定切替ツール

- 1 「追加の準備 (p.30)の手順1~7を行う
- **2**「プロダクトの選択」で「インターネット設定切替ツール」を選び、 「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「セットアップの完了」画面が表示されたら、Readmeを読む場合 はそのまま「完了」ボタンを、読まない場合は「Readmeファイルを 読む。」のチェックを外してから「完了」ボタンをクリックする Readmeファイルを読む場合は、読み終わったら画面右上の文をク リックしてください。

Virtual CD 2 VA33Hのみ)

- 1 「追加の準備 (p.30)の手順1~7を行う
- **2**「プロダクトの選択」で「Virtual CD 2」を選び、「OK」ボタンをク リックする
- 3 「Virtual CD 2」画面で「続行」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先パスの設定」画面で「続行」ボタンをクリックする
- 5 「セットアップは正常に完了しました。」と表示されたら、「再起動」 ボタンをクリックする

削除の前に

添付のアプリケーションの削除に関する注意事項を説明しています。

削除するときの注意

- ・アプリケーションを削除する場合は、ご利用にならないことをよくご確認の うえ、削除してください。
- ・インターネットエクスプローラは削除することはできません。
- CD-ROMドライブが内蔵または添付されていないモデルの場合、削除したアプリケーションを再度追加するためには、CD-ROMドライブが必要です。
- ・ご自分でインストールされたアプリケーションの削除については、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。
- ・ハードディスクの空き領域を増やしたい場合は、不要なアプリケーションを 削除することによって空き領域を増やすことができます。
- ・アイコンを削除する場合は、「アイコン削除の準備(p.46 を行ってから 削除します。
- ・CD-ROMを使用して削除した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMド ライブから取り出してください。

削除の準備

コントロールパネルを使って削除する場合は、次の手順を行ってください。 CD-ROMを使用する場合は、アプリケーションのアンインストール機能を使う 場合は必要ありません。

なお、一部のアプリケーションでは以下の手順は必要ありません。

1 「コントロールパネル」を開き「アプリケーションの追加と削除」ア イコンをダブルクリックする 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。

2「インストールと削除」タブを選択する

削除の作業中に、メッセージのウィンドウが他のウィンドウに隠れてしまった 場合は、タスクバーにあるそのメッセージウィンドウのボタンをクリックして、 最前面に表示してください。

- チェック? ・削除したとき、アプリケーションによってはフォルダやデスクトップ、「スタート」 メニューにショートカットが残る場合があります。その状態でも、操作上は支障 ありません。
 - ・アイコンを削除するには、各アプリケーションの削除方法に従って操作してく ださい。
 - ・アプリケーションによっては、削除中に「共有ファイルを削除しますか?」、「共 有コンポーネント」などの画面が表示される場合があります。このような画面 は、インストールされているアプリケーションが共通で使用していると思われ るファイルを削除しようとしたときに表示されます。このような画面が表示され た場合は、「すべていいえ」や「すべて残す」を選んで、ファイルを削除しない ようにしてください。
 - ・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」でアプリケーション を選んで「インストールと削除」ボタンをクリックした後は、途中で中断しても、 そのままではアプリケーションを使用できないことがあります。その場合は、本 機を再起動して、アプリケーションを再度インストールしてください。

アイコン削除の準備

アプリケーションを削除した後、デスクトップに残ったアイコンを削除する場合は、アイコンを削除する前に、次の手順を行ってください。

- **1** 「スタート」ボタン 「プログラム」「エクスプローラ をクリックする
- 2 「表示」メニュー 「フォルダオプション」をクリックする
- 3 「表示」タブの「詳細設定」の「ファイルの表示」ですべてのファイル を表示」を選択する
- 4「OK」ボタンをクリックする この後、各アプリケーションの削除方法でアイコンを削除します。

削除のしかた

アプリケーションを削除する手順を各添付アプリケーションごとに説明しています。

Office 2000 Personal

✓ チェック! MS-IME 2000を削除することはできません。

Office 2000 Personalの削除

- 1 「削除の準備 (p.45)の手順1~2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Microsoft Office 2000 Personal」 をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「Microsoft Office 2000 メンテナンス モード」が表示されたら、 『(Officeの削除)をクリックする
- 4 「Microsoft Office 2000を削除してもよろしいですか?」と表示 されたら「はい」ボタンをクリックする
- **5**「Microsoft Office 2000 Personalのセットアップが正常に終了 しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 6 本機を再起動する

アイコンの削除

Office 2000 Personalを削除したあと、タスクバー上にOutlookの起動ア イコンが残る場合があります。 アイコンは、次の手順で削除することができます。

1 タスクバーにあるOut lookの起動アイコンを右クリックする メニューが表示されます。

- 2 「削除」をクリックする 「ファイルの削除の確認」が表示されます。
- **3**「はい」ボタンをクリックする

一太郎10パック

ー太郎10が常駐している場合は、必ず常駐を解除してから削除してください。常駐解除の方法は添付の一太郎10パックのマニュアルをご覧ください。

- 1 「削除の準備 (p.45)の手順1~2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「JUSTSYSTEMアプリケーション の追加と削除」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「Voice-太郎10・花子10パックのセットアップ開始」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「Voice一太郎10・花子10パックの追加と削除」で「ファイルの追加・削除」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「Voice一太郎10・花子10パックのファイルの追加・削除」で「ファ イルの削除」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「削除するファイルを選択します」と表示されたら「全て選択」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックする アプリケーションや機能を選んで削除することもできます。
- 7「ジャストシステム共通ファイルも削除しますか?」と表示されたら 「削除しない」をクリックする 「Windowsまたは他のアプリケーションがATOKを使用しています。 ATOKはコンピュータを再起動するときに削除します。」と表示される ことがあります。そのときは、「OK」ボタンをクリックしてください。
- 8 「フォルダ名を確認してください1/3」で次へ」ボタンをクリックする
- 9 「フォルダ名を確認してください2/3」で、次へ」ボタンをクリックする

「指定されたフォルダC:¥JUST¥VOICEは存在しません。続行します か?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックしてください。

10 「フォルダ名を確認してください3/3」で 次へ」ボタンをクリックする

「指定されたフォルダC:¥JUST¥ビデオは存在しません。続行します か?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックしてください。

- 11 「ファイルの削除を開始します」で「削除開始」ボタンをクリックする 削除が始まります。
- **12**「Voice-太郎10・花子10パックのセットアップ終了」が表示されたら「再起動」ボタンをクリックする Windows98が自動的に再起動します。

Intellisync

- 1 「削除の準備 (p.45)の手順1~2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Intellisync」をクリックし「追加 と削除」ボタンをクリックする
- **3**「'Intellisync とそのすべてのコンポーネントを完全に削除します か?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 4 「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときば「すべていいえ」をクリックする 削除が始まります。
- 5 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンを クリックする

NEC Soft MPEG1.0

NEC Soft MPEG1.0の削除は、「コントロールパネル」の「マルチメディア」 で行います。

- 1 メディアプレーヤーなど、NEC Soft MPEG1.0を使用するアプ リケーションが起動していないことを確認する
- **2**「コントロールパネル」を開き「マルチメディア」をダブルクリック する
- 3 「マルチメディアのプロパティ」から「デバイス」タブをクリックする

- **4** 「メディアコントロールデバイス」の左の土をクリックする デバイスドライバの一覧が表示されます。
- **5**「NEC Soft MPEG1.0」をダブルクリックし、「NEC Soft MPEG1.0 のプロパティ」で「削除」ボタンをクリックする
- 6 「削除」画面で「はい」ボタンをクリックする
- 7 「ドライバが削除されました」と表示されたら「OK」ボタンをクリッ クする
- 8 削除後に再起動を促すメッセージが表示されたら「OK」ボタンを クリックし、本機を再起動する

プレーヤ-NX

- 1 「削除の準備 (p.45)の手順1~2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「プレーヤ-NX」をクリックして 「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全 に削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする 削除が始まります。
- 4 「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックする
- 5 「アンインストールが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタン をクリックする

Acrobat Reader 3.0J

- 1 「削除の準備 (p.45)の手順1~2を行う
- **2**「インストールと削除」の一覧から「Adobe Acrobat Reader 3.0J」 をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全 に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする 「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは「すべていいえ」 をクリックしてください。
- 4 削除が終了し、「アンインストールが完了しました。」と表示された ら「OK」ボタンをクリックする

CyberAccess

ぐチェック!「C:¥Program Files」や「C:¥Windows」などのシステムが使用しているフォ ルダには、アプリケーションをインストールしないでください。

CyberWarner-NXのみを選択して削除することもできます。

- 1 「削除の準備 (p.45)の手順1~2を行う
- **2**「インストールと削除」の一覧から「CyberAccess」をクリックして、 「追加と削除」ボタンをクリックする
- **3**「CyberAccess アプリケーションとその全てのコンポーネントを 削除しますか。」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

CyberWarner-NXのみを削除する

「CyberWarner-NX」を常駐させていない場合は、手順3から行ってください。

1 タスクバーにある「CyberWarner-NX」アイコンをクリックし、「終 了」をクリックする

- **2**「CyberWarner-NXのシャットダウン」で、「はい」ボタンをクリック する
- 3 「削除の準備 (p.45)の手順1~2を行う
- **4**「インストールと削除」の一覧から「CyberWarner-NX」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 5 「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 6 「セットアップ」画面で「OK」ボタンをクリックする 本機が再起動します。

VirusScan

- **1**「削除の準備(p.45)の手順1~2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「McAfee VirusScan v4.0.2b (プレインストール版)」をクリックして「追加と削除」ボタンをク リックする
- 3 「McAfee VirusScanの削除が選択されました。本当にMcAfee VirusScanを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをク リックする
- 4 「削除後はシステムを再起動することをお勧めします。続行しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする削除が始まります。
- 5 「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は、「すべてい いえ」ボタンをクリックする
- 6「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンを クリックする
- 7 本機を再起動する

英語モードフォント

日本語モードへの切り替えるには、インストールした英語モードフォントを削除する必要があります。

- 1 「コントロールパネル」を開き「フォント」アイコンをダブルクリック する
- 2「FONTS」フォルダ内の「EnglishModeFixedSys(Set#6)」 「EnglishModeSystem(Set#6)」「EnglishModeTerminal (Set#6)(短く表示されることもあります)を選択し「ファイル」の 「削除」を選ぶ
- 3 「これらのフォントを削除してもよろしいですか?」と表示されたら 「はい」ボタンをクリックする

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)

- 1 「削除の準備 (p.45)の手順1~2を行う
- 2「インストールと削除」の一覧から「Intel LANDesk Client Manager 6.0 (with NEC Extensions)」をクリックして、「追加と削除」ボタン をクリックする
- **3**「'Intel LANDesk Client Manager 6.0(with NEC Extensions)' とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」で「はい」ボタン をクリックする
- 4 「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたら「すべていいえ」 ボタンをクリックする
- **5**「LDCMのアンインストール」画面で「はい」ボタンをクリックする 本機が再起動します。

pcAnywhere 9.0 EX

- 1 「削除の準備 (p.45)の手順1~2を行う
- **2**「インストールと削除」の一覧から「pcAnywhere 9.0 EX」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「ファイル検出の確認」画面で「はい」ボタンをクリックする
- 4 「共有フィルを削除しますか?」画面で「すべていいえ」ボタンをク リックする
- 5 「コンピュータからプログラムを削除」画面で「OK」ボタンをクリッ クする
- 6 「 'pcAnywhere 9.0 EX 'はシステムから削除されました。コン ピュータを再起動して、アンインストール時に使用中だったファイ ルを削除することをお勧めします。」と表示されたら「 OK 」ボタン をクリックする
- 7 「コンポーネントからpcAnywhereをアンインストールしました。今 すぐに再ブートしますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリック する

RSA SecurPC

- 1 「削除の準備 (p.45)の手順1~2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「RSA SecurPC」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「RSA SecurPCアンインストール」で「はい」ボタンをクリックする

- 4 「Windowsを再起動するまで、お待ちください。」と表示されたら、 「OK」ボタンをクリックする 本機が再起動します。
- 5 「アンインストールが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタン をクリックする

Masty Data Backup

- 1 Masty Data Backupを終了する タスクトレイに時計アイコンが表示されている場合は、タスクトレイの時 計アイコン上で右クリックして、「閉じる」をクリックしてください。 次に、タスクバーの「Masty Data Backup」を右クリックし表示され たダイアログボックスの右上の 図をクリックし、「自動実行を終了し ますか?」と表示されたら「OK」ボタンをクリックしてください。
- **2**「削除の準備 (p.45)の手順1~2を行う
- **3**「インストールと削除」の一覧から「Masty Data Backup/F」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 4 「Masty Data Backup/F とそのすべてのコンポーネントを削除 しますか?」と表示されるので、「はい」をクリックする
- 5 「アンインストールが完了しました」と表示されるので、「OK」ボタ ンをクリックする

6 本機を再起動する

- チェック!! ・アンインストーラ(アンインストールをするプログラム)は、Windows 98の登録情報とプログラムファイルを削除します。お客様が作成されたログファイル等は削除しません。このため、アンインストーラがディレクトリの削除に失敗することがあります。この場合には、エクスプローラ、またはファイルマネージャなどを使用して削除してください。
 - ・再セットアップ時以外にMasty Data Backupにて作成されるファイルはログ ファイル以外にもいくつかあります。ログファイル以外は全て隠しファイルと なっています。

インターネット設定切替ツール

 ●チェック!! インターネット設定切替ツールを起動している場合は、終了させてから削除を 行ってください。

- 1 「削除の準備 (p.45)の手順1~2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「インターネット設定切替ツー ル」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする
- **3** 「 'インターネット設定切替ツール 'とそのすべてのコンポーネン トを削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- **4**「コンピュータからプログラムを削除」画面で「OK」ボタンをクリッ クする
- 5 本機を再起動する

Virtual CD 2(VA33Hのみ)

- 1 「削除の準備 (p.45)の手順1~2を行う
- **2**「インストールと削除」の一覧から「Virtural CD」を選び、「追加と 削除」ボタンをクリックする
- 3 「Virtual CDのアンインストール」画面ではい」ボタンをクリック する
- **4**「Virtual CDをシステムからアンインストールしていいですか?」 と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 5 「Virtual CDを完全にアンインストールしました。アンインストールを完了するにはシステムを再起動する必要があります。今すぐ 再起動しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする



再セットアップ

システムを起動できなくなったときなどは、システムを再セットアップしてください。

再セットアップを行うと、ハードディスクのファイルやフォルダはすべて消えて しまいます。大切なファイルは再セットアップの前にコピーしておいてください。



再セットアップが必要な場合

次のような症状が出てパソコンのシステムが壊れてしまったときに、添付の「バックアップCD-ROM」を使ってパソコンのシステムを購入時の状態 に戻すことができます。この作業を「再セットアップ」といいます。

こんなときは再セットアップが必要です

- ・電源を入れたとき、電源ランプが点灯しているのにWindows 98が起動 しない
- ・ハードディスクのプログラムが正常に動作しない
- ・ハードディスクのシステムファイルを削除してしまった
- ・Cドライブ(ハードディスク)の構成を変えたい
- ◆チェック!・再セットアップを行うと、WindowsやBIOSセットアップメニューなどで設定した内容がすべて初期値に戻ってしまいます(パスワードの設定を除く)。再セットアップを行うときは、本当に必要かどうかよく判断してから行うようにしてください。
 - ・再セットアップ前にスーパバイザパスワードやユーザパスワードが設定され ていた場合、それらの設定が引き続き有効になります。

再セットアップの種類

再セットアップには、次の2種類の方法があります。必要に応じて利用形態に あった方法を選んでください。

標準再セットアップ

ハードディスクを、購入した時と同じ状態にする再セットアップ方法です。 パソコン初心者の方や、システムを購入した時と同じ状態に戻したい方は、 この方法を選んでください。

カスタム再セットアップ ハードディスクの領域を自由に変更して再セットアップすることができます。

カスタム再セットアップには次の3つの方法があります。

・ハードディスクの全領域を1パーティションにして再セットアップする Cドライブのハードディスクの容量を最大にすることができます。
Cドライブの容量を変えずに、Cドライブのみを再セットアップすることがで ハードディスクの領域を自由に変更して再セットアップすることができます。

再セットアップ時の注意

きます。

再セットアップを行うときには必ず次の注意事項を守ってください。

マニュアルに記載されている手順どおりに行う

・ハードディスクの領域を設定して再セットアップする

再セットアップを行うときは、必ずこのマニュアルに記載の手順を守ってくだ さい。手順を省略したりすると、正しく再セットアップすることができません。

再セットアップは途中でやめない

・Cドライブのみを再セットアップする

再セットアップの作業を途中で中断することはできません。いったん再セット アップを始めたら、必ず最後まで通して行ってください。 もし途中で作業を中断した場合は、最初から操作をやり直す必要がありま す。

再セットアップの準備

必要なものをそろえる

再セットアップには最低限次のものが必要です。作業に入る前にあらかじめ 準備しておいてください。

 ・本機に添付されている「バックアップCD-ROM」と「システムインストー ルディスク」フロッピーディスク

モデルによっては、添付されているフロッピーディスクの枚数が異なります。添付されているすべてのフロッピーディスクが必要です。

- ・本機に添付されている「Office 2000 Personal」CD-ROM(Office 2000モデル)
- ・本機に添付されている「一太郎10・花子10パックCD-ROM(一太郎 モデル)
- ・フロッピーディスクドライブ
 フロッピーディスクドライブが内蔵されていないモデルをご使用の方は、フロッピーディスクドライブを接続しておいてください。
- ・CD-ROMドライブ

CD-ROMドライブが内蔵または添付されていないモデルをご使用の方は、別売のCD-ROMドライブと、そのCD-ROMドライブに添付されているドライバのフロッピーディスクをご用意ください。

システムインストールディスク(起動用)のバックアップをとる

再セットアップの作業で、「システムインストールディスク(起動用)」を使用す るときは、あらかじめ別の1.44Mバイトフォーマットのフロッピーディスクにバッ クアップをとり、そのバックアップをとった複製のほうを使用します。 バックアップは、WindowsのディスクコピーまたはMS-DOSの「DISKCOPY」 コマンドで行うことができます。

コピーが完了したら、元のディスクは大切に保管しておき、以降の作業では、 複製のほうを使用してください。

- 参照/「ディスクのコピー」の使い方 Windowsのヘルプ
- チェック!! 複製した「システムインストールディスク(起動用)」はライトプロテクトをかけず に書き込み可能な状態にしておいてください。

ハードディスクのデータのバックアップをとる

再セットアップを行うと、ハードディスク内に保存しておいたデータやアプリ ケーションはすべて消えてしまいます。消したくないデータがある場合は、必 ず他のフロッピーディスクや外付けハードディスクなどにデータのバックアッ プをとってから再セットアップしてください。

●●● バックアップ

ハードディスクなどに保存したファイルやフォルダが消えてもいいように、フ ロッピーディスクや外付けハードディスクなどに複製を作ることを「バックアッ プをとる」といいます。大切なデータを保護するには、定期的なデータのバッ クアップが有効です。

パソコンの設定を控える

再セットアップを行うと、インターネットやBIOSセットアップメニューなどの設定は購入時の状態に戻ってしまいます。再セットアップ後も現在と同じ設定で使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

控えておくもの ・インターネットのID ・インターネットのアドレス ・BIOSセットアップメニューの設定

機器の準備をする

次の準備を行ってください。

- ・パソコン本体の設定(BIOSの設定)を初期値に戻す
- ・パソコン本体の電源を切る
- ・CD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブ以外の周辺機器を取り外す
- ・ACアダプタを接続しておく

パソコン本体の設定(BIOSの設定)を初期値に戻す

次の手順に従ってパソコン本体の設定(BIOSの設定)を初期値に戻してく ださい。

パソコン本体の設定(BIOSの設定 を初期値に戻しても、スーパバイザパ スワードやユーザパスワードは解除されません。

- 1 本機の電源を入れる
- **2**「NEC」のロゴが表示されたらすぐにキーボードの【F2】を押す B10Sセットアップメニューのメイン画面が表示されます。
- 3「デフォルト値をロード」を選び、【Enter】を押す セットアップの確認のダイアログボックスが表示されます。
- 4「はい」を選び、【Enter】を押す BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。
- 5 キーボードの【F10】を押す セットアップの確認のダイアログボックスが表示されます。
- 6 「はい」を選び、【Enter】を押す これでパソコン本体の設定(BIOSの設定)が初期値に戻りました。

パソコン本体の電源を切る

スタンバイ状態(サスペンド)や休止状態(ハイバネーション)になっている場合には一度データを保存し、電源を切ってください。

CD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブ以外の周辺機器を取り外す 再セットアップに必要なCD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブ以外の 周辺機器を取り外してください。

ACアダプタを接続しておく

バッテリ駆動では再セットアップすることはできません。必ずACアダプタを接続しておいてください。

これで再セットアップの準備がすべて整いました
これ以降は、再セットアップの方法によって手順が異なります。 標準再セットアップ 「標準再セットアップ」へ(p.64)
カスタム再セットアップ
・全領域を1パーテーションにして再セットアップする場合
「カスタム再セットアップ ~全領域を1パーティションにして再セッ トアップする(p.68)
・Cドライブのみを再セットアップする場合
「カスタム再セットアップ ~Cドライブのみを再セットアップする」 (p.71)
・ハードディスクの領域を設定して再セットアップする場合
「カスタム再セットアップ ~ハードディスクの領域を設定して再 セットアップする(p.74)



操作の流れ

再セットアップの操作は次の手順で進めます。

1.システムを再セットアップする(p.64)

2.Windows 98の設定をする(p.91)

3. アプリケーションを再セットアツプする

Office2000モデルの場合は「Office 2000 Personalの再セットアップ」 (p.93)

ー太郎モデルの場合は、「一太郎10・花子10パックの再セットアップ」 (p.97)

4. 各種の設定をする(p.101)

システムを再セットアップする

- 1 本機の電源を入れる
- 2「NEC」のロゴが表示されたらすぐに「システムインストールディ スク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする 次の画面が表示されます。

Windows 98 再セットアップ
【再セットアップとは】 ハードディスク内のプログラムが不正になり、電源を入れてもシステムが起動し なくなった場合に、高セットアップを行うことによってハードディスクを購入時 の状態に厚てとなができます。 ≪、ペッジニブダ(ロ)、パパタのかの あ) みん 心力が良んかかあん人、パッシロ
(注意!) ・ ・ ・ ・ ・ モットアップは、途中で中断しないでください、) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
●次の画面を表示する場合は、Enterキーを押してください、 ●再セットアップを開始しない場合は、F3キーを押してください。
準 備 → 領域の作成 → フォーマット → ファイルの復元 → 設 定 → 終 了

チェック!!「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、この画面は表示 されません。画面が表示されなかったときは、フロッピーディスクをフロッピー ディスクドライブから取り出し、電源を切ってもう一度手順1からやり直してくだ さい。

> 再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。前ページの画 面で確認してください。

- チェック!! 別売のCD-ROMドライブをご使用の場合、CD-ROMドライブ用ドライバをフロッピーディスクドライブに入れ替えるようメッセージが表示されることがあります。このような場合にはメッセージに従ってください。 また、CD-ROMドライブが接続されていないことを示すメッセージが表示されることがあります。このような場合にはメッセージに従ってください。
 - 3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする
 - 4 [Enter]を押す

「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

5 [Enter]を押す

次の画面が表示されます。



- チェック!! ・ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり、電源スイッチを 操作したりしないでください。
 - ・再セットアップ中に数回警告音が鳴りますが、問題ありません。

6 「標準再セットアップモード(強く推奨)」が黄色になっていること を確認して【Enter】を押す

「標準再セットアップモード(強く推奨)」が黄色になっていないときは、

「ハードディスクの内容を購入時の状態に戻します。よろしいですか?」 と表示されます。



7 「いいえ」が黄色になっているので、【 】を押して、「はい」を黄色にしてから【Enter】を押す

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが始まります。 途中でフロッピーディスクを入れ替えるメッセージが表示されたら、指 示に従って入れ替えてください。

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが終わると次 の画面が表示されます。



◆チェック! この画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常に行われていません。初めからやり直してください。

8 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク(起動 用)」を取り出す

9 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

 ✓ チェック! CD-ROMドライブが内蔵されていないモデルの場合は、外付けのCD-ROMド ライブを取り外し、PCカードスロットからPCカードを抜いてください。

10【Enter】を押す

システムが再起動し、しばらくすると「Windows 98へようこそ」が表示 されます。

GUIDE	使用許諾契約	製品の確認	ANNE	12
	Windows 98 AL	うこそ		
	Windows 98 搭載の コ).	ビュータをお買い上げいただきありが	とうこざいます。	
	コンピュータを最大限に	利用していただくためのステップをご識	内します。	
	Windows 98 ソフトウェアの 保存されます。	D所有者名を下のボックスに記入しる	こください。 入力された情報はこの:	レビュータに
	名前任		_	
	るりがなの)			
	 キーボードの Tab キーをi	甲すとポックスやポタンの間を移動で	927.	
TE,	🦾 続行する準備ができたらさ	Fーボードの Enter キーを押すか [)	かへ] をクリックしてください。	
	- Ban			

モデルによって画面は異なることがあります。

このあと、p.91の「Windows 98の設定をする」に進んでください。



カスタム再セットアップ

~ 全領域を1パーティションにして再セットアップする

ハードディスクの全領域を1つのパーティションにして、再セットアップする ことができます。

操作の流れ

再セットアップの操作は次の手順で進めます。

1. システムを再セットアップする(p.68)

- 2.Windows 98の設定をする(p.91)
- 3. アプリケーションを再セットアツプする
 - Office2000モデルの場合は、「Office2000 Personalの再セットアップ」 (p.93)

ー太郎モデルの場合は、「一太郎10・花子10パックの再セットアップ」 (p.97)

4. 各種の設定をする(p.101)

システムを再セットアップする

- 1 本機の電源を入れる
- 2「NEC」のロゴが表示されたらすぐに、「システムインストールディ スク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする 「再セットアップとは」の画面が表示されます。
- チェック!! 「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、この画面は表示 されません。画面が表示されなかったときは、フロッピーディスクをフロッピー ディスクドライブから取り出し、電源を切ってから、もう一度手順1からやり直し てください。

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。「再セットアップ とは」の画面で確認してください。 デチェック!! 別売のCD-ROMドライブをご使用の場合、CD-ROMドライブ用ドライバをフロッピーディスクドライブに入れ替えるようメッセージが表示されることがあります。このような場合はメッセージに従ってください。 また、CD-ROMドライブが接続されていないことを示すメッセージが表示されることがあります。このような場合はメッセージに従ってください。

3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする

4【Enter】を押す

「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

5 [Enter]を押す

再セットアップのモードを選ぶ画面が表示されます。

6 【 】を1回押して、「カスタム再セットアップモード」が黄色になったら【Enter】を押す カスタム再セットアップの種類を選ぶ画面が表示されます。

カスタム再セットアップを中断して標準再セットアップを行うときは、 【F3】を押し、画面のメッセージに従って最初からやり直してください。

- 7 「全領域を1パーティションにして再セットアップ」が黄色になっていることを確認し、【Enter】を押す 「ハードディスクの領域を下記の様に設定し、ファイルを購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。
- 8 【 】を1回押して、「はい」が黄色になったら【Enter】を押す ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが始まります。 途中でフロッピーディスクを入れ替えるようメッセージが表示されたら 指示に従って入れ替えてください。 システムの再セットアップまで終わると「終了しました」の画面が表示 されます。
- ✓ チェック! この画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常に行われていません。初めからやり直してください。
 - 9 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク (起動用)」を取り出す

10 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

11 【Enter】を押す

Windows 98が再起動し、しばらくすると Windows 98へようこそ」 が表示されます。

このあと、p.91の「Windows 98の設定をする」に進んでください。



~Cドライブのみを再セットアップする

Cドライブの容量を変えずに、Cドライブのみを再セットアップすることができます。

操作の流れ

再セットアップの操作は次の手順で進めます。

- 1. システムを再セットアップする(p.71)
- 2.Windows 98の設定をする(p.91)
- 3. アプリケーションを再セットアツプする
 - Office 2000モデルの場合は、「Office 2000 Personalの再セットアッ プ(p.93)
 - ー太郎モデルの場合は、「一太郎10・花子10パックの再セットアップ」 (p.97)
- 4. 各種の設定をする(p.101)
- チェック! Cドライブ以外のハードディスクにアプリケーションをインストールしている場合、再セットアップ後、ハードディスクにアプリケーションが残っていても、そのアプリケーションは再インストールが必要な場合があります。アプリケーションがうまく動作しなくなった場合には、再セットアップ後にアプリケーションを再インストールしてください。

システムを再セットアップする

- 1 本機の電源を入れる
- 2「NEC」のロゴが表示されたらすぐに、「システムインストールディ スク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする 「再セットアップとは」の画面が表示されます。

チェック!/「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、この画面は表示 されません。画面が表示されなかったときは、フロッピーディスクをフロッピー ディスクドライブから取り出し、電源を切ってから、もう一度手順1からやり直し てください。 再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。「再セットアップとは」の画面で確認してください。

- デチェック!! 別売のCD-ROMドライブをご使用の場合、CD-ROMドライブ用ドライバをフ ロッピーディスクドライブに入れ替えるようメッセージが表示されることがあり ます。このような場合はメッセージに従ってください。 また、CD-ROMドライブが接続されていないことを示すメッセージが表示され ることがあります。このような場合はメッセージに従ってください。
 - **3** CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする
 - **4**【Enter】を押す 「再セットアップの準備」の画面が表示されます。
 - 5 [Enter]を押す

再セットアップのモードを選ぶ画面が表示されます。

6 【 】を1回押して、「カスタム再セットアップモード」が黄色になったら【Enter】を押す カスタム再セットアップの種類を選ぶ画面が表示されます。

カスタム再セットアップを中断して標準再セットアップを行うときは、 【F3】を押し、画面のメッセージに従って最初からやり直してください。

- 7 【 】を1回押して、「Cドライブのみ再セットアップ」が黄色になったら【Enter】を押す 「Cドライブの内容を消去し、ファイルを購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。
- 8 【 】を1回押して、「はい」が黄色になったら【Enter】を押す ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが始まります。 途中でフロッピーディスクを入れ替えるようメッセージが表示されたら 指示に従って入れ替えてください。 システムの再セットアップが終わると「終了しました」の画面が表示されます。

✓ チェック! この画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常に行われていません。初めからやり直してください。

- 3 再セットアップ
- 9 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク (起動用)」を取り出す
- **10** CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す
- **ジチェック**? CD-ROMドライブが内蔵または添付されていないモデルで、PCカード経由で CD-ROMドライブをお使いの場合は、外付けのCD-ROMドライブを取り外し、 PCカードスロットからPCカードを抜いてください。

11 [Enter]を押す

Windows 98が再起動し、しばらくすると Windows 98へようこそ」 が表示されます。

このあと、p.91の「Windows 98の設定をする」に進んでください。



カスタム再セットアップ

~ハードディスクの領域を設定して再セットアップする

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップすることができます。

操作の流れ

再セットアップの操作は次の手順で進めます。

1. 現在のハードディスク領域を削除する(p.74)

論理MS-DOSドライブを削除する

拡張MS-DOS領域を削除する

- 基本MS-DOS領域を削除する
- 2. ハードディスクに新しい領域を作成する(p.80)
 - 基本MS-DOS領域を作成する
 - 拡張MS-DOS領域を作成する
 - 論理MS-DOSドライブを作成する
- 3.ドライブを初期化する(p.87)
- 4. システムを再セットアップする(p.89)
- 5.Windows 98の設定をする(p.91)
- 6. アプリケーションを再セットアップする

Office 2000モデルの場合は、「Office 2000 Personalの再セットアッ プ(p.93)

ー太郎モデルの場合は、「一太郎10・花子10パックの再セットアップ」 (p.97)

7. 各種の設定をする(p.101)

現在のハードディスク領域を削除する

∰ mm mm MS-DOS領域

Windowsが使用する領域のことを「MS-DOS領域」といいます。

用語》基本MS-DOS領域

システムを起動することができるドライブです。Cドライブが割り当てられ、こ こにWindows 98をインストールします。基本MS-DOS領域は1つのハード ディスクにつき1つしか作成できません。

基本MS-DOS領域以外のMS-DOS領域です。ここからシステムを起動する ことはできません。拡張MS-DOS領域は1つのハードディスクにつき1つしか 作成できません。拡張MS-DOS領域の中に論理MS-DOSドライブを割り当 てることでDドライブ以降として領域を割り当てることができます。

① (注) 論理MS-DOSドライブ

拡張MS-DOS領域の中に作成します。論理MS-DOSドライブは複数作成することができます。ここでDドライブ以降を作成します。

1 本機の電源を入れる

2「NEC」のロゴが表示されたらすぐに「システムインストールディ スク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする 次の画面が表示されます。





再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。上の画面で確認してください。

 チェック! 別売のCD-ROMドライブをご使用の場合、CD-ROMドライブ用ドライバをフ ロッピーディスクドライブに入れ替えるようメッセージが表示されることがあり ます。このような場合にはメッセージに従ってください。 また、CD-ROMドライブが接続されていないことを示すメッセージが表示され ることがあります。このような場合にはメッセージに従ってください。

3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする

4 [Enter]を押す

「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

5 [Enter]を押す

次の画面が表示されます。



6 【 】を1回押して「カスタム再セットアップモード」が黄色になったら、【Enter】を押す カスタム再セットアップの種類を選ぶ画面が表示されます。

76 カスタム再セットアップ ~ ハードディスクの領域を設定して再セットアップする

7 【 】を2回押して「ユーザ設定」が黄色になったら【Enter】を押す カスタム再セットアップを中断して、標準再セットアップを行うときは、 【F3】を押し、画面のメッセージに従って最初からやり直してください。



8 【Enter】を押す 次の画面が表示されます。



9 「ハードディスクの領域作成 / 領域削除」が黄色になっていることを確認し、[Enter]を押す

「ハードディスクの領域作成 / 領域削除」が黄色になっていないときは、【)を押して、黄色にしてから【Enter 】を押してください。

「ハードディスクの領域作成/領域削除」画面が表示されます。



10「実行」が黄色になっていることを確認し、【Enter】を押す 「実行」が黄色になっていないときは、【)を押して、黄色にしてから 【Enter】を押してください。

「FDISKオプション」の画面が表示されます。

ハードディスクに基本MS-DOS領域しかないときは、「基本 MS-DOS領域を削除する(p.80)へ進んでください。 論理MS-DOSドライブおよび拡張MS-DOS領域があるときは、 次の「論理MS-DOSドライブを削除する」へ進んでください。

論理MS-DOSドライブを削除する

- 「FDISKオプション」の画面で、【3】、領域または論理MS-DOSド ライブを削除)を押して、【Enter】を押す
- 2 【3】、拡張MS-DOS領域内の論理MS-DOSドライブを削除)を押して、【Enter】を押す ドライブー覧とともに、「どのドライブを削除しますか」と表示されます。
- 3 削除するドライブを選び(Dドライブの場合は【D】を押す)、 【Enter】を押す 「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。

- 4 ボリュームラベルの入力が必要なときは、入力して【Enter】を押す 入力する必要がないとき(削除する領域にボリュームラベルがつ けられていないとき)は、そのまま【Enter】を押す 「よろしいですか(Y/N)」と表示されます。
- 5 【Y】を押して【Enter】を押す 削除されたドライブのところに「ドライブを削除しました」と表示されます。
- 6 残りのドライブがあるときも、同様に3~5の手順ですべて削除する すべてのドライブが削除されると「拡張MS-DOS領域の論理ドライブ はすべて削除されました」と表示されます。
- 7 [Esc]を押す

「論理ドライブは定義されていません。ドライブ名は変更または削除されました」と表示されます。

8 【Esc 】を押す

「FDISKオプション」の画面が表示されます。

次に拡張MS-DOS領域を削除します。

拡張MS-DOS領域を削除する

- 「FDISKオプション」の画面で、【3】、領域または論理MS-DOSド ライブを削除)を押して、【Enter】を押す
- 2【2】 拡張MS-DOS領域を削除)を押して、【Enter 】を押す
 「削除した拡張MS-DOS領域のデータはなくなります。続けますか(Y/N)」と表示されます。
- **3**【Y】を押して【Enter】を押す 「拡張MS-DOS領域を削除しました」と表示されます。

4【Esc】を押す

「FDISKオプション」の画面が表示されます。

基本MS-DOS領域を削除する

- 「FDISKオプション」の画面で、【3】、領域または論理MS-DOSド ライブを削除)を押して、【Enter】を押す
- 2 【1】 基本MS-DOS領域を削除、を押して、【Enter】を押す 現在のハードディスクの状態とともに、「削除した基本MS-DOS領域 のデータはなくなります。どの基本領域を削除しますか」と表示されま す。
- **3**【1】を押して、【Enter】を押す 「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。
- 4 「WINDOWS98」と入力して(別のボリュームラベルの場合はその名前を入力、何もボリュームラベルが付けられていない場合は何も入力せずそのままの状態で)【Enter】を押す「よろしいですか(Y/N)」と表示されます。
- 5 【Y】を押して【Enter】を押す 「基本MS-DOS領域を削除しました」と表示されます。

6 [Esc]を押す

「FDISKオプション」の画面が表示されます。

次に「ハードディスクに新しい領域を作成する」に進んでください。

ハードディスクに新しい領域を作成する

ジチェック? 領域を作成するときは、「基本MS-DOS領域 拡張MS-DOS領域 論理MS-DOSドライブ」の順に作成してください。

> 本機では、次のようにして削除した領域の容量を合計した範囲のなかで、新 しい領域を分けます。

例:ハードディスクの容量が8Gバイトある場合

領域の分け方の例(1)

基本MS-DOS領域を4,096Mバイトにして、残りの拡張MS-DOS領域をす べて論理MS-DOSドライブにする。



領域の分け方の例(2)

8Gバイトのハードディスクで、基本MS-DOS領域を4,096Mバイトにして、 残りの拡張MS-DOS領域を1.500Mバイト、1.000Mバイトの論理MS-DOS ドライブにする。





▼チェック! 確保される領域が、入力した領域のサイズより大きくなる場合があります。 FAT16で領域確保するときに、「2.047Mバイト」と入力すると、実際に領域確保 されるサイズが「2,052Mバイト」などの値になり、FAT16では領域確保できない 場合があります。その場合には、2,045Mバイトなど2,047Mバイトより小さい値 を入力してください。

基本MS-DOS領域を作成する

 チェック? カスタム再セットアップでは、基本MS-DOS領域 Cドライブ)にWindows 98の システムやアプリケーションがインストールされます。領域のサイズを指定して 作成するときには、次の容量より大きくしてください。

・FAT16で確保する場合

1,650Mバイト+本機に搭載されているメモリ容量

FAT32で確保する場合

1,350Mバイト+本機に搭載されているメモリ容量

基本MS-DOS領域を最大に割り当てるかどうかで作成手順が違います。 それぞれ該当する部分をお読みください。

・最大に割り当てる場合 基本MS-DOS領域を最大に割り当てる

・最大に割り当てないでサイズを指定する 基本MS-DOS領域を、サイズ を指定して割り当てる(p.83)

基本MS-DOS領域を最大に割り当てる

- FDISKオプション」の画面で、【1】 MS-DOS領域または論理 MS-DOS ドライブを作成)を押して、【Enter】を押す 「どれか選んでください」と表示されます。
- 2【1】 基本MS-DOS領域を作成)を押して、【Enter 】を押す 「基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか(同時 にその領域をアクティブにします)(Y/N)」と表示されます。
- 3 【Y】になっているのを確認して、【Enter】を押す 「ドライブのサイズが2,048MB以上あります。このドライブはFAT32で す。」と表示されます。
- 4 [Esc]を押す 「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください」と表示されます。

5 【Esc 】を押す

「拡張MS-DOS領域が作成されていません。拡張MS-DOS領域を作成しますか?」と表示されたときは、【 】を1回押して「いいえ」を選んで【Enter】を押してください。

「設定を有効にするためにシステムを再起動します」と表示されます。

6【Enter】を押す

本機が再起動します。

これで基本MS-DOS領域の作成が完了しました。p.87の「ドライブを 初期化する」に進んでください。

基本MS-DOS領域を、サイズを指定して割り当てる

- 「FDISKオプション」の画面で【1】MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成)を押して、【Enter】を押す 「どれか選んでください」と表示されます。
- 2【1】【基本MS-DOS領域を作成)を押して、【Enter】を押す 基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか(同時 にその領域をアクティブにします)(Y/N)」と表示されます。
- 3 【N】を押して、【Enter】を押す 「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。基本MS-DOS領域を作ります」と表示されます。
- 4 必要な空き容量(p.82)以上の数値を入力する

5 【Enter】を押す

- 指定したサイズが2,048Mバイト以上の場合
 「ドライブのサイズが2,048MB以上あります。このドライブはFAT32
 です」と表示されます。
 【Esc 】を押すと自動的にFAT32に設定されます。
- 指定したサイズが2,047Mバイト以下の場合
 「このドライブはFAT32が標準設定になっています。FAT16に変更 しますか(Y/N)?」と表示されます。
 FAT16にする場合は【Y】を押して【Enter】を押します。
 FAT32にする場合は【N】を押して【Enter】を押します。

✓ チェック! FAT32にする場合は、『活用ガイド ハードウェア編』付録の「FAT32を使用する
 ときの注意」をご覧になり、内容をよく確認しておいてください。

「基本MS-DOS領域を作成しました」と表示されます。

6 [Esc]を押す

「FDISKオプション」の画面が表示されます。

- 7【2】、アクティブな領域を設定、を押し、【Enter】を押す 「アクティブにしたい領域の番号を入力してください」と表示されます。
- 8 【1】を押して、【Enter】を押す 「領域1がアクティブになりました」と表示されます。
- **9** [Esc]を押す 「FDISKオプション」の画面が表示されます。

次に拡張MS-DOS領域を作成します。

拡張MS-DOS領域を作成する

- 【1】、MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成)を押して、【Enter】を押す
- 2【2】 拡張MS-DOS領域を作成)を押して、【Enter】を押す「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。拡張 MS-DOS 領域を作ります」と表示されます。
- 3 最大サイズが表示されていることを確認して、【Enter】を押す 「拡張MS-DOS領域を作成しました」と表示されます。
- 4 【Esc 】を押す
 - 「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力して ください」と表示されます。

次に論理MS-DOSドライブを割り当てます。

論理MS-DOSドライブを割り当てる

- 1 論理MS-DOSドライブに最大サイズを割り当てないときは、数字 を入力して【Enter】を押す そのままの状態で【Enter】を押すと、自動的に最大サイズが割り当て られます。
 - 指定したサイズが2,048Mバイト以上の場合
 「ドライブのサイズが2,048MB以上あります。このドライブはFAT32
 です」と表示されます。
 【Esc】を押すと自動的にFAT32に設定されます。
 - 指定したサイズが512Mバイト以上2,047Mバイト以下の場合
 「このドライブはFAT32が標準設定になっています。FAT16に変更 しますか(Y/N)?」と表示されます。
 FAT16にする場合は【Y】を押して【Enter】を押します。
 FAT32にする場合は【N】を押して【Enter】を押します。
 - 指定したサイズが33Mバイト以上511Mバイト以下の場合
 「このドライブはFAT16が標準設定になっています。FAT32に変更しますか(Y/N)?」と表示されます。
 【N】を押して【Enter】を押します。
 自動的にFAT16に設定されます。

- 指定したサイズが32Mバイト以下の場合
 「このドライブはFAT16です。FAT32には小さすぎます。」と表示されます。
 【Esc 】を押します。
 自動的にFAT16に設定されます。
- 2 割り当てられていない拡張MS-DOS領域がまだ残っているときは、続けて「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください」と表示されるので、最大サイズで割り当てないときは、数値を入力して【Enter】を押すそのままの状態で【Enter】を押すと、自動的に最大サイズが割り当てられます。
- 3 拡張MS-DOS領域の残りがなくなるまで、手順2を繰り返して、すべての拡張MS-DOS領域を論理MS-DOSドライブに割り当てるすべての領域が割り当てられると、「拡張MS-DOS領域の使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り当てられています」と表示されます。

4 【Esc】を押す

「FDISKオプション」の画面が表示されます。

FDISKオプションの画面の「4.領域情報を表示」で作成した領域を確認 することができます。

5 【Esc 】を押す

「変更を有効にするにはコンピュータを再起動してください」と表示されます。

6 【Esc】を押す

「設定を有効にするためにシステムを再起動します」と表示されます。



7【Enter】を押す

本機が自動的に再起動します。 自動的に再起動しない場合は、電源スイッチを操作して電源を切り、 約5秒以上待ってからもう一度電源を入れます。 機種によって、再セットアップの注意事項を説明する画面が表示され ることがあります。内容をよく読んで、【Enter】を押してください。

3

再セットアップ

デチェック!! 別売のCD-ROMドライブをご使用の場合、CD-ROMドライブ用ドライバをフ ロッピーディスクドライブに入れ替えるようメッセージが表示されることがあり ます。このような場合にはメッセージに従ってください。 また、CD-ROMドライブが接続されていないことを示すメッセージが表示され ることがあります。このような場合にはメッセージに従ってください。

Windows 98 再セットアップの画面が表示されます。

これで領域は作成されました。 次に「ドライブを初期化する」に進んでください。

ドライブを初期化する

新しく確保した領域を、次の手順で初期化(フォーマット)します。

1 【 】を1回押して「ハードディスクのフォーマット」が黄色になった ら、【Enter】を押す との声声がまったります。

次の画面が表示されます。



2 「C:」が黄色になっていることを確認して、【Enter】を押す 「注意!ドライブC:のハードディスクのデータは全てなくなります。フォー マットしますか(Y/N)?」と表示されます。 3 【Y】を押して、【Enter】を押す

フォーマットが始まります。ドライブのサイズにもよりますが、5分ほどかかります。

フォーマットが終わると、「ボリュームラベルを入力してください。」と表示されます。

4 ボリュームラベル(ドライブの名前)が必要なときは、ボリューム ラベルを入力して【Enter】を押します。必要がなければ、【Enter】 だけを押す

ボリュームラベルは、半角文字で11文字まで、全角文字で5文字まで入力 できます。

「Windows 98 再セットアップ」の画面に戻ります。

用語 ボリュームラベル

ボリュームラベルは、ドライブの名前です。「マイコンピュータ」や「エクスプ ローラ」で表示されます。あとで「マイコンピュータ」でドライブのアイコンを右 クリックして「プロパティ」を選ぶと全般シートで入力、変更することができま す。

新しく領域を確保したドライブはすべて、手順1~4を繰り返して、フォーマットしてください。(手順2のドライブ名は、【 】を押して選んでください) ドライブを5つ以上作成(Gドライブ以上作成)した場合は、これ以降のドライ ブは手順1の画面には表示されず、ここではフォーマットできません。 「再セットアップ中にフォーマットできなかったドライブを初期化(フォーマット) する(p.102)でフォーマットします。

- チェック!
 ・領域を削除しなかったドライブはフォーマットしないでください。フォーマットすると、ドライブ内のすべてのデータが削除されます。
 - ・「システムインストールディスク(起動用)」はフロッピーディスクドライブから 取り出さないでください。

システムを再セットアップする

1「Windows 98 再セットアップ」の画面で【】を数回押して「ファ イルの復元」が黄色になったら、【Enter】を押す

Windows 98 再乜。	ットアップ
【ファイルの復元】	
< バックアップCD - R OMのドライブ >	Q:
< 再セットアップ先のドライブ >	C:
【実行】	
< 前の画面に戻る >	
 ファイルを復元する場合は、矢印キー(↑・↓) 7 r キーを押してください。 	で〈実 行〉を選択してEnte
 ●前の画面に戻る場合は、矢印キー(↑・↓)で <前 + e r キーを押してください 	前の画面に戻る〉を選択してEn
(●再セットアップを中断する場合は、F3キーを打	申してください.)
準 備 → 領域の作成 → フォーマット → ファイ	ルの復元 → 該 定 → 終 了

- 2 「実行」が黄色になっていることを確認して、【Enter】を押す システムの再セットアップが始まります。途中でフロッピーディスクを入れ 替えるメッセージが表示されたら、指示に従って入れ替えてください。
- チェック! ・ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり、電源スイッチを操作したりしないでください。
 - ・再セットアップ中に数回警告音が鳴りますが、問題ないので無視してください。

システムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



- **3** フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク (起動用)」を取り出す
- 4 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

5 [Enter]を押す

システムが再起動し、しばらくすると「Windows 98へようこそ」が表示 されます。

このあと、p.91の「Windows 98の設定をする」に進んでください。

Windows 98の設定をする

✓ チェック // LAN内蔵モデルをお使いの場合は、「ネットワークパスワードの入力」画面が表示されるので、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

- 1 「Windows 98へようこそ」の画面で、キーボードからパソコンを 使う人の名前とふりがなを入力する 名前やふりがなは、ローマ字でも、漢字やカタカナでもかまいません。
- ▼チェック!! ・名前を入力しないと、次の手順に進めません。
 - ・ふりがなは入力しなくてもかまいません。
 - ここで入力した名前、ふりがなを変更したい場合は、再セットアップが必要に なります。

2 入力が終わったら「次へ」ボタンをクリックする

この後、「モデムを使って接続する」が表示されたら「スキップ」ボタンをク リックします。

次に「ダイヤルのキャンセル」が表示されたら「はい」を O(オン)にして、 「次へ」ボタンをクリックします。

3 画面に表示される「使用許諾契約書」を確認する マ スクロールボタン をクリックするか、【PgDn】を押すと、「使用許諾 契約書」の下の方を読むことができます。



- 4 「同意する」の○をクリックして○(オン)にし、「次へ」ボタンをクリックする
- チェック!
 「同意しない」
 ① オン にして「次へ」ボタンをクリックすると、セットアップを中止するメッセージが表示されます。
 中止したときは、もう一度最初から再セットアップし直してください。
 - **5**「セットアップの完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする 自動的にWindows 98が再起動し、Windows 98のデスクトップ画面が表示されます。



このあとは、ご使用の ⁵ ・Office 2000モデル	モデルにより手順が異なります。 「Office 2000 Personalの再セットアッ
	プ(p.93)へ
・一太郎モデル 「-	太郎10・花子10パックの再セットアップ」
(p.	97)^
・上記以外のモデル	これで再セットアップは終了です。
	「各種の設定をする (p.101)へ進んでく
	ださい。

Office 2000 Personalの再セットアップ

ここでの作業は、Office 2000モデルのみ必要な作業です。

Office 2000 Personalの再セットアップでは、次の作業を行います。

- ・Office 2000 Personalを再セットアップする
- ・ MS-IME 2000を再セットアップする
- ・IMEツールバーを削除する

✓ チェック! Office 2000 Personalを再セットアップした場合、スタートメニューに登録される場所はご購入時とは異なります。

Office 2000 Personalを再セットアップする

1 「Office 2000 Personal」CD-ROMをCD-ROMドライブにセット する

自動的にセットアッププログラムが起動し、しばらくすると次の画面が 表示されます。

帚 Microsoft Office 2000 へようご	₹ X
	Microsoft Office 2000 へようこそ
	インストレーション ウィザードが Microsoft Office 2000 Personal のインストール をご案内します。
セットアップ ユーザー情報	ユーザー情報を入力してください。
使用許諾とサポート情報	ユーザー名(1): XXXXX
インストールの準備	· 頭文字Ψ:
Office のインストール	
	Photo (0):
	・ 下のボックスに、26 文字の CD キー番号を入力してください。この番号は CD-ROM ケースの裏側に貼られた黄色のシールに記載されています。
	CD ==-(g).
	ヘルブ切 キャンセル (戻ろ(6) 次へ切 >>

▼チェック! ここではユーザ情報の登録は行いません。

ユーザ情報の登録は、Office 2000 Personalセットアップ後、各アプリケーションのいずれかを初めて起動したときに行います。

「ユーザ名」、「所属」には、Windows 98をセットアップしたときに登録したのユーザ情報が表示されます。

2 「次へ」ボタンをクリックする 使用許諾の画面が表示されます。

- 3 画面の内容をよく読み、「「使用許諾契約書」の条項に同意します」をクリックして、「次へ」ボタンをクリックする 「Microsoft Office 2000 インストールの準備」の画面が表示されます。
- 4 「Microsoft Office 2000 インストール先」の画面が表示されます。
- **5** インストール先がC: ¥ Program Files ¥ Microsoft Office ¥ になっ ていることを確認して「次へ」ボタンをクリックする 「Microsoft Office 2000 機能の選択」画面が表示されます。

id Microsoft Office 2000: 機能の	遺伝	_ IX
	Microsoft Office Microsoft Word for Windows ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-
セットアップ		
ユーザー情報	■・ ページ罫線用の絵柄 Microsoft Excel for Windows	
使用許諾とサポート情報	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
インストールの準備	■	
インストール先	Microsoft Map	
旧パージョンの削除	ーーーー・ヘルフ ーーーー・インボートとエクスボート	لع
Windows の更新	141	
機能の選択	Office プログラム、およびその他の機能やツールです。	
Office のインストール	領域: 選択されている機能: 205MB 空き領域:	863MB
	ヘルブ(凹) キャンセル (<戻る(B) []	元 70

6 Image (Microsoft Office)をクリックし、表示されたメニューから 「マイコンピュータからすべて実行」をクリックする

7「完了」ボタンをクリックする セットアップが終了すると、再起動を促すメッセージが表示されます。

「Microsoft Office 2000 Personalのセットアップが正常に終了しました。」と表示された場合は、「OK」ボタンをクリックします。

8 「はい」ボタンをクリックする 本機が再起動し、「IMEのセットアップ」の画面が表示されます。

次にMS-IME 2000を再セットアップします。
MS-IME 2000を再セットアップする

1 「はい」ボタンをクリックする 次の画面が表示されます。



- 2 「次へ」ボタンをクリックする 使用許諾の画面が表示されます。
- 3 画面の内容をよく読み、「「使用許諾契約書」に同意します」をク リックして、「次へ」ボタンをクリックする ユーザ情報登録の画面が表示されます。
- 4 ユーザ情報を確認し、「次へ」ボタンをクリックする 「Microsoft IME 2000 インストールの準備が整いました」と表示されます。
- 5 「標準」が選択されているのを確認し、「次へ」ボタンをクリックする 「インストールしますか?」と表示されます。
- 6 「インストール」ボタンをクリックする セットアップが終了すると、「セットアップが完了しました。」と表示されます。
- 7 「OK」ボタンをクリックする 再起動を促すメッセージが表示されます。

- *8*「はい」ボタンをクリックする
 本機が再起動します。
 再起動後、「Microsoft IME 2000へのユーザ情報の登録」画面が
 表示されます。
- 9 画面の内容を確認し、「OK」ボタンまたは「登録しない」ボタンを クリックする 「Microsoft IME 2000 日本語入力システム」画面が表示されます。
- **10** ウィンドウ右上の Metaをクリックし、「Microsoft IME 2000 日本語 入力システム」画面を閉じる
- 11 「Office 2000 Personal」CD-ROMをCD-ROMドライブから取り 出す
- 12 本機を再起動する

IMEツールバーを削除する

- 1 ツールバーの 🔣 をクリックする
- **2**「MS-IME2000のプロパティ」が表示されたら「ツールバー」タブ をクリックする
- **3**「IMEツールバーの表示方法」で「直接入力のときにIMEツール バーを隠す」をチェックして、「OK」ボタンをクリックする

これで再セットアップは終了です。 このあと、p.101の「各種の設定をする」に進んでください。



一太郎10・花子10パックの再セットアップ

ここでの作業は、一太郎モデルにのみ必要な作業です。 一太郎モデルの再セットアップでは、次の作業を行います。

- ・一太郎10パックをセットアップする
- ・ショートカットやATOKパレットを削除する

一太郎10パックをセットアップする

ー太郎10パックをセットアップした場合、スタートメニューに登録される場所は、ご購入時とは異なります。

- CD-ROMドライブに「一太郎10・花子10パックCD-ROM」をセットする
 「AutoPlayプログラム」が起動します。
- **2**「Welcome to Justsystem」で「一太郎10・花子10パックのセットアップ」をクリックする
- 3 セットアップ開始を確認するウィンドウで「セットアップ開始」をクリックする

Voice機能はSmart Voice搭載機種でご利用になれます。

- 4 「使用許諾契約の確認」が表示されたら「確認」ボタンをクリック する ここで、「更新の確認」が表示された場合は、「セットアップ続行」をク リックしてください。
- **5**「Voice-太郎10・花子10パックのセットアップ開始」で 次へ」ボ タンをクリックする
- 6 「使用者名・法人名を登録します」が表示されたら必要事項を入 力し、「次へ」ボタンをクリックする

- 7 「シリアルナンバー・User IDを登録します」と表示されたらシリア ルナンバーとUser IDを入力して、「次へ」ボタンをクリックする シリアルナンバーとUser IDは、添付の「J-Sheet」で確認してください。
- 8 「使用者名・シリアルナンバーの確認」が表示されたら「登録する」 をクリックする
- 9「セットアップの方法を選択します」が表示されたら「標準」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 10「標準モードでセットアップすると・・・」と表示されたら「次へ」ボタ ンをクリックする
- 11「セットアップするフォルダを設定します」と表示されたらセット アップ先のフォルダを確認し、「次へ」ボタンをクリックする Cドライブの残り領域が少ない場合、セットアップするフォルダとして自 動的に「D: ¥JUST」が選択されている場合があります。その場合は、 そのままDドライブにインストールすることをおすすめします。
- 12「ファイルのコピーを開始します」と表示されたら「コピー開始」を クリックする
- 13 「インターネットへダイヤルアップで接続しますか?」と表示された ら「はい」を選び、「OK」ボタンをクリックする
- 14 「ユーザー登録のご案内」が表示されたら「確認」をクリックする
- 15 セットアップ終了の画面で「再起動」をクリックする
- 16 再起動後、「ATOK13環境移行支援ツール」が表示されたら「終 了」ボタンをクリックする

ショートカットやATOKパレットを削除する

ー太郎10パックをご購入時と同じ状態にするには、一太郎10パックをインストールした後、さらに次の設定が必要です。必要に応じて、設定の変更を行ってください。

- ・デスクトップにある「一太郎10」、「三四郎9」、「花子10」、「Shuriken 2.1」、
 「Sasuke 2.0」、「花子フォトレタッチ2」のショートカットを削除する
- ・タスクバーのクイック起動のショートカットを削除する
- ・ATOKパレットを非表示にする
- ・スタートアップに登録されているショートカットを削除する

デスクトップにある「一太郎10」のショートカットを削除する

- 1 デスクトップの「一太郎10」のショートカットを右クリックする
- 2 表示されたメニューから「削除」をクリックする
- **3**「ファイルの削除の確認」で、「はい」をクリックする 同じように「三四郎9」、「花子10」、「Shuriken 2.1」、「Sasuke 2.0」、 「花子フォトレタッチ2」のショートカットを削除します。

タスクバーのクイック起動のショートカットを削除する

- 1 タスクバー上の「一太郎10」アイコンを右クリックする
- 2 表示されたメニューから「削除」をクリックする
- 3「ファイルの削除の確認」で「はい」をクリックする 同じように「花子10」、「花子フォトレタッチ2」、「三四郎9」、「Shuriken 2.1」、「Sasuke 2.0」アイコンを削除します。

ATOKパレットを非表示にする

- 1 「ATOKパレット」の「メニュー」ボタンをクリックする
- 2 表示されたメニューから、「プロパティ」をクリックする
- **3** ATOK13プロパティのダイアログで、「パレット」タブをクリックする

- 4 「日本語入力-オフで表示」の項目をしない」に変更し、「OK」ボタンをクリックする
- スタートアップに登録されている、ショートカットを削除する
- 1 「スタート」メニューから、「設定」「タスクバーと」スタート」メ ニュー」をクリックする
- **2**「タスクバーのプロパティ」で「[スタート]メニューの設定」タブを クリックする
- 3 「削除」ボタンをクリックする
- **4**「スタートアップ」をダブルクリックし、「JSクイックサーチファイル 自動更新」をクリックし「削除」ボタンをクリックする
- 5 「JSクイックランチ」をクリックし「削除」ボタンをクリックする
- 6 「閉じる」をクリックする
- **7** 「タスクバーのプロパティ」で「OK」をクリックする

以上で再セットアップは終了です。 次に「各種の設定をする(p.101)に進んでください。



各種の設定をする

機器を取り付ける

再セットアップ前に、取り外した周辺機器を元通りに取り付け、機器の設定を 行ってください。

参照 周辺機器を設定する 『活用ガイド ハードウェア編』の「PART2 周辺機器を使う」

パソコンの設定を元に戻す

購入後に設定した内容はすべて購入時の状態に戻っています。インターネットやBIOSなどのパソコンの設定をやり直してください。

再セットアップ前にユーザパスワードやスーパバイザパスワードが設定されていた場合は、その設定が引き続き有効になっています。新たに設定しなおす必要はありません。

BIGLOBEに加入している場合、すでに取得しているIDやパスワードを そのまま使うことができます。新たにサインアップをやり直す必要はありま せん。

暗証番号設定ユーティリティをインストールし直す

暗証番号機能モデルをお使いの場合は、暗証番号設定ユーティリティのセットアップが必要となります。本機に添付の「暗証番号設定ユーティリティ イン ストールディスク をご覧になりセットアップを行ってください。

別売のアプリケーションをインストールし直す

パソコン購入後にインストールしたアプリケーションは再セットアップ後には消去されています。あらためてインストールしなおしてください。



ドライブを5つ以上作成(Gドライブ以上作成)した場合は、Gドライブ以降のドライブ(p.87の「ドライブを初期化する」でフォーマットできなかったドライブ を次の手順で、フォーマットしてください。

- **1** 本機の電源を入れる Windows 98が起動します。
- 2 デスクトップ上の「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックする 「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。
- 3 フォーマットするドライブのアイコンを右クリックする
- **4** 表示されたメニューで「フォーマット」をクリックする 「フォーマット」ウィンドウが表示されます。
- 5 「通常のフォーマット」をクリックする
- 6 「開始」ボタンをクリックする フォーマットの確認画面が表示されます。
- 7 「OK」ボタンをクリックする しばらくするとフォーマットが終了します。
- 8 「閉じる」ボタンをクリックする スキャンディスクの実行を促す画面が表示されます。
- **9**「0K」ボタンをクリックする スキャンディスクのヘルプが表示されます。
- 10「フォーマット」の画面をクリックする
- 11 「閉じる」ボタンをクリックする

12 ヘルプの内容に従ってスキャンディスクを実行する フォーマットできなかったドライブが他にもある場合は、手順3~12を繰

り返してフォーマットしてください。



他のOSを利用する

Windows NT 4.0を本機で使用する方法を説明しています。

Windows NT 4.0を使う

本機でWindows NT 4.0を使う際に知っておいていただきたいことや、セットアップの方法について説明しています。

セットアップの準備

確認事項

セットアップを行う前に、次の点をご確認ください。

- ・「アプリケーションCD-ROM」の¥NT40ディレクトリにWindows NT 4.0の 補足事項を記述したREADME.txtがあります。セットアップを行う前にお 読みください。
- ・周辺機器の接続と設定が必要な場合は、システムのセットアップ後にもう 度行ってください。周辺機器の設定については『Microsoft Windows NT Workstationファーストステップガイド』または周辺機器のマニュアルをご 覧ください。
- ・このPARTでは、CD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブを使用した 場合の説明が記載されています。
- このPARTでは、Windows 98がインストールされているドライブをCドライブ、フロッピーディスクドライブをAドライブ、CD-ROMドライブをEドライブとして説明します。実際と異なる場合は読み替えてください。
- ・実際に表示される画面は、お使いの機種によって、本文中の画面と一部異 なる場合があります。
- チェック!! ・「アプリケーションCD-ROM」でセットアップできるのは、本機に標準で添付されているソフトウェアのみです。本機ご購入後にご自分でインストールしたアプリケーションは復元されません。
 - ・ご自分で作成したデータは復元されません。また、変更した設定やデータはす
 べて消え、ご購入時の初期状態に戻ります。
 - ・大切なデータはセットアップを行う前に必ずバックアップをとっておいてください。
 - ・ドライバのアップデートはシステム管理者が行ってください。
 - ・本機に添付されているドライバは本機専用です。他機種では使用できません。
 - ・サスペンド状態ではセットアップできません。一度レジュームし、Windows NT 4.0を終了させてから本機の電源を切ってください。

- ・バッテリ駆動状態では、セットアップできません。必ず、ACアダプタを接続して行ってください。
- ・セットアップは途中で中断しないでください。もし中断した場合は、最初からや り直してください。
- ・セットアップ中はスリープ状態にしないでください。
- ・セットアップ中はオートパワーオフは無効となります。

セットアップの前に行うこと

1. 必要なものをそろえる

Windows NT 4.0をセットアップするには、次のものが必要です。 ・Windows NT Workstation CD-ROM Disc (別売のMicrosoft Windows NT Workstationに添付されているもの) ・Windows NT Workstation Setup Disk (別売のMicrosoft Windows NT Workstationに添付されているもの) ・『Microsoft Windows NT Workstationファーストステップガイド』 (別売のMicrosoft Windows NT Workstationに添付されているもの) ・本機に添付の「アプリケーションCD-ROM」

- ・1.44Mバイトでフォーマット済みのフロッピーディスク2枚 1枚に「システム修復ディスク」と書いたラベルを、もう1枚に「アップデート ディスク」と書いたラベルを貼っておいてください。
 - 2.「アップデートディスク」作成する
 - 1 内蔵ハードディスクからWindowsを起動する
 - **2**「スタート」ボタン 「プログラム」「MS-DOSプロンプト」でMS-DOSプロンプトを起動する
 - 3 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットし、フロッピーディスクドライブに「アップデートディスク」というラベルを貼ったフロッピーディスク(「1.必要なものをそろえる」で準備したもの)をセットする

 4 フロッピーディスクにファイルをコピーする MS-DOS プロンプトから次のように入力すると、コピーが始まります。 E:[Enter]
 CD ¥NT40[Enter]
 CDNTUP A[Enter]

CDNTUPのあとに入力するフロッピーディスクドライブ名には、コロン(:) を付けないでください。

以降は画面の指示に従って操作し、「アップデートディスク」を作成してください。

3.「Service Pack5を入手する」

セットアップの途中で Service Pack5 をインストールする手順がありますの で、以下のアドレスから Service Pack5 を入手してください。 http://www.microsoft.com/japan/products/ntupdate/NT4SP5/ default.htm

以上でセットアップの準備は終了です。次に「Windows NT 4.0のセットアッ プ(p.109)に進んでください。

Windows NT 4.0を使うときの注意

本機でWindows NT 4.0を使う場合は、次の点にご注意ください。

- ・Windows NT 4.0の2000年問題対応について
 - Windows NT 4.0を使用する場合には、2000年問題対応が必要 です。

NECのホームページ^T 98Information (http://www.nec.co.jp/ 98/)では、コンピュータの2000年問題対応について情報を提供して いますので、Windows NT 4.0の2000年問題対応情報と修正プ ログラムを入手して適用してください。

参照 2000年問題 PART4の「2000年問題について知りたい(p.205)

- ・Windows NT 4.0はUSB機器をサポートしていません。
- ・Windows NT Server 4.0は使用できません。
- ・Windows NT 4.0はZVポートには対応していません。

・Windows NT 4.0では、次のような場合はサスペンドをしないでください。

- ・PCカードを使用中
- ・ハードディスク、CD-ROMドライブ、フロッピーディスクにアクセス中
- ・プリンタへ出力中
- ・通信用アプリケーションを実行中
- ・音声または動画を再生中
- ・Windows NT 4.0のシャットダウン中

また、サスペンド / レジュームで問題が発生する場合は、BIOSセットアップメニューを次のように設定し、サスペンド / レジューム機能を無効にしてください。

「省電力セットアップ」を次のように設定してください。

システムスイッチ切り替え	:パワーボタン
省電力レベルの設定	:オフ
LCDパネル連動スリープ	:使用しない

すでにネットワークがインストールされている状態でプロトコルやネットワーク サービスを追加しようとすると、Windows NT 4.0のCD-ROMをセットする ように促すメッセージが表示されます。この場合は、メッセージに従って操作 を行ってください。

Windows NT 4.0のセットアップ

ここでは、Windows NT 4.0のセットアップ手順について説明します。 より詳しい手順については、『Microsoft WindowsNT Workstationファー ストステップガイド』オンラインヘルプ、またはWindows NT 4.0の説明ファ イルをご覧ください。

CD-ROMモデルの場合

次の説明は、CD-ROMモデルのみを対象にしています。 CD-ROMドライブを内蔵または添付していないモデルの場合は、「CD-ROMドライブが内蔵または添付されていないモデルの場合(p.112)を ご覧ください。

- 1 パソコン本機の電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに 「Windows NT Workstation Setup Disk1」をセットする
- 2 CD-ROMドライブに「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」をセットする

- 3 画面の指示に従って、セットアップディスクを入れ替える
- 4 「セットアップへようこそ」の画面が表示されたら【Enter】を押す 「大容量記憶装置を検出しました」の画面が表示されます。
- 5 「IDE CD-ROM ATAPI 1.2)/PCI IDE Controller」が表示されて いることを確認し、[Enter]を押す
- 6 ライセンス契約画面が表示されるので、内容をよく読み、【F8】を 押す
 【PgDn】を押すと画面がスクロールします。なお、表示される内容に同 意しない場合は、セットアップはできません。
- ✓チェック! 本機に他のWindows NT 4.0がインストールされている場合、アップグレードするかどうか確認が表示されますが、ここではアップグレードしないでセットアップを続けてください。
 - 7 キーボードの種類で、「106日本語キーボード」を選択する
 - 8「106日本語キーボードでよろしいですか?(Y/N)」画面が表示されるので、【Y】を押す
 - 9 画面の指示に従って、セットアップを続行する
 - **10** Windows NT 4.0をインストールするパーティション、ファイルシ ステム、ディレクトリの設定を行う ファイルシステムの選択画面では、「FATファイルシステムを使用して パーティションをフォーマット」または、「NTFSファイルシステムを使用 してパーティションをフォーマット」を選択してください。
 - 11 画面の指示に従って、セットアップを続行する ファイルのコピーが終了すると「ここまでのセットアップは正常に終了 しました」というメッセージが表示されます。
 - 12 ドライブからフロッピーディスク、CD-ROMを取り出して、本機を 再起動する テキストセットアップが終了し本機を再起動させると、グラフィックセッ トアップの画面が表示されます。

- ・セットアップ方法
- ・個人情報の入力
- ・プロダクトIDの登録
- ・コンピュータ名の登録
- ・管理者アカウントのパスワードの登録
- ・システム修復ディスク作成の選択(問題が発生した場合に備えて必 ず選択してください)
- ・インストールするファイルの選択

プロダクトIDは、添付の『Microsoft Windows NT Workstationファー ストステップガイド』の表紙に記載されています。

- **14** ここでネットワークに参加する場合は、「周辺機器の設定」の「10 ネットワークのインストール」にある「10-1 Windows NT 4.0の セットアップ中にネットワークをインストール場合(p.128)の手 順でネットワークをインストールする。
- ✓ チェック! LANアダプタを内蔵していないモデルや、Windows NT 4.0のセットアップ終 了後にネットワークをインストールする場合は、「まだネットワークへ参加しない」 を選び、「次へ」ボタンをクリックし、次の手順に進んでください。

15 日付時刻の設定 / ディスプレイの設定を行う 画面の指示に従って、次の項目について設定してください。

- ・日付、時刻および時間帯の設定
- ・ディスプレイの設定(確認のみ)
 「検出されたディスプレイ」の画面が表示され、" vga互換ディスプレ イアダプタ 'が検出されます。
- 16 OK 」ボタンをクリックする

「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

17「0K」ボタンをクリックする

ファイルのコピーが終了するまで待ちます。

- 18 手順13で「システム修復ディスクを作成する」を選択した場合、「システム修復ディスク」というラベルを貼ったフロッピーディスク(「1.必要なものをそろえる」で用意したもの、をフロッピーディスクドライブにセットして「はい」ボタンをクリックし、「システム修復ディスク」の作成を行う
- **19**「システム修復ディスク」の作成が終了したら、フロッピーディスク ドライブから「システム修復ディスク」、CD-ROMドライブから 「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」を取り出す
- **20**「コンピュータの再起動」ボタンをクリックして、Windows NT 4.0 を再起動する

以上で、Windows NT 4.0のセットアップは終了です。

デチェック! ファイルシステムとしてNTFSを選択した場合は、最初のシステム起動でファイ
 ルシステムの変換を行い、その後自動起動します。

続いて、「周辺機器の設定(p.113)をご覧ください。

CD-ROMドライブが内蔵または添付されていないモデルの場合

次の説明は、CD-ROMドライブが内蔵または添付されていないモデルのみ を対象にしています。 CD-ROMモデルの場合は、「CD-ROMモデルの場合(p.109)をご覧く ださい。

CD-ROMドライブが内蔵または添付されていないモデルでは、別売のCD-ROMドライブやネットワークを利用して、Windows 98のMS-DOSプロンプ トからWINNTコマンドを実行して次のようにセットアップを行います。

- 1 ネットワークを利用する場合は、Windows NT 4.0のソースファ イル(Windows NT CD-ROM Disc1のi386ディレクトリの下の ファイル)を、ネットワークサーバの共有ドライブにコピーする
- 2 Windows 98を起動する CD-ROMドライプにWindows NT 4.0のCD-ROM Disc1をセットし ます。ネットワークを利用する場合は、手順1でWindows NT 4.0のソー スファイルをコピーしたドライブに接続します。

3 MS-DOSプロンプトから次のように入力し、WINNTコマンドを実行する

Q:[Enter] CD ¥i386[Enter] WINNT /B[Enter]

ここでは、CD-ROMドライブ名を「Q」、ディレクトリ名を「i386」として説明しています。実際と異なる場合は読み替えてください。

4 画面に表示されるメッセージに従ってセットアップする

この後は、「CD-ROMモデルの場合 (p.109)の手順4以降を実行してく ださい。

◆チェック! 内蔵FAXモデムを使用するリモートアクセスサービスの設定は、Windows NT 4.0のセットアップ時ではなく、内蔵FAXモデムのセットアップ終了後に行って ください。

周辺機器の設定

- 1 ドライバのアップデート
- 1-1 ドライバをコピーする
- **1** 「スタート」ボタン 「プログラム」「コマンドプロンプト」をクリッ クする
- 2「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする

3 次のように入力する E:【Enter】 CD ¥NT40【Enter】 VA46H、VA40Hの場合 DRVCOPY2.BAT【Enter】 VA33Hの場合 DRVCOPY3.BAT【Enter】 4 画面の指示にしたがってコピーする

以上で、ドライバのコピーは終了です。

1-2 ドライバをアップデートする

次の手順でドライバのアップデートをします。

1 「スタート」ボタン 「プログラム」「コマンドプロンプト」をクリックして、コマンドプロンプトを起動する

 Windows NT 4.0のコマンドプロンプトから次のように入力する C:【Enter】 CD ¥NT40【Enter】 カレントディレクトリがC:¥NT40のルートディレクトリであること を確認して、次のように入力する

UPDATE[Enter]

3 画面に表示されるメッセージ内容をよく確認しながら画面の指示 に従う

以上でWindows NT 4.0のセットアップは終了です。アップデートしたドラ イバは再起動後に有効になります。

1-3 Windows NT 4.0アップデートサービス Service Pack 5の利用 Microsoft Windows NT4.0アップデートサービス「Service Pack 5」を適 用する場合は、必ず次の手順で行ってください。

1 Service Pack 5の「README.TXT」を読む

2 Service Pack 5のインストールを行う

- チェック?・ファイルコピーの途中で、「コピー先には、コピー元より新しいファイルが存在します。上書きしますか?」のメッセージが表示された場合は、「すべて上書きしない」を選択してください。
 - 「Authenticode(tm) Security Technology」の画面が表示されたら、「Yes」ボ タンをクリックしてセットアップを続行してください。

- ・本機で新しいコンポーネンド(ドライバなど)を追加または変更した場合は、再 度Service Pack 5をインストールする必要があります。
 - 例)「コントロールパネル」の「ネットワーク」を使用してネットワークのイン ストールを行った場合
- ・本機に添付されていないアプリケーションやオプションボードなどを追加す る場合は、Service Pack 5への対応状況をご確認の上でお使いください。

3 本機を再起動する

2 マルチファンクションキーボードのセットアップ

次の手順でセットアップを行います。

- **1**「スタート」ボタン 「プログラム」「Windows NT エクスプロー ラ」をクリックして、エクスプローラを起動する
- 2 メニューバーの「表示」「オプション」をクリックする
- 3 「表示」タブをクリックする
- 4 「登録されているファイルの拡張子は表示しない」のチェックを外して、「0K」ボタンをクリックする
- 5 「C:¥NT40¥MFNB」にある「¥PS2KBNT.inf」を右クリックして、 メニューから「インストール」を選択する ファイルのコピーが始まります。
- 6 ファイルのコピーが終了すると、「新しい設定を有効にするには、 コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか?」と表示されるので、「はい」ボタンをクリックする 自動的に再起動します。

3 内蔵アクセラレータの利用

内蔵アクセラレータを利用するには、次の手順でセットアップを行います。

- 1 「コントロールパネル」を開き「画面」アイコンをダブルクリックする
- 2「ディスプレイの設定」タブをクリックする
- 3 「ディスプレイの種類」ボタンをクリックする
- 4 「変更」ボタンをクリックする
- 5 「ディスク使用」ボタンをクリックする
- 6 次のディレクトリを指定して「OK」をクリックする VA46H、VA40Hの場合 C:¥NT40¥MOBILITY VA33Hの場合 C:¥NT40¥SM710
- 7 「ディスプレイ」リストボックスから、次のドライバを選ぶ VA46H、VA40Hの場合 「ATI RAGE MOBILITY-M PCI(日本語)」 VA33Hの場合 「Sillicon Motion LynxEM Family」
- 8 「OK」ボタンをクリックする 当社以外のドライバ組み込み確認のメッセージが表示されます。
- **9**「はい」ボタンをクリックする ドライバ組み込みの結果が表示されます。
- **10**「OK」ボタンをクリックする
- 11 「閉じる」ボタンをクリックする
- 12 「閉じる」ボタンをクリックする 「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があり ます。今すぐ再起動しますか?」というメッセージが表示されます。

13 「はい」ボタンをクリックする

以上でアクセラレータドライバのセットアップは終了です。次回起動時から、 アクセラレータドライバが有効になります。

VA33Hの場合は、引き続きPART6の「Windows NT 4.0を使う場合の補 足事項」の「VA33Hで内蔵アクセラレータを利用するには(p.218)の手 順でセットアップが必要です。

4 内蔵サウンドの利用

次の手順でドライバのセットアップを行います。

VA33Hの場合

- 1 「コントロールパネル」を開き「マルチメディア」アイコンをダブル クリックする
- **2**「デバイス」タブをクリックする
- **3**「オーディオデバイス」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
- 4 「一覧にない、または更新されたドライバ」を選択し、「OK」ボタン をクリックする
- 5 ドライバのインストール画面が表示されたら、「C: ¥NT40¥ SOL0-1」を指定し、「OK」ボタンをクリックする
- 6 ドライバの一覧から「ESS AudioDriver ES1938/1941/1946 Version ****、「を選択し、「OK」ボタンをクリックする ****はバージョン番号です。****のところに表示される番号は機種に よって異なる場合があります。
- 7「ドライバは存在します」と表示された場合は、「新しいドライバ」 をクリックうする
- 8 「システム設定の変更」の画面で、「再起動する」ボタンをクリック する 自動的に再起動します。

VA46H、VA40Hの場合

- 1 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 2 次のように入力して「OK」ボタンをクリックする C: ¥NT40 ¥MF75 ¥SETUP.EXE
- 3 「ようこそ」の画面で、「次へ」ボタンをクリックする
- **4**「YAMAHA AC-XG Audio Driver」の画面で「OK」ボタンをクリッ クする
- **5**「YAMAHA AC-XG Driver」の画面で、「はい、直ちにコンピュー タを再起動します。」を選択肢、「OK」ボタンをクリックする
- 6 再起動後、「スタート」ボタン「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 7 次のように入力して「OK」ボタンをクリックする C: ¥NT40¥MF75MIDI¥Disk1¥SETUP.EXE
- 8 「ようこそ」の画面で、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「製品ライセンス」の画面で、「はい」ボタンをクリックする
- 10「インストール先の選択」の画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 11 「情報」の画面で「OK」ボタンをクリックする
- **12**「Windowsの再起動」の画面で、「はい、直ちにコンピュータを再 起動します。」が選択されていることを確認し、「OK」ボタンをク リックする 自動的に再起動します。

5 NXパッドの拡張

NXパッド対応の拡張ドライバを利用することにより、オートジャンプ、タッピン グなど、NXパッドの機能を拡張することができます。 次の手順でセットアップを行います。

NXパッドのセットアップ

- 1 「コントロールパネル」を開き「マウス」アイコンをダブルクリック する
- 2 「全般」タブをクリックする
- 3 「変更」ボタンをクリックする
- 4 「デバイスの選択」で、「ディスク使用」をクリックする
- 5 ドライバのインストール画面が表示されたら、ハードディスクドラ イブ名とSLIDEPADディレクトリ(C:¥NT40¥SLIDEPAD)を指 定して「OK」ボタンをクリックする
- 6 モデルの一覧から「NX PAD」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする
- 7 「デバイスのインストールの確認」で「はい」ボタンをクリックする
- 8 ファイルのコピーが終了したら、マウスのプロパティ」で「閉じる」 ボタンをクリックする
- 9 再起動に関するメッセージが表示されるので、「はい」ボタンをク リックして本機を再起動させる 再起動後にドライバが有効になります。

Windows NT 4.0を使う 119

NXパッドの拡張機能の設定

NXパッドの拡張機能の設定は、次の手順で行います。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリック する
- 2 必要に応じて設定を行う 設定方法については、オンラインヘルプをご覧ください。
- 3 設定が終了したら、「マウスのプロパティ」で「OK」ボタンをクリックする 「マウスのプロパティ」が閉じて、設定が有効になります。
- 6 内蔵FAXモデムのセットアップ

この手順は、FAXモデム内蔵モデルにのみ必要な手順です。 次の手順でセットアップを行います。

VA46H、VA40Hの場合

- 1 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 2「ファイル名を指定して実行」の画面で次のように入力して、 「OK」ボタンをクリックする C: ¥NT40 ¥LTMODEM¥SETUP.EXE
- 3 「Next」ボタンをクリックする
- **4** 「Install new modem driver and comportents」をチェックし、 「Next」ボタンをクリックする
- 5 「Yes, I want to restart my computer now.」をチェックし、「Finish」 ボタンをクリックする 自動的に再起動します。

VA33Hの場合

- 1 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 2「ファイル名を指定して実行」の画面で次のように入力して、 「OK」ボタンをクリックする C: ¥NT40¥RWMODEM¥SETUP.EXE
- **3**「モデムボードインストールウィザード」の画面で、「次へ」ボタン をクリックする
- **4**「Conexant SoftK56 Data, Fax Modem」が表示されていること を確認し、「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「モデムドライバのインストールが成功しました」と表示されたら、 「完了」ボタンをクリックする
- 6 本機を再起動する
- 7 FAXモデムカードの使用について

FAXモデムカードを使用する場合には、次の手順で設定してください。

- 7-1 FAXモデムカードがWindows NT 4.0で正しく認識されていること を確認する
- PCカードスロットにFAXモデムカードを入れる
- 2 Windows NT 4.0を起動する
- **3**「コントロールパネル」を開き「PCカード(PCMCIA)」アイコンをダ ブルクリックする
- 4 「ソケットの状態」タブをクリックする
- 5 目的のFAXモデムカードをポイントする

- チェック! 目的のFAXモデムカードの名前が表示されない場合は、PCカードが正しく挿入 されていない可能性があります。『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「PC カードのセットのしかたと取り出し方」をご覧になり、カードを正しく入れ直して ください。
 - 6 「プロパティ」ボタンをクリックする
 - 7「カード情報」タブをクリックする FAXモデムカードがWindows NT 4.0で正しく認識されている場合 には、「デバイスマップ」の画面が表示され、使用するFAXモデムカー ドのCOM番号が表示されます。 このCOM番号はモデムのセットアップ(p.122)やリソース(IRQ)の 変更(p.124)の操作でも使用しますので、覚えておいてください。
- ✓ チェック!!「利用不可」と表示された場合は、FAXモデムカードのリソース(IRQ)が他のデ バイスと競合している可能性があります。「FAXモデムカードのリソース(IRQ) を変更する (p.124)をご覧になり、FAXモデムカードのリソース(IRQ)を変 更してください。
 - 7-2 モデムのセットアップを行う

FAXモデムカードをダイヤルアップネットワークなどで使用する場合には、モデムのセットアップが必要です。

1 「コントロールパネル」を開き「モデム」アイコンをダブルクリック する

初めてモデムをセットアップする場合には、自動的に「新しいモデムの インストール・ウィザードの画面が表示されます。

既にモデムがセットアップされている場合には、「モデムのプロパティ」 が表示されます。「追加」ボタンをクリックすると「新しいモデムのインス トール」ウィザードの画面が表示されます。

2 「次へ」ボタンをクリックする 自動的にモデムが検出され、使用するFAXモデムカードのCOM番号 の部分に「標準モデム」と表示されます。

 ✓ チェック? モデムが検出されなかった場合、FAXモデムカードに割り当てられているリソース(IRQ)が妥当でない可能性があります。「FAXモデムカードのリソース(IRQ) を変更する (p.124)をご覧になり、FAXモデムカードのリソース(IRQ)を変 更してからモデムをセットアップしてください。

- 3 使用するFAXモデムカードにWindows NT 4.0用の.infファイル が添付されている場合は、.infファイルをインストールする
 - .infファイルの入ったフロッピーディスクを本機のフロッピーディスク ドライブに入れる
 - 「変更」ボタンをクリックする
 - 「ディスク使用」ボタンをクリックする
 - コピー元にフロッピーディスクドライブのドライブ名を入力し、「OK」 ボタンをクリックする
 - 使用するFAXモデムカードの名称をクリックし、「OK」ボタンをクリッ クする
 - 使用するFAXモデムカードのCOM番号上のモデム名が変更されたことを確認し、「次へ」ボタンをクリックする
 - 「所在地情報」画面が表示された場合、所在地情報を入力し、「次 へ」ボタンをクリックする
 - 「完了」ボタンをクリックする
- Windows NT 4.0用の.infファイルがない場合には、Windows 98用の.infファイルで代用できることもあります。ただし、Windows 98用の.infファイルすべてがWindows NTで正しく動作するわけではありません。 上記の手順のあとに進むか、またはFAXモデムカードの通信速度に合った「(標準のモデムドライバ)に変更してください。
 - 7-3 モデムのセットアップ状況を確認する
 - スタート」ボタン 「プログラム」「アクセサリ」「ハイパー ターミナル」「ハイパーターミナル」をクリックする 「新しい接続」ウィザードが表示されます。
 - **2**「キャンセル」ボタンをクリックする
 - **3**「ファイル」メニュー 「プロパティ」をクリックする 「接続の設定」タブの画面が表示されます。
 - 4 「接続方法」リストから使用するモデム名をクリックする
 - 5 「モデムの設定」ボタンをクリックする

- 6 「ポート」に正しいCOM番号が表示されているか確認し、よければ 「OK」ボタンをクリックする
- 7 「OK」ボタンをクリックする
- 8 ハイパーターミナルのウィンドウ内に「AT」と入力する 「AT」と表示されます。

9 [Enter]を押す

モデムのセットアップが正しく行われている場合には、「OK」のメッセージが 表示されます。

ハイパーターミナルのウィンドウに「AT」と表示されず、「OK」のメッセージも表示されない場合は、Windows NT 4.0でFAXモデムカードが認識されていないか、モデムのセットアップが正常に終了していない可能性があります。 「7-1 FAXモデムカードがWindows NT 4.0で正しく認識されていることを確認する(p.121 をご覧になり、FAXモデムカードが正しくセットアップされているか確認してください。

FAXモデムカードのリソース(IRQ)を変更する

FAXモデムカードがWindows NT 4.0で正しく認識されなかったり、正しく 動作しない場合は、リソース(IRQ)が他のデバイスと競合している可能性が あります。その場合は、次の手順でリソース(IRQ)を変更してください。

1 本機で利用可能なリソース(IRQ)を確認する

- **参照** 本機で利用可能なリソース 『活用ガイド ハードウェア編』PART4の「割り込 みレベルとDMA チャネル」
 - **2**「スタート」ボタン 「プログラム」「管理ツール」「WindowsNT 診断プログラム」をクリックする
 - **3**「リソース」タブをクリックする 現在のリソース(IRQ)の設定状況が表示されるので、空いているリ ソース(IRQ)を確認してください。

Windows NT 4.0では、FAXモデムカードは本機内蔵のシリアルポートと 同じ「Serial」というデバイス名で表示されます。IRQ4の「Serial」は本機内 蔵のシリアルポート、IRQ4以外の「Serial」がFAXモデムカードを表してい ます。

- 4 「コントロールパネル」を開き「シリアルポート」アイコンをダブル クリックする
- チェック??「コントロールパネル」の「PCカード(PCMCIA)」でデバイスマップが「利用不可」と表示されている場合は、ここでポートを追加する必要があります。次の手順でCOMポートを追加してください。
 - 「追加」ボタンをクリックする
 - 「OK」ボタンをクリックする

Windows NT 4.0の再起動を促すメッセージが表示されたら、「再起動しない」をクリックする

- 5 「7-1 FAXモデムカードがWindows NT 4.0で正しく認識されて いることを確認する(p.121)で確認したポートまたは上記の (チェック)で追加したポートをクリックする
- 6 「設定」ボタンをクリックする
- 7 「詳細」ボタンをクリックする
- 8 「1/0ポートアドレス」リストで「既定値」をクリックする 「既定値」を選ぶと、次のように設定されます。

COM1:3f8	COM3:3e8
COM2:2f8	COM4:2e8

- **9**「割り込み番号(IRQ)」リストから、現在空いているリソース(IRQ) をクリックする
- **10**「OK」ボタンをクリックする
- **11** Windows NT 4.0の再起動を促すメッセージが表示されたら、「再 起動しない」をクリックする
- 12 「閉じる」ボタンをクリックする
- 13 スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする

14「名前」の部分に「c: ¥nt40¥drivers¥reg」と入力し、「OK」ボタン をクリックする FAXモデムカードレジストリ設定ツールが起動し、「Serial*」と表示さ れます。

15「Serial*」の*の部分を、FAXモデムカードのCOM番号から「1」 を引いた値になるように設定する COM番号が1の場合は「Serial0」、COM番号が2の場合は 「Serial1」を選びます。 p.125の ~ の手順でCOMポートを追加した場合には、追加した

16「OK」ボタンをクリックする

レジストリが書き換えられ、FAXモデムカードレジストリ設定ツールが終 了します。次回起動時より、設定 / 変更内容が有効になります。

✓ チェック! FAXモデムカードレジストリ設定ツールはレジストリを操作するため、使用方法 を誤ると重大な障害が発生する可能性があります。使用に際しては、十分注意 してください。またレジストリのバックアップをとっておくことをお勧めします。

順番にSerial10000、Serial10001となります。

8 ATAカードの使用について

ATAカードを使用する場合、ATAカードのドライブ文字がCに割り当てられている場合があり、アプリケーションの起動などができなくなることがあります。 このような場合には、次の手順で「Atdisk」のスタートアップの種類を「ブート」から「システム」に変更してください。

- 1 「コントロールパネル」を開き「デバイス」アイコンをダブルクリックする
- 2 デバイスの一覧から「Atdisk」を選択し「スタートアップ」をクリッ クする
- 3 スタートアップの種類を「システム」に変更して、「OK」ボタンをク リックする
- 4 「Atdiskデバイスのスタートアップの種類を変更すると、システム は使用不能になる可能性があります。変更してもよろしいです か?」のメッセージが表示されますが、「はい」ボタンをクリックする

- 5 「閉じる」ボタンをクリックする
- 6 コントロールパネルを終了する
- 7 本機を再起動する 再起動後に変更した設定が有効になります。
- 9 内蔵PHSのセットアップ

次の手順でドライバをセットアップします。 内蔵PHS機能がない場合は、次の手順は必要ありません。

- 1 「コントロールパネル」を開き「モデム」をダブルクリックする
- 2「追加ボタン」クリックする
- 3 「新しいモデムのインストール」で、「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「ディスク使用」ボタンをクリックする
- 5 「フロッピーディスクからインストール」画面で「C: ¥NT40¥PHS」 と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 6 「NEC PIAFS32K + Duallink Wireless Modem(DCX)」を選択 し、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「選択したボードを使用する」を選択する
- 8 使用する「通信ポート」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 画面の指示に従ってセットアップを行う
- 10 本機を再起動する

10 ネットワークのインストール

次の説明は、LANアダプタ内蔵モデルのみを対象としています。次の手順 でネットワークのインストールを行います。

すでにLANドライバをインストールしてある場合は以下の設定は不要です。

- 10-1 Windows NT 4.0のセットアップ中にインストールする場合
- 1 「ネットワークに参加する」「ネットワークに接続」を選択して次 へ」をクリックする

2「10-3 ネットワークアダプタのインストール」へ進む

10-2 Windows NT 4.0のセットアップ終了後にインストールする場合

- ✓ チェック! CD-ROMドライブを搭載していないモデルでは、Windows NT 4.0上でCD-ROMドライブを使用できる環境が必要です。
 - 1 「コントロールパネル」を開き「ネットワーク」アイコンをダブルク リックする
 - 2 「Windows NTネットワークがインストールされていません。今す ぐインストールしますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリッ クする
 - **3**「ネットワークセットアップウィザード」画面で「ネットワークに接続」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
 - 4 「10-3 ネットワークアダプタのインストール」へ進む

10-3 ネットワークアダプタのインストール

- 1 ネットワークアダプタの検索画面が表示されるので、「一覧から選択」ボタンをクリックする
- **2**「ネットワークアダプタの選択」画面で「ディスク使用」ボタンをク リックする

- 3「フロッピーディスクの挿入」画面が表示されるので、「アップデー トディスク」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 4 キーボードから次のように入力して、「OK」ボタンをクリックする A:¥E100B
- 5「OEMオプションの選択」画面が表示されるので、リストから 「Intel(R)PRO Adapter」を選択して、「OK」ボタンをクリックする
- 6 ネットワークアダプタの検索画面に「Intel(R)PRO Adapter」と 表示されていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 ネットワークアダプタのセットアップを行う
 - ・ネットワークプロトコルの選択
 - ・ネットワークサービスの選択
 - ・ネットワークの設定の確認
 - ・ネットワークに必要なファイルのコピー
 - ・ネットワークプバインドの調整
 - ・ネットワークまたはドメインの参加
- ◆チェック! ネットワークに必要なファイルの読み込みが要求された場合は、「Windows NT Workstation CD-ROM Disc1」をCD-ROMドライブにセットし、キーボードから 「 CD-ROMドライブ名 :¥i386」を入力して、「続行」ボタンをクリックしてくだ さい。
 - 8 Windows NT 4.0セットアップ終了後、サービスパックをインストールした後にネットワークをインストールした場合は、Windows NT 4.0を再起動する前に再度サービスパックをインストールする
 - 参照 サービスパックのインストール「1-3 Window NT 4.0アップデートサービス Service Pack 5の利用(p.114)

これで、ネットワークをインストールする手順が終了しました。これ以降は、画面の指示に従って設定を行ってください。

11 内蔵PIAFSのセットアップ

本機内蔵のPIAFS機能を利用するため、次の手順でドライバをセットアップ します。

- 1 「コントロールパネル」を開き「モデム」アイコンをダブルクリック する
- 2 「追加」をクリックする
- **3**「新しいモデムのインストール」で「モデムを一覧から選択するの で検出しない」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「ディスク使用」ボタンをクリックする
- **5**「フロッピーディスクからインストール」画面で「C:¥NT40¥ PIAFS」と入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 6 モデル一覧から「PIAFS32K」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 インストールするポートに「選択したポート」を指定する
- 8 使用する「通信ポート」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 画面のメッセージに従って操作し、セットアップを終了する
- 10 本機を再起動する




セットアップの画面が表示されない

はじめて本機の電源を入れたときに、「Press F1 to RUN SETUP」という メッセージが表示されたときは、次の手順に従ってください。

1【F1】を押します。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

- 参照 BIOSセットアップメニュー 『活用ガイド ハードウェア編』PART3の「BIOSセットアップメニュー」
 - **2**「デフォルト値をロード」を選び、【Enter】を押します。 セットアップ確認の画面が表示されます。
 - **3**「はい」を選び、【Enter】を押します。 BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。
 - **4**【F10】を押します。

セットアップ確認の画面が表示されます。

5 「はい」を選び、【Enter】を押します。

BIOSセットアップメニューが終了し、本機が自動的に再起動して次の 画面が表示されます。



『はじめにお読みください』をご覧になり、セットアップを行ってください。

セットアップ画面が表示されずに、メッセージが表示された

機種によっては、はじめて電源を入れたときに「Save to Disk partition not found...」で始まるメッセージが表示されますが、異常ではあ りません。しばらくするとセットアップの画面が表示されます。 『はじめにお読みください』をご覧になり、セットアップを行ってください。

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

(↔) → (••) もう一度電源を入れて、表示される画面をチェックしてください

名前を入力する画面が表示されたとき

『はじめにお読みください』の「Windowsのセットアップ」の「名前を登録する」 からセットアップを続けてください。

自動的にスキャンディスクがはじまったとき

スキャンディスクは、ハードディスクの表面やハードディスクに保存されている データに障害がないか調べるためのWindowsのツールです。もし障害が あった場合は、可能な範囲で修復することができます。

スキャンディスクで異常が発見されなかったときは、名前を入力する画面が 表示されます。そのままセットアップを続けてください。

何か異常が発見されたときは、画面の指示に従ってください。問題が解決したら、名前を入力する画面が表示されます。そのままセットアップを続けてください。

スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見されたことを伝える メッセージが表示された場合は、再セットアップが必要になります。

参照 再セットアップをするときには 「PART3 再セットアップ (p.57)

セットアップの途中で電源スイッチを操作してしまったら、 「Windowsを終了します。よろしいですか?」というメッセージが 表示された

「キャンセル」ボタンをクリックしてください。元の画面に戻りますので、そのままセットアップを続けてください。

ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした)

(※) ● (・) 本当にフリーズしていますか?

Windows 98のセットアップは、さまざまな情報を入力したり、設定をしたりします。この際、正常に処理が行われていても、数分~十数分画面が止まったようになることがあります。あわてて電源を切らないように注意してください。

セットアップ時に登録した名前やふりがなを変更したい

セットアップ時に「ユーザー情報」で登録した名前やふりがなは、セットアップ が完了すると変更できません。

どうしても変更したいときは、再セットアップを行ってください。再セットアップ の「ユーザー情報」のウィンドウで名前やふりがなを入力します。

参照 再セットアップするときには 「PART3 再セットアップ(p.57)

電源を入れたが

「Invalid system disk Replace the disk,...」と表示された

Windows 98またはWindows 95でフォーマットしただけでシステムの入っ ていないフロッピーディスクがセットされていたり、フォーマットされただけの ハードディスクが接続されているとこのようなメッセージが表示されます。

(☆) → (・) フロッピーディスクがセットされていないか確認してください

フロッピーディスクがセットされているとき

システムの入ったディスクをセットし直すか、またはディスクを取り出して、何かキーを押してください。

メモ

フロッピーディスクから起動したいときは、PC98-NXシリーズ用のWindows 98またはWindows 95でフォーマットされ、Windows 98またはWindows 95 のシステムが入ったディスクを使用してください。PC-9800シリーズで作られ たシステムディスクは使用できません。

フロッピーディスクがセットされていなかったとき

Windows 98起動ディスクから本機を起動して、ハードディスクにスキャンディ スクを実行し、ハードディスクの状態を調べてください。

問題が発見されたときは画面の指示に従ってください。スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見されたときは再セットアップしてください。また、ハードディスクがフォーマットされただけでWindows 98がインストールされていないときも、再セットアップしてください。

参照/ 再セットアップをするときには 「PART3 再セットアップ(p.57)

「Non-system disk or disk error」と表示された

(☆) → (・・) フロッピーディスクがセットされていませんか?

MS-DOSでフォーマットしたフロッピーディスクがセットされているとこのよう なメッセージが表示されます。

ディスクを取り出して何かキーを押すか、一度電源を切り、約5秒以上待って からもう一度電源を入れ直してください。

×E

フロッピーディスクドライブから起動したいときは、Windows 98またはWindows 95でフォーマットされ、Windows 98またはWindows 95のシステムが 入ったディスクを使用してください。

カーソル以外、画面に何も表示されない

(↔) → (•) フロッピーディスクがセットされていませんか?

システムの入ったフロッピーディスクをセットし直して何かキーを押すか、また はフロッピーディスクを取り出して、一度電源を切り、約5秒以上待ってから電 源を入れ直してください。

メモ

フロッピーディスクドライブから起動したいときは、Windows 98または Windows 95でフォーマットされ、Windows 98またはWindows 95のシス テムが入ったフロッピーディスクを使用してください。

「Operating System not found」と表示された

(※) → (:) フロッピーディスクがセットされているか確認してください

フロッピーディスクがセットされているとき

本機で使用できないフロッピーディスクがセットされているとこのようなメッ セージが表示されます。フロッピーディスクを取り出して、一度電源を切り、約 5秒以上待ってからもう一度電源を入れ直してください。ハードディスクから Windows 98が起動します。

×E

フロッピーディスクドライブから起動したいときは、Windows 98または Windows 95でフォーマットされ、Windows 98またはWindows 95のシス テムが入ったフロッピーディスクを使用してください。 Windows 98起動ディスクから本機を起動して、FDISKコマンドを実行し、 Cドライブの状態を調べてください。

参照 Windows 98起動ディスクから本機を起動するには「Windows 98起動ディス クからパソコンを起動したい(p.206)

Cドライブの「状態」のところに「A」が付いていないとき

FDISKオプションの「4.領域情報を表示」で「領域C」の「状態」の所に「A」がついているか確認してください。ついていないときは、Cドライブがアクティブでない状態であることを表しています。

FDISKオプションの「2.アクティブな領域を設定」を選び、Cドライブをアクティブな状態にしてください。

・「領域」のところに何も表示されていない。または、Cドライブの「シス テム」のところが「FAT32」または「FAT16」以外になっているとき

ハードディスクがフォーマットされていません。PART3の「再セットアップ をご 覧になり、再セットアップしてください。

参照/ 再セットアップをするときには 「PART3 再セットアップ(p.57)

ここに書かれていないその他のメッセージが表示された、または ピーッというエラー音がした

(↔) → (••) フロッピーディスクがセットされていませんか?

フロッピーディスクによっては、本書に書かれていないメッセージが表示され たり、ピーッというエラー音がしたりします。 起動時に「何かおかしいな」と思ったら、フロッピーディスクドライブにフロッ ピーディスクがヤットされているか確認してください。

フロッピーディスクがセットされているとき

システムの入ったフロッピーディスクをセットし直して、何かキーを押すか再 起動してください。またはフロッピーディスクを取り出して、一度電源を切り、 約5秒以上待ってからもう一度電源を入れ直してください。 フロッピーディスクがセットされていないとき、または上記の手段で も問題が解決しなかったとき

メッセージや症状を書きとめて、ご購入元、NECサービスセンター、サービス ステーションにご相談ください。

ディスプレイに何も表示されない

電源ランプ ⑦ が点灯していないとき

『はじめにお読みください』をご覧になり、バッテリパックやACアダプタを接続し直してください。

ACアダプタを接続しないで、バッテリパックを取り付けているときは、バッテ リの残量がなくなっていることが考えられます。ACアダプタを接続して充電 してください。

電源ランプ 🕑 が点灯しているとき

(※) → (・) ディスプレイの輝度(明るさ)は適切ですか?

○(輝度調節つまみ)のある機種は輝度調節つまみを調整してください。

輝度調節つまみのない機種では【Fn】を押したまま【F7】または【F8】を押し、 ディスプレイの輝度を調整してください。

(☆) → (ご) 外付けのディスプレイを接続していませんか?

外付けのディスプレイを接続した状態で、画面の出力先が「外部モニター」に なっているときは、液晶ディスプレイには画面が表示されません。本機が APMモードのときに、キーボードの【Fn】を押したまま【F3】を押すことで、画 面の出力先を切り替えることができます。詳しくは『活用ガイド ハードウェア 編』PART2の「外部ディスプレイ」をご覧ください。

- - 参照 強制的に電源を切る方法 「電源を切れない。強制的に電源を切りたい」 (p.146)

Windows 98が起動しない

パソコン本体の設定(BIOSの設定)が正しくない可能性があります。次の方法でパソコン本体の設定(BIOSの設定)をご購入時の状態に戻して、もう一度電源を入れ直してください。

- 1 本機にPCカードを接続しているときは、取り外してください。
- 2 本機の電源を入れます。
- **3**「NEC」のロゴが表示されたらすぐにキーボードの【F2】を押します。 B10Sセットアップメニューのメイン画面が表示されます。
- **4**「デフォルト値をロード」を選び、【Enter】を押します。 セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。
- **5**「はい」を選び、【Enter】を押します。 BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。
- 6 キーボードの【F10】を押します。 セットアップ確認ダイアログボックスが表示されます。
- 7 「はい」を選び、【Enter】を押します。

これでパソコン本体の設定(BIOSの設定)が初期値に戻りました。

ジチェック! パソコン本体の設定 BIOSの設定 を初期値に戻しても、パスワードは初期値 に戻りません。 「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示された

- ○○「3. Safe mode」を選ぶような画面が表示されているか確認してください
 「3. Safe mode」を選ぶような画面(「Enter a choice:」が「3」になっている 状態)が表示されたときは、そのまま【Enter】を押します。
 「キーボードのタイプを判定します」と表示されたら、【半角 / 全角】を押して ください。次に表示される画面で「0K」ボタンをクリックすると、Windows 98がSafeモードで起動します。
- ◆チェック!
 ・画面の配色や解像度が通常とは異なりますが、異常やトラブルではありません。Windows 98 Startup Menula、起動時に問題があってWindowsが正常に起動できなかったときに表示されます。Safeモードを選ぶような画面が表示されたときは「1. Normal」を選ばずに、Safeモードで起動してください。Safe モードで問題が解決すると、次に起動したときは、元の状態に戻ります。
 - ・問題が解決しなかったときは、システムに障害が発生している可能性がありま す。再セットアップを行ってください。
 - 参照 / 再セットアップするときには 「PART3 再セットアップ (p.57)

「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスクドライブにエ ラーがある可能性があります」と表示され、自動的にスキャンディ スクがはじまった

Windowsが不正にシャットダウンした後は、自動的にスキャンディスクが起動 し、ハードディスクに異常がないかチェックが行われます。ハードディスクに異 常がなければ、Windows 98が起動します。 正常に起動しなかったときは、画面の指示に従ってください。

- ▼チェック! 再セットアップの必要があるとき
 - ・スキャンディスクでシステムファイルに異常が発見されたとき
 - ・異常は発見されなかったが、Windowsが起動しないとき
 - ・動作が不安定なとき
 - ・画面が正しく表示されないとき

メモ

正しく電源を切らなかったときや、スタンバイ状態(サスペンド)にした内容が 何らかの原因で失われてしまうと、このメッセージが表示されます。

参照 再セットアップするときには 「PART3 再セットアップ(p.57)

パスワードを入力するど入力されたパスワードが間違っています」と表示される

(☆) → (・・) 設定したパスワードを正しく入力しましたか?

パスワードをもう一度確認して、正しく入力し直してください。

※ → ③ Â (キャップスロックキーランプ)または 1 (ニューメリックロックキーランプ)が点灯していませんか?

キャップスロックキーランプやニューメリックロックキーランプが点灯していると、パスワードを正しく入力できない場合があります。

キャップスロックキーランプが点灯しているきは、【Shift】を押したま式 Caps Lock を押してキャップスロックを解除してから、パスワードを入力してください。

ニューメリックロックキーランプが点灯しているきは、ニューメリックロックを解除してから、パスワードを入力してください。

ニューメリックロックの解除のしかた

・VA46H、VA40Hの場合 【Num Lock】を押す

・VA33Hの場合 【Fn】+【F12】を押す

パスワードを忘れてしまった

Windows 98のパスワードを忘れたとき

Windows 98のパスワードを忘れてしまったときは、「Windowsログオン」の 画面で、新しいユーザー名でログオンを行うか、Windows 98を再セットアッ プしてください。

「Windowsログオン」でパスワードの入力をせずに「キャンセル」ボタンをク リックすると、ネットワーク上の「パスワードの保存」などの機能が使えなくなり ます。

メモ

本機の購入時の設定では、「Windowsログオン」の画面は表示されません。 ネットワークの設定などを行うと表示されるようになります。 スーパバイザパスワードを忘れてしまったとき

スーパバイザパスワードを忘れてしまったときには、解除処置が必要です。 Bit-INN、NECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。

- ・パスワード解除処置は保証期限内でも有償です。
- ・パスワード解除処置は原則としてお客様のお持ち込みによる対応となります。 機密保持のため、お客様ご本人からのご依頼に限り、処置をお受けいたしま す。
- ・パスワード解除処置を依頼されるときには、次のものをすべてご用意ください。
 - 1. 本機の購入を証明するもの(保証書など)
 - 2. 身分証明書(お客様ご自身を証明できるもの)
 - 3. 印鑑
- ・パスワード解除処置をご依頼の際、受付にてお客様ご自身により専用の用紙 に必要事項を記入・捺印していただくことが必要です。専用用紙の記載事項 にご同意いただけない場合には、処置のご依頼に対応しかねる場合がありま すので、あらかじめご了承ください。

ハードディスクのパスワードを忘れてしまったとき

ハードディスクに保存したパスワードを忘れてしまうと、ハードディスクの利用 ができなくなります。この場合は、ハードディスクの有償交換となります。また、 ハードディスクに保存したデータを見れなくなります。

チェック!! お客様ご自身で作成されたデータも利用できなくなります。ハードディスクは有 償で交換することになりますので、ハードディスクのパスワードは忘れないよう に十分注意してください。

スリープ状態から復帰(レジューム)したが、何も画面に表示されない

スリープ状態から復帰(レジューム)したときに、画面に何も表示されずに キャップスロックキーランプ (A)とスクロールロックランプ (A)が交互に点灯して いるときには、パスワードが設定されています。 電源を入れたときに入力したパスワードをもう一度入力し直してから、 【Enter]を押してください。

チェック! スタンバイ状態(サスペンド)から復帰(レジューム)したときに入力するパス ワードは、前回電源を入れたときのパスワードと同じものを入力する必要があ ります。

> Windows 98の起動時、「Invalid HIBERNATION XXXX/file...RUN HDPREPEZ...」または「Save to Disk partition not found」と表 示された

※ ● ・ 増設RAMボードの取り付け / 取り外しやCドライブの圧縮 / 圧縮解除 / C ドライブに対するドライブコンバータ(FAT32)の実行などをしませんでし たか?

> 増設RAMボードの取り付け / 取り外しやCドライブの圧縮 / 圧縮解除 / C ドライブに対するドライブコンバータ(FAT32)の実行などをしたときは、休止 状態(ハイバネーション をもう一度設定し直してください。

- 参照 / 休止状態の設定 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」
- (☆) → (・・) 休止状態(ハイバネーション)を使用しない設定にしませんでしたか?

休止状態(ハイバネーション)を使用しない設定にした場合、Windows 98起動時には必ずこのメッセージが表示されます。

(↔) → (••) 休止状態 ハイバネーション のときに機器構成を変えませんでしたか?

休止状態(ハイバネーション)の設定をして電源を切ったときに、接続してい る周辺機器などの構成を変えると、休止状態(ハイバネーション)が正しく働 かないことがあります。このようなときは、一度電源を切り、機器構成を元に戻 してから、もう一度電源を入れてください。

◆チェック! OSをWindows NT 4.0にのせかえた場合は、毎回起動時にメッセージが表示 されますが、これは、Windows NT 4.0がハイバネーションをサポートしていな いためで問題ありません。



ACアダプタを接続してもバッテリの充電が始まらない

(☆) → (・) バッテリがフル充電されていませんか?

バッテリがフル充電されている場合はバッテリ充電ランプが消灯しています。 既にバッテリがフル充電されていたり、フル充電に近いと充電されないことが あります。

(↔) → (•) バッテリパックが接触不良を起こしていませんか?

バッテリパックが接触不良のときには、バッテリ充電ランプが点滅します。バッ テリパックを取り外し、もう一度取り付け直してください。

タスクバーに電源アイコンが表示されない

バッテリパックから本機を駆動している場合は、電源アイコン 📋 が表示され、 📞 は表示されません。

ACアダプタを使用してACコンセントから本機を駆動している場合は ኤ が 表示され、 📋 は表示されません。

フル充電したのに、バッテリ充電ランプ

バッテリは少しずつ自然放電しているので、それを補充するため、ACアダプ タが接続されているときは自動的に充電が始まります。故障ではありません。

バッテリ充電ランプが点滅する

※ ● ジ バッテリが正しく取り付けられていますか?
 電源を切り、ACアダプタとバッテリパックを取り外してからもう一度正しく取り付け直してください。

バッテリパックを取り付け直しても直らないときは、『活用ガイド ハードウェア 編』PART1の「バッテリリフレッシュ」をご覧になり、バッテリリフレッシュを行っ てください。バッテリリフレッシュを行っても直らないときは、バッテリパックの 寿命ですので別売のバッテリパックと交換してください。



電源を切ろうとしたが

電源を切れない。強制的に電源を切りたい

正しい電源の切り方

- **1**「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックします。 「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。
- 2「電源を切れる状態にする」をクリックして ○(オン)にし、「OK」ボタン をクリックします。

しばらくすると、自動的に電源が切れ、電源ランプ 🕑 が消えます。

メモ

- ・作業中に誤って電源スイッチを操作してしまったときは、「Windowsを終了 します。よろしいですか?」というメッセージが表示されることがあります。こ のようなときは「キャンセル」ボタンをクリックすると元の画面に戻ります。 「OK」ボタンをクリックすると、しばらくして自動的に電源が切れます。
- ・機種によっては、APMモードで使用時に、BIOSセットアップメニューで、電 源スイッチでスリープになる設定にしている場合は、電源スイッチを操作し たときにスリープ状態になりますので、ご注意ください。

画面は表示されているが正しい手順で電源が切れないとき

上記の手順で電源が切れないときは、アプリケーションがフリーズ(ハング アップ)するなどの異常を起こしていることが考えられます。

次の方法で異常を起こしているアプリケーションを強制的に終了してから、 本機の電源を切ってください。 1 【Ctrl]と【Alt]を押したまま【Del]を押してください。

「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されます。

Explorer			••••••••••••••••••••••••••••••••••••••
Showmode			
Pollwnd			
Casctrl Apwheel			
Annint			

2 右側に「応答なし」と表示されているアプリケーションがあるときはア プリケーション名をクリックし、「終了」ボタンをクリックします。

×E

この方法でアプリケーションを終了させると、保存していないデータは消えてしまいます。

3 もう一度、「正しい電源の切り方」に従って電源を切ってください。

この方法でも電源を切ることができないときは、次の「強制的に電源を切る方法」に従って本機を強制的に終了させてください。

メモ」強制的に電源を切る方法

電源スイッチを約4秒以上操作し続ける

電源スイッチがスライド式のモデルでは、電源スイッチを約4秒以上スライドさ せてください。

電源スイッチがボタン式のモデルでは、電源スイッチを約4秒以上押し続け てください。

 チェック
 ・
 ・
 本機をAPMモードで使用時に、BIOSセットアップメニューで電源スイッチでス リープになる設定にしている場合、この操作をするとスリープ状態になってしま うことがあります。このようなときには、いったん電源スイッチから手を離し、もう ー度電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてくださ い。
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・

 ・
 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

画面が表示されていないとき

アプリケーションによっては、スタンバイ状態(サスペンド)または、休止状態 (ハイバネーション)にすると、電源を切ることができなくなることがあります。 このようなときには、いったん電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を 強制的に終了させてください。

画面がおかしい

電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる

※ → ご Windows 98の電源管理で「モニタの電源を切る」を設定していませんか?

NXパッドなどのポインティングデバイスを操作するか、またはキーボードのいずれかのキー(【Shift】など)を押してください。元に戻らないときは、スタンバイ状態(サスペンド)になっていることが考えられます。『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」をご覧になり、スタンバイ状態(サスペンド)から復帰(レジューム)させてください。

デスクトップ画面を従来のWindowsのスタイルにしたい

次の操作をするとデスクトップ画面はWindows 95に近いものになります。

- 1 マイコンピュータを開き「表示」メニューの「フォルダオプション」をク リックします。
- **2**「全般」タブの「Windows デスクトップのアップデート」で「従来の Windowsスタイル」を選んで「OK」ボタンをクリックします。

MS-DOSプロンプト画面がフルスクリーンになってしまった

【Alt]を押したまま【Enter]を押してください。

MS-DOSモードを終了してWindows 98に戻りたい

EXITと入力して【Enter】を押します。

Windows 98が起動します。

MS-DOSプロンプト画面で、Windows 98のスクリーンセーバが 起動した

Windows 98のスクリーンセーバを設定している場合、フルスクリーン表示の MS-DOSプロンプトでマウス操作のみ行っていると、Windows 98のスクリー ンセーバが起動することがあります。

次の手順で、スクリーンセーバが動作しないように設定してください。

- 【AIt]を押したまま【Enter]を押します。
 MS-DOSプロンプトが、フルスクリーン表示からウィンドウ表示に変わります。
- **2**【Alt】を押したまま【スペース】を押します。 MS-DOSプロンプトのメニューが表示されます。
- 3 メニューから「プロパティ」を選択します。 「MS-DOSプロンプトのプロパティ」画面が表示されます。
- 4「その他」タブをクリックし、「ウィンドウがアクティヴな場合」の「スクリーンセーバを使う」の ▼(オン)をクリックして □(オフ)にします。
- **5**「OK」ボタンをクリックします。
- 6 【Alt 】を押したまま [Enter]を押します。

ウィンドウ表示からフルスクリーン表示に切り替わります。

別売のディスプレイを使っていたら

ディスプレイの省電力機能を設定できない

×E

ディスプレイの省電力機能は、「コントロールパネル」の「画面」で設定します。

(☆) ⇒ (ご) ディスプレイは省電力機能に対応していますか?

省電力機能は、パソコン本体やパソコンに接続されている周辺機器の電源 を詳細に設定し、電力消費を節減することができる機能です。なお、省電力 機能に対応していないディスプレイでは、この機能は設定できません。ディス プレイが省電力機能に対応しているか、ディスプレイに添付されているマ ニュアルをご覧になり、確認してください。

- - **1**「コントロールパネル」を開いて「画面」アイコンをダブルクリックします。 「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
 - 2「設定」タブで「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリックします。 「モニタ」タブに、「モニタ不明」と表示されているときは、省電力機能が 使えません。使っているディスプレイの種類を指定してください。
 - 3 「省電力モニタ」をクリックして▼(オン)にします。
 - **参照** ディスプレイの種類を指定するときには 『活用ガイド ハードウェア編』PART2 の「外部ディスプレイ」
- ⇒ ② 実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度設定をやり直してください

ディスプレイの種類が表示されているときは、実行中のプログラムをすべて 終了してから、もう一度設定をやり直してください。

電話回線を使用中のときは、回線を切ってください。

「ディスプレイの種類が指定されていません...」というメッセージ が表示される

- - **1**「コントロールパネル を開いて「画面」アイコンをダブルクリックします。 「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
 - 2 「設定」タブで「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリックします。 「モニタ」タブに、「モニタ不明」と表示されているときは、省電力機能が 使えません。使っているディスプレイの種類を指定してください。
 - **参照** ディスプレイの種類を指定するには 『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「外 部ディスプレイ」

表示できるはずの高解像度を選べない

別売のディスプレイでは、プラグアンドプレイ(DDC)対応ディスプレイでも、 ディスプレイの種類によっては、高解像度など、サポートしている表示モード の一部を選べないことがあります。

次の操作で解像度を選ぶことができるようになります。

- 1 ディスプレイを接続し、Windows 98を起動します。 起動時にディスプレイが検出されたことを表すメッセージが表示されます。
- **2**「コントロールパネル」を開いて「画面」アイコンをダブルクリックします。 「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- **3**「設定」タブの「詳細」ボタンをクリックして「モニタ」タブをクリックします。
- 4「オプション」の「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」 チェックボックスをクリックして□(オフ)にします。
- **5**「OK」ボタンをクリックし、もう一度「OK」ボタンをクリックします。
- **6**「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。 「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。

- **8**「コントロールパネル」を開き「画面」アイコンをダブルクリックします。 「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 9 「設定」タブをクリックします。
- 10 「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリックして「変更」ボタン をクリックします。

「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。

- 11 「次へ」ボタンをクリックします。
- 12 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールす るドライバを選択する」を
 (オン)にして、「次へ」ボタンをクリックし ます。
- 13「すべてのハードウェアを表示」を (オン)にします。

デバイス ドライバの更新ウィザード	
ハードウェアの製造元とモデ, は、「ディスクの使用」をクリッ リックしてください。	ルを選択してください。ティスクに更新されたドライノびある場合 クリます。更新されたドライバをインストールするには、じたへ」をク
製造元(M) では、生産の計量の計量の Admazne Technologies, Inc. Admazne Technology, Inc. Add Systems, Inc. Add Systems, Inc. Add Systems, Inc. の ご 互換性のあるハードウェアを表示(G) で すべてのハードウェアを表示(G)	モデル(D): Super VGA 1024x788 Super VGA 1024x788 @ 75 Hz Super VGA 1024x788 @ 75 Hz Super VGA 1280x1024 @ 75 Hz Super VGA 1280x1024 @ 75 Hz Super VGA 1680x1200 Super VGA 1680x1200 Super VGA 500x600 @ 75 Hz ディスク使用(H)-
	〈戻る但〉 (次へ 〉 キャンセル

14 「製造元」でディスプレイの製造元を選び、「モデル」でディスプレイの 種類を選びます。

ディスプレイー覧に、接続したディスプレイの種類が表示されないときは、「製造元」で「(標準モニタの種類)」を選び、「モデル」で接続した ディスプレイがサポートしている解像度を選びます。

参照 / ディスプレイの製造元とモデル ディスプレイ添付のマニュアル

⁽画面はモデルによって多少異なります)

15 「次へ」ボタンをクリックし、もう一度「次へ」ボタンをクリックします。

- 16 「完了」ボタンをクリックします。
- 17 「閉じる」ボタンをクリックします。
- 18「OK」ボタンをクリックします。
- **19** Windowsを再起動するようメッセージが表示されるときは、他のアプ リケーションが終了していることを確認して「はい」ボタンをクリックし てください。

再起動後、高解像度を選ぶことができるようになります。

参照 解像度の変更をするときには 『活用ガイド ハードウェア編』PART 1の「液晶ディ スプレイ」の「解像度と表示色を変更する」

NXパッドを操作しても

NXパッドを操作しても、何も反応しない、または反応が鈍い

キーボードのキーを押すと反応する

(☆) → (・) イージースクロール機能を (オン)にしていませんか?

NXパッドでイージースクロール機能を使っているときには、パッドのスクロー ル領域(右端)でポインタの移動やドラッグなどの操作をすることができませ ん。

- **参照** イージースクロール機能について 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「NX パッド」
- (→) 指先やNXパッドが汚れていませんか?

指先やNXパッドに水分や油分がついていると、正常に動作しません。汚れ を拭き取ってから操作してください。

↔ → · · NXパッドの2カ所以上に同時に触れていませんか?

NXパッドの2カ所以上に同時に触れていると、正常に動作しません。

(☆) → (··) NX パッドを使用しない設定になっていませんか?

VA46H、VA40Hの場合は、BI0Sセットアップメニューの「拡張セットアップ」 の「NXパッド を「使用する」に設定してください。

- 参照 NXパッドの設定 『活用ガイド ハードウェア編』PART3の「BIOSセットアップメ ニュー」
- ※ → 「マウスのプロパティ」で「ボタン設定」が変更されていませんか? 次の手順でボタンの設定を変更することができます。
 - **1** 「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックします。 「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
 - **2**「ボタン」タブの「ボタン設定」で「左ボタン」右ボタン」 の設定を使いやすいように設定してください。

反応が鈍い

(☆) → (・・) ポインタの速度が遅くなっていませんか?

「コントロールパネルを開き、「マウス」アイコンをダブルクリックして表示される 「マウスのプロパティ・ウィンドウの「動作」タブで「速度」を調整してください。

キーボードのキーを押しても反応しない

(ス) ⇒ ご マウスポインタが砂時計の形図に変わっていませんか?

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、NXパッドの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

しばらく待ってもNXパッドの操作ができないときは、プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。アプリケーションを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは消去されます。

参照/ 強制終了をするときには「電源を切れない。強制的に電源を切りたい(p.146)



キーボードのキーを押しても、何も反応しない

(? → : マウスポインタが砂時計の形図に変わっていませんか?

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処 理をしているので、キーボードからの操作は受け付けられません。処理が終 わるまで待ってください。 しばらく待っても、キーボードの操作ができないときは、プログラムに異常が 発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。アプリケーションを強 制終了してください。このとき、保存していなかったデータは消去されます。

参照/ 強制終了をするときには「電源を切れない。強制的に電源を切りたい(p.146)

別売のキーボードを接続したが、キーを押しても反応しない。使 えないキーがある

(☆ → ご) キーボードの設定は行いましたか?

設定していないときは、次の方法でキーボードの設定を行ってください。

- どチェック! この方法で設定すると別売のキーボードも使えますが、キーによっては使えな
 くなることがあります。
 - **1**「コントロールパネル」を開き「システム」アイコンをクリックします。 「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
 - 2「デバイスマネージャ」タブをクリックして「キーボード」の左の ★をクリックし、表示されたキーボード名をダブルクリックします。
 - **3**「ドライバ」タブの「ドライバの更新」ボタンをクリックします。 デバイスドライバの更新ウィザードが表示されます。
 - 4 「次へ」ボタンをクリックします。
 - 5 「現在使用しているデバイスよりさらに適したデバイスを検索する(推奨)」の○(オフ)をクリックして○(オン)にし、「次へ」ボタンをクリックします。

- 6「検索場所の指定」の (オフ)をクリックして (オン)にし、キー ボードのマニュアルなどにのっているフォルダを指定します。
- 7 次へ」ボタンをクリックします。

これ以降は画面の指示に従って設定してください。

キーボードで押したキーと違う文字が表示される

(☆) ● (・) キャップスロックキーランプ 🖨 が点灯していませんか?

キャップスロックキーランプ (A)が点灯している状態で【Shift】を押していない ときは大文字、押しているときは小文字が入力されます。 【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押してランプを消すと、【Shift】を押して いないときは小文字、押しているときは大文字が入力される状態になります。

(☆) → (・) ニューメリックロックキーランプ ① が点灯していませんか?

ニューメリックロックキーランプ① が点灯しているときには、VA46H、 VA40Hの場合は、キー前面に印字されている数字や記号が入力され、 VA33Hの場合は、キー上段に青で表示されている数字や記号が入力され ます。ニューメリックロックを解除すると、通常の文字が入力される状態にな ります。

ニューメリックロックの解除のしかた

・VA46H、VA40Hの場合 【Num Lock】を押す

・VA33Hの場合 【Fn】+【F12】を押す

(☆ → ご) 入力したいモードになっていますか?

日本語入力と英字入力を切り替えたいときは、【AIt 】を押したまま【半角/全角】を押します。

日本語入力モードでかな入力とローマ字入力を切り替えたいときは、【Ctrl】 を押したまま【Caps Lock】を押します。

※ ● ○ 別売の98配列USBキーボード(バスパワードハブ付き)を使っていませんか?

別売の98配列USBキーボード(バスパワードハブ付き)(PK-KB011)を使っているときは、内蔵キーボードは使用できません。

記号などで入力できない文字がある

日本語入力システムを使っても入力できないような文字は、文字コード表を 使って入力します。

- **1**「スタート」ボタン 「プログラム」「アクセサリ」「システムツール」 の「文字コード表」をクリックします。
 - 「文字コード表」ウィンドウが表示されます。



2 文字コード表の文字をダブルクリックして、「コピー をクリックし、文書を開いているアプリケーションの「編集」メニューの「貼り付け」を選びます。 メーモ」

貼り付け先でフォントの再指定が必要なものもあります。

参照/ 文字コード表を使うとき 文字コード表のヘルプ

MS-DOSプロンプトのとき、バックスラッシュ(\)が入力できない

\の代わりに¥を入力して代用することができます。

例) 英語モード >\cd

日本語モード .. >¥cd

バックスラッシュ(\)は、MS-DOSプロンプトが日本語モードの場合はキーを押 しても入力できません。入力したい場合は次の手順で一度英語モードにし てください。

1「スタート」ボタン 「プログラム」「MS-DOSプロンプト」の順にクリックします。

「MS-DOSプロンプト」の画面が表示されます。

2 USと入力して【Enter】を押します。

これで英語モードになります。日本語モードにもどす場合は、手順2で「JP」と入力してから【Enter】を押してください。

ファイルを保存しようとしたら

ハードディスクに保存できない

(☆ → ご) ディスクの空き領域を確認してください

「ハードディスクの空き領域が足りない(p.180)に従って空き領域を増やして ください。ディスクの空き領域よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

フロッピーディスクに保存できない

(↔) → (•) フロッピーディスクがライトプロテクトされていませんか?

ディスクがライトプロテクトされているときは、ライトプロテクトを解除してください。

- 参照 ライトプロテクトを解除するには「読み込みはできるが、書き込みができない」 (p.178)
- (*) (*) ディスクの空き領域を確認してください

ディスクの空き領域が足りないときは、いらないファイルを削除するか、別の ディスクを使ってください。ディスクの空き領域よりもサイズが大きいファイル は保存できません。

MOドライブなどを接続すると、より大容量のデータを扱うことができます。本機では、市販のMOドライブなどを接続することができます。

長いファイル名をつけられない。表示できない

(☆)→ (・) MS-DOS用やWindows 3.1用のソフトを使っていませんか?

Windows 98で、Windows 98またはWindows 95用のソフトウェアを使っ ているときは、ドライブ名、フォルダ名、ファイル名を合わせて、半角で255文 字までの長い名前を使えますが、Windows 98でMS-DOS用やWindows 3.1用のソフトウェアを使っているときは、フォルダやファイルに長い名前をつ けることはできません。半角で8文字以内の名前にしてください。

インターネット / パソコン通信しようとしたら

接続できない

(↔) → (•) モデムがきちんとセットアップされていますか?

別売のモデムを新しく接続したときは、モデムのセットアップを行う必要があ ります。モデムのマニュアルをご覧になり、セットアップしてください。

(☆) ● (・) 接続は正しくできていますか?

モジュラーケーブルが正しく接続されているかを確かめてください。

(☆) ◆ ご) 電話回線の設定は正しいですか?

使っている電話回線がトーン式(プッシュ回線)かパルス式(ダイヤル回線) かを確かめてください。また、使っている電話回線が外線発信の必要なもの のときは、外線発信が設定されているかを確かめてください。パソコンの回線 の設定は「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウで確かめられます。パソコンの回 線の設定は、使っている電話回線に合わせます。

電話回線の設定は、「コントロールパネル」を開き「テレフォニー」アイコンをダ ブルクリックして表示される「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウで行ってください。

ダイヤルのプロパティ ?! × 「然在地情報」 テレフォニー ドライバ]	
登録名(2) (新しい場所) ▼ 新規(2) 第6569 国名/地域(2) 日本 ▼ 100 	ご使用になる地域の市外局番が 0" 「ではじまる場合、最初の"0"を除いた 番号を入力します
外線定(基礎) 市内)通話 市分/通話	外線発信が必要な回線をご利用の 場合は入力します。
	 ブッシュ回線の場合はハーンを、 ダイヤル回線の場合はパルスを 選択します。
OK キャンセル 道用(G)	

(※) ● (・) ダイヤルアップの設定は正しいですか?

プロバイダに接続するための正しい情報を設定する必要があります。ダイヤ ルアップの画面で、正しく設定できているかを確かめてください。

- (♀) ◆ ③ Internet Explorerの接続設定は正しいですか?
 - コントロールパネルの「インターネットオプション」アイコンをダブルク リックします。
 インターネットのプロパティウィンドウが表示されます。
 - 2「接続」タブをクリックし、「ダイヤルアップの設定」で「通常の接続で ダイヤルする」が●(オン)になっているか確認します。
- (☆) → (ご) 電話番号は正しいですか?

接続先の電話番号をもう一度確かめてください。

(☆) → (ご) 回線が混雑していませんか?

時間帯によっては回線が混んでいて接続できないことがあります。何度か接続し直してみるか、少し待ってから接続し直してください。また、何度接続し 直しても接続できない場合には、アクセスポイントを変更してみてください。

(☆) → (ご) 電話を使っていませんか?

電話と同じ回線に接続しているとき、電話を使っている間はインターネットに 接続できません。電話を切ってから接続の操作を行ってください。

(ネ) →(・・) キャッチホンサービスを受けていませんか?

キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がかかって くると、モデムによる通信が切れる場合があります。この場合は、もう一度接続 し直してください。通話中にかかってきた電話を転送・録音する、キャッチホ ン川というサービスを利用すると通信が切れることはありません。

(☆) ● (・) 電話回線を使うアプリケーションが他に起動していませんか?

電話回線を使うアプリケーションが他にも起動していると、インターネットに接続できないことがあります。そのアプリケーションを終了させたあと、接続の操作を行ってください。

デバイス マネージャの画面を表示して(p.189) FAXモデムが正しく認識 されているかを確認してください。

FAXモデムのアイコンが表示されていなかったり、アイコンに赤い「×」や黄 色い「!」がついているときは、正しく認識されていません。Windows 98のへ ルプを参照して、「×」や「!」がついていない状態にしてください。

「モデムが正しく応答していません。モデムが電話およびコン ピュータに正しく装着されているか確認してください。」と表示さ れる

- (※) → (··) ポート(COM値)は接続されていますか?
 - **1**「コントロールパネル」を開き「モデム」アイコンをダブルクリックしま す。

「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

使っているモデムをクリックして「プロパティ」でポートの欄に接続しているポートが表示されているか確認してください。
 通信ソフトの設定とCOMの値を確認してください。

モデムが外付けのとき

モデムの電源と接続を確認してください。

参照 周辺機器のマニュアル

文字がおかしくなったり、データの送受信にエラーが発生する

↔ → ↔ 通信相手との通信条件は正しいですか?

通信相手の通信条件(最大通信速度、エラー訂正手順などを確かめて、通 信速度を下げるなどの設定をしてください。詳しくは、通信ソフトウェアのマ ニュアルをご覧ください。 (※) → (・・) 本機の近くにテレビやラジオなどがありませんか?

テレビやラジオなどは、本機から遠ざけて使ってください。

本機の近くにテレビやラジオなどがあると、本機とモジュラーコンセントを接 続するモジュラーケーブルがノイズの影響を受けて、正しく通信ができない ことがあります。

Outlook Expressで送ったメールが文字化けしていたとき

メールの送信形式をテキスト形式にしてください。

ご購入時の状態では、HTMLメールを送るように設定されています。送信先の相手の電子メールソフトがHTMLメールに対応していない場合、HTML 形式の読みにくいメールになってしまいます。メールの送信形式を単純なテ キスト形式にするには次のように設定してください。

1 「ツール」メニューの「オプション」をクリックします。

2 「オプション」ウィンドウの「送信」タブをクリックします。

3 「メール送信の形式」の「テキスト形式」をクリックします。

4「ニュース送信の形式」シートの「テキスト形式」をクリックします。

5「OK」ボタンをクリックします。

これで送信形式が変更されました。

メモ

メールの返信を、送り先の電子メールソフトやニュースリーダーで表示できる 形式で送るには、「受信したメッセージと同じ形式で返信する」をクリックして ▼(オン)にします。

(↔) ⇒(••) 半角のカタカナや特殊記号を使っていませんか?

半角のカタカナや特殊記号(丸付き数字や罫線文字など)は使わないでください。

(↔) → (••) 件名(サブジェクト)に漢字やひらがなを使っていませんか?

件名(サブジェクト)には、漢字やひらがななどの全角文字を使わないでくだ さい。文字化けの原因になることがあります。使うときは、18文字以内にして ください。

ファイルを添付したメールをうまく送れない

インターネットサービスプロバイダによっては、送信できる添付ファイルのサイズを制限していることがあります。

このようなときは、メールに添付するファイルを圧縮ツールなどを使って圧縮 してから送ってください。また、複数のファイルを一度に送るときは、分割して 送ってください。メールサイズの上限については、加入しているインターネッ トプロバイダのサポート窓口で確かめてください。

メモ

圧縮ツールは、ファイルのサイズを小さく圧縮するアプリケーションです。イン ターネットのホームページや雑誌の付録などで配布されているものもあります。

「発信音が聞こえません。」と表示された

(☆) ◆ ご) 電話回線は正しく接続されていますか?

モジュラージャックが抜けていたり浮いていたりしませんか?電話回線が正 しく接続されていないときは、正しく接続し直してください。

(↔) → (••) 内線 / 外線の区別がある電話回線を使っていませんか?

受話器を取ったときに発信音が聞こえるかどうか確認してください。発信音 が聞こえない、または通常の発信音(「ツー」という長い音)以外の音が聞こ える場合は、次の手順に従って設定してください。

- コントロールパネルを開き「モデム」アイコンをダブルクリックします。
 「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2「プロパティ」ボタンをクリックして、「接続」タブをクリックします。
- 3「接続オプション」欄の「トーンを待ってからダイヤルする」の ▼ をク リックして (オフ)にします。
- **4**「OK」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックします。

(☆) → (・・) 加入電話回線以外の回線と接続していませんか?

加入電話回線以外と接続すると、本機が正しく動作しない場合があります。 また、本機を破損するおそれがあります。

「接続ケーブルまたは回線がモデムに正しく接続されていないか、モデムの電源が入っていません」と表示された

(↔) ◆ (•) 電話回線は正しく接続されていますか?

モジュラージャックが抜けていたり浮いていたりしませんか?電話回線が正 しく接続されていないときは、正しく接続し直してください。

(※) ● (・) トーンまたはパルスの設定は正しいですか?

電話回線にはダイヤル回線とプッシュ回線の2通りがあります。次の手順に 従ってお使いの電話回線にあった方を設定してください。

1 コントロールパネルを開き「テレフォニー」アイコンをダブルクリックします。

「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 2「ダイヤル方法」欄で「トーン」か「パルス」のいずれかを選択します。
- **3**「OK」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックします。

「回線はビジーです。」と表示された

(☆) ● (・) 電話回線が混み合っていませんか?

しばらく待ってからもう一度接続し直してください。

(☆) ◆ (・・) トーンまたはパルスの設定は正しいですか?

電話回線にはダイヤル回線とプッシュ回線の2通りがあります。上記の「「接 続ケーブルまたは回線がモデムに正しく接続されていないか、モデムの電源 が入っていません」と表示された」の手順に従って、お使いの電話回線に あった方を設定してください。
「ダイヤル先のコンピュータが応答しません。」と表示された

電話回線にはダイヤル回線とプッシュ回線の2通りがあります。p.185の「接続ケーブルまたは回線がモデムに正しく接続されていないか、モデムの電源が入っていません」と表示された」の手順に従って、お使いの電話回線にあった方を設定してください。

「回線が混雑しているか、電話回線使用のお客様は、トーン / パルス、外線発信番号("0")の設定、ISDN回線使用のお客様は、同期 / 非同期設定に誤りがあります」と表示された

(☆) ◆ (・) 電話回線の設定は正しいですか?

次の手順に従って回線の確認と設定を行ってください。

1 コントロールパネルを開き「テレフォニー」アイコンをダブルクリックします。

「ダイヤルのプロパティ」ウィンドウが表示されます。必要な項目を確認 して設定してください。

ダイヤルのプロパティ ? 🗙	1
所在地情報 テレフォニードライバ	
登録名(0)- 所(L/U場所) ■ 新規(0). 所FF(5) 国名/地域(2)- 日本 ■ 所在地地らの通話	ご使用になる地域の市外局番が 0" 「ではじまる場合、最初の"0"を除いた 番号を入力します
外線発 信書号。 市内功趣話 市外通話	
「キャッチホン機能を納除する番号(い)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 ブッシュ回線の場合はトーンを、 ダイヤル回線の場合はパルスを 選択します。
OK キャンセル 適用(A)	

2「OK」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックします。

ダイヤラでダイヤルできない

「ダイヤラ」で正常にダイヤルできない場合は、「ダイヤル中」ダイアログボックスの「オプションの変更」ボタンをクリックし、「ダイヤルする番号」の先頭に 表示されている「T」または「P」の文字を削除してからダイヤルし直してください。

モデムで電話できるか確認したい

正しく電話されているかどうか、モデムが電話している音で確認することが できます。モデムから音がしなかったり、音が小さいときは次の手順で調整し てください。

VA46H、VA40Hの場合

- コントロールパネルを開き「モデム」アイコンをダブルクリックします。
 「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2「プロパティ」ボタンをクリックし、「全般」タブの「音量」を調整します。

LT Win Modemのプロパティ ? × 「全般 】接続 ディスティンクティブ リング 転送	1	
LT Win Modem		
ポート(P): 20022 音量(S)		・これを右にドラッグすると 大きな音になります。
オフ 高	Γ	・「オフ」になっているとモデ ムからの音がしなくなりま す。
115200 「この速度でのみ接続(Q)	Ľ	

3「OK」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックします。

 チェック!・モデムの音量設定が「オフ」になっていないのに電話をしてもモデムから音が しないときは、何らかの原因でモデムが動いていないことが考えられます。「接 続できない (p.161)をご覧になり、対処してください。 ・上記の方法でも解決しないときは、モデムの故障が考えられますので、モデムの製造元、Bit-INN、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

VA33Hの場合

【Fn】を押したまま【F6】を押して、音量を調整します。キーを押すたびに音量が「なし」、「小」、「中」、「大」と変化します。

「要求されたWebページは、オフラインで使用できません。」と表示される

「オフライン作業」をオン(チェックマークがついた状態)にしているときに、イ ンターネットにアクセスしないと得られない情報を得ようとするとこのメッセー ジが表示されます。ダイアルアップ接続をして最新のインターネット情報を表 示したいときは、「接続」をクリックしてください。そうでないときは、「オフライ ン作業」をクリックしてください。

「接続」をクリックすると、「オフライン作業」は解除されます。

Internet Explorerや関連製品に関するサポート技術情報につい て知りたい

Internet Explorerやその関連製品に関するサポート技術情報は、次の方法で調べることができます。

インターネットに接続し、Internet Explorerやその関連製品の「ヘルプ」メ ニューをクリックし、「Microsoft Webページ」、「よく寄せられる質問」の順に クリックします。しばらくすると、Microsoft社のサポートページが表示されま す。このあとは、そのページの説明にしたがって操作してください。

自動発着機能が作動しない

(☆) ● (ご) 接続は正しくできていますか?

モジュラーケーブルが正しく接続されているかを確かめてください。

↔ ● 発信命令の送り方や条件は正しいですか?

モデムのマニュアルのATコマンドの項目や、使っている通信ソフトのマニュアルをご覧になり、発信命令の送り方や条件を確かめてください。

メ モ ATコマンド一覧を見る方法

モデムが内蔵されているモデルでは、次のようにしてATコマンド一覧を参照 することができます。

1 スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

2「名前」に次のように入力します。

C: ¥windows ¥ATCREAD.DOC

3「OK」ボタンをクリックします。

ネットワーク(LAN)に接続しようとしたら

ネットワークへの接続方法が分からない

LAN内蔵モデルをご使用の方は、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「LAN (ローカルエリアネットワーク)」をご覧になり、リンクケーブルを接続してください。 また、必要なネットワークソフトウェアを正しくセットアップしてください。

ネットワークに接続できない

(☆) → (ご) 接続は正しくできていますか?

ネットワーク管理者に相談して、パソコンとHUB(ハブ)がリンクケーブルで正しく接続されているかを確かめてください。

(☆) → (・・) 設定が間違っていませんか?

プロトコルやドメインワークグループなどの設定が間違っているか、またはコ ンピュータアカウントがプライマリドメインコントローラ上にありません。 詳しくはネットワーク管理者に相談してください。

ネットワークコンピュータに「ネットワーク全体」のアイコンしか表示 されない

ネットワークコンピュータに表示されるまでには、時間がかかることがあります。 しばらく待ってから、「表示」メニューの「最新の状態に更新」をクリックしてく ださい。

それでも表示されない場合は、ネットワークが正常に接続されていないか、 ネットワークソフトウェアの設定が正しくありません。接続の方法やネットワーク ソフトウェアを確認してください。 ネットワークコンピュータに自分のコンピュータしか表示されない

ネットワークコンピュータに表示されるまでには、時間がかかることがあります。 しばらく待ってから、「表示」メニューの「最新の状態に更新」をクリックしてく ださい。

それでも表示されない場合は、接続しようとしているドメインまたはワークグ ループが一致しているか確認してください。設定されているドメインまたは ワークグループは、「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンで調べるこ とができます。

共有ドライブやフォルダが使えない

(☆) → (・・) 「Microsoftネットワーク共有サービス」は組み込まれていますか?

「コントロールパネル」を開き、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして表示される「ネットワーク」ウィンドウの「ネットワークの設定」タブをクリックして確認してください。

「Microsoftネットワーク共有サービス」が組み込まれていない場合は、共有 ファイルやフォルダを使うことはできません。このサービスは、「ネットワークの 設定」タブの「ファイルとプリンタの共有」ボタンをクリックして設定すると使え るようになります。

(☆) ● (・) お客様のコンピュータが共有を行う設定になっていますか?

共有するドライブ、フォルダを設定してください。ネットワークに接続された他のコンピュータからお客様のコンピュータを利用するには、「共有する」の設定が必要です。

利用したいドライブ、フォルダを右クリックし、表示されたメニューの中から「共有」をクリックしてください。共有設定が行われるとドライブやフォルダのアイコンが変わります。

(☆) → (・・) 共有ドライブやフォルダにアクセス権が設定されていますか?

共有ドライブやフォルダには、その所有者がアクセス権を設定できるように なっています。アクセス権が設定されている場合、全く利用できないか、読み 取りのみ可能な設定、読み取りも書き込みも可能な設定と、いくつかのパター ンが設定されます。

×E

お客様が共有を設定した当初ば、読み取り専用」の設定になっています。他のユーザから読み取りはできますが、書き込みはできません。

赤外線通信しようとしたら

赤外線通信できない

- ★機の通信ポートと通信相手の通信ポートの配置は正しいですか?
 あ互いの通信ポートが正面に向き合うようにして、20~80cmの距離のところに置いてください。
- (☆ → ご) デバイスを正しく設定していますか?

『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」をご覧になり正 しい設定を行ってください。

デバイスマネージャの画面で赤外線通信のところに赤い「×」マークや黄色い「」マークが付いていませんか?

「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックして表示される「システムのプロパティ」ウィンドウの「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

赤外線通信のところに赤い「×」マークや黄色い「!」マークが付いているときは、周辺機器が何らかの理由で正常に動作していないことが考えられます。

Windowsのヘルプまたは『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線 通信機能」に従ってマークが付かないようにしてください。

Intellisyncで赤外線デバイスを有効にしようとしたとき、「試みた 接続は不正なオペレーションです。Intellisyncは正しくインストー ルされていません。続けるには「OK」をクリックして下さい。」と表 示された

(☆) → (・) デバイスを正しく設定していますか?

BIOSセットアップメニューで、赤外線ポートを使用しない設定にしている場合は、このようなメッセージが表示されます。

『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」をご覧になり、赤 外線通信機能を利用するための準備を行ってください。

印刷しようとしたら

プリンタから印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字 される

- プリンタの電源は、入っていますか?
 プリンタのマニュアルを見て電源を入れてください。
- ※ ご 接続ケーブルが外れていたり、接触不良を起こしていませんか?
 『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「プリンタ」とプリンタのマニュアルに従って、本機とプリンタを接続し直してください。
- プリンタが用紙切れ、トナーやインク切れになってませんか?
 プリンタのマニュアルに従って用紙やトナー、インクを補充してください。
- (↔) (••) 使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」になっていますか?

使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」になっていないと、プリンタから印 刷されなかったり予期しない内容が印字されることがあります。

このようなときは、次の手順に従ってプリンタの設定を行ってください。

- **1**「スタート」ボタン 「設定」「プリンタ」をクリックします。 「プリンタ」ウィンドウが表示されます。
- 2 使用したいプリンタのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「通常使うプリンタに設定」をクリックします。
- **3**「プリンタ」ウィンドウを閉じます。 これで設定が終了しました。

プリンタが印刷可能な状態(オンライン)になっていますか?
 プリンタの「印刷可」や「オンライン」の表示を確認してください。また、プリンタのマニュアルに従って設定を確認してください。

(☆) → (・) プリンタのテスト印字はできますか?

プリンタには一般にテスト印字する機能があります。この機能を使ってプリンタの印字テストを行ってください。テスト印字ができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。

(☆) → (・・) プリンタの製造元が推奨するプリンタケーブルを使っていますか?

プリンタによっては、プリンタ製造元の指定したケーブルを使わないと印刷 がうまくいかないものがあります。プリンタのマニュアルをご覧になり、ケーブ ルを確認してください。

- 使用したいプリンタ用のプリンタドライバがインストールされていますか? 新しくプリンタを使用するときは、プリンタドライバのセットアップが必要です。
 - 参照 プリンタドライバのセットアップ プリンタのマニュアル
- (☆ → (・) プリンタドライバの設定を確認してください。

プリンタドライバの設定によっては、正しく印刷されないことがあります。

- 参照 プリンタドライバの設定 プリンタのマニュアル
- (☆) → ご) デバイスの設定を確認してください

BIOSセットアップメニューで、パラレルポートを使用しない設定にしている場合は、設定を解除してください。

また、セキュリティの設定をしている場合は、設定を解除してください。

- 参照 システムの設定 『活用ガイド ハードウェア編』PART3の「BIOSセットアップメ ニュー」
- ◆チェック! 上記の操作は、本機をAPMモードにして行ってください。モードの切り替え方に ついては、『活用ガイド ハードウェア編』のPART4の「Windows 98のACPIモー ドについて」をご覧ください。

印刷しようとしたら「FAX送信」、「新しいメッセージの作成」などの印刷とは関係のないウィンドウが表示された

(↔) → (・) 使用したいプリンタが 通常使うプリンタ」になっていますか?

使用したいプリンタが 通常使うプリンタ」になっていないと、上記のようなウィ ンドウが表示されることがあります。

このようなときは、次の手順に従ってプリンタの設定を行ってください。

- **1**「スタート」ボタン 「設定」「プリンタ」をクリックします。 「プリンタ」ウィンドウが表示されます。
- 2 使用したいプリンタのアイコンを右クリックし、表示されたメニューか ら「通常使うプリンタに設定」をクリックします。
- **3**「プリンタ」ウィンドウを閉じます。 これで設定が終了しました。

フロッピーディスクを使っていたら

「マイコンピュータ」の3.5インチFDをクリックしたが、ディスクの 内容が表示されない

(※) → (・) フロッピーディスクドライブは正しく接続されていますか?

フロッピーディスクドライブをケーブルで接続している機種では、ケーブルが 正しく接続されているかどうか確認してください。

「デバイスの準備ができていません」と表示されたとき

ディスクをいったん取り出し、ラベルの貼られた方を手前、上向きにし、ディス クドライブの奥まで入れて、「再試行」をクリックしてください。

同じメッセージが表示されたときは、「キャンセル」をクリックし、ディスクを取 り出し、別売のクリーニングディスクを使ってディスクドライブのヘッドをクリー ニングしてください。

クリーニング後、再び同じ現象が起きるときは、他のディスクを入れてみてく ださい。

このとき、他のフロッピーディスクをセットすると内容が表示されるときは、元のディスクの内容が壊れていると考えられます。復旧は困難です。

メモ

ディスクドライブのヘッドが汚れると、ディスクを読むことができなくなります。 ひと月に一回を目安にクリーニングディスクを使ってクリーニングしてください。

クリーニングディスクについては、ご購入元、NECサービスセンター、サービ スステーションにご相談ください。

また、ディスクが壊れた場合に備えて、重要なデータは必ずバックアップ(コ ピー)をとっておくようにしましょう。 しばらくたって、「ディスクはフォーマットされていません」と表示され たとき

セットされたディスクは、このパソコンでは読めないフォーマットのディスクか、 フォーマットされていないことが考えられます。

ディスクに必要なファイルが入っていなければ、「はい」ボタンをクリックして フォーマットしてから使ってください。

読み込みはできるが、書き込みができない

(↔) → (•) ディスクがライトプロテクトされていませんか?

ディスクがライトプロテクトされていないかどうか確認してください。ライトプロテクトされているときは、ライトプロテクトを解除してください。

メモ

フロッピーディスクには、記録されている内容を間違って消したり、変更して しまわないように、書き込みを保護する機能 ライトプロテクト機能 がありま す。ファイルを保存するときは、ライトプロテクトノッチを書き込みできるほうに ずらしてください。



システムディスクなど大切なディスクは、本当に書き込みをしていいか、もう一度確認しましょう。

2DDのフロッピーディスクに書き込みができない

2DDのフロッピーディスクを720Kバイトでフォーマットした場合、いったんフロッピーディスクを取り出し、もう一度入れ直してから使用してください。

フォーマット後にフロッピーディスクを入れ直さずにファイルを書き込もうとす ると、フォーマットが正常に終了していても、エラーが発生する場合がありま す。

なお、クイックフォーマットされたフロッピーディスクの場合は、この手順は必要ありません。

 ✓ チェック! 必要なディスクをフォーマットしてしまわないよう、十分注意してください。大切 なデータが入っているディスクには、ライトプロテクトをかけておいてください。 また、こまめにバックアップを取ることをおすすめします。

ディスクコピーやフォーマットができない

(↔) → (••) セットしたディスクの容量を確認してください

Windows 98では、1.2Mバイトでフォーマットされたディスクをディスクコピー したり、フロッピーディスクを1.2Mバイトの容量でフォーマットしたりすることは できません。

次の手順でセットしたフロッピーディスクの容量を確認してください。

- **1**「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。 「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。
- **2**「マイコンピュータ」ウィンドウの「3.5インチフロッピーディスク」アイ コンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
 - 「全般」タブでフロッピーディスクの容量を確認します。

ハードディスクを使っていたら

ハードディスクの空き領域が足りない

ハードディスクの空き領域を増やすには、次の方法があります。

ハードディスクを増設する

「ディスク クリーンアップ」でハードディスクの必要のないファイルを削除する

パソコンを使っていくと、「ごみ箱」に捨てたファイルやアプリケーションが作成する一時作業用ファイル、インターネットの一時保存ファイル、使わなくなったアプリケーションや、どのプログラムからも呼び出されていない「DLLファイル」などが蓄積され、ハードディスクが容量不足になることがあります。そのようなときは、「ディスククリーンアップ」を使うと必要のないファイルを簡単に削除することができ、ハードディスクの容量を増やすことができます。

ディスク クリーンアップについては、Windows 98の「ヘルプ」で「ディスク ク リーンアップ」をキーワードにして検索してください。

参照 / 「ヘルプ」について 「ヘルプ」

「ごみ箱」を空にする

削除したファイルは、ハードディスクからすぐに削除されずに、デスクトップの 「ごみ箱」に入っています。ごみ箱を空にすると、ごみ箱に入っていたファイ ルの分だけ、ハードディスクが空きます。ごみ箱を空にするときは、「ごみ箱」 アイコンを右クリックして、メニューの「ごみ箱を空にする」をクリックします。

ごみ箱を空にしても、アイコンが消えない場合は、「ごみ箱」アイコンをダブル クリックして、「表示」メニューの「最新の情報に更新」をクリックします。 「ごみ箱」の最大サイズを小さくする

ごみ箱の設定は、「ごみ箱」アイコンを右クリックし、メニューの「プロパティ」を クリックして、表示される「ごみ箱のプロパティ」ウィンドウで行います。

こみ箱のプロパティ ?!× オブション Windows 98 (C)		
○ ドライブごとに構成する(②) ○ 注下ライブで同じ設定を使う(○)		
□ ごみ箱にファイルを移動しないで、削除と同時にファイルを消す(B) 		
10% ごみ箱の最大サイズ(各ドライブの割合)(<u>M</u>)		
☞ 削除の確認メッセージを表示①		
OK キャンセル 道用(空)		

どチェック! ゴミ箱の最大サイズを0%にすると、削除したファイルはゴミ箱に保管されずに消えてしまいます。

「ドライブスペース」でハードディスクの内容を圧縮する

ドライブスペースを使ってハードディスクの内容を圧縮すると、空き領域を増 やすことができます。

参照 / ドライブスペース 『Microsoft® Windows® 98ファーストステップガイド』

インストールされているアプリケーションを削除する

すぐに使わないアプリケーションをハードディスクから削除すると、ハードディ スクの空き領域を増やすことができます。

参照 ・添付アプリケーションの削除 「PART2 添付アプリケーションの追加と削除」
・別売のアプリケーションの削除 アプリケーションに添付のマニュアル

ファイルをごみ箱に捨てても、ハードディスクの空き領域が増え ない

削除したり、ごみ箱」にドラッグしたファイルは、ハードディスクからすぐに削除 されずに、「ごみ箱」に保管されます。「ごみ箱」に保管されているファイルを ハードディスクから削除したいときは、「ごみ箱」アイコンを右クリックして表示 されるメニューから「ごみ箱を空にする」をクリックしてください。 領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない

カタログなどに記載されているハードディスクの容量は、1 M バイト =1,000,000バイトで計算しています。これに対し、ハードディスクを領域作成 するときには、1Mバイト=1,024×1,024=1,048,576バイトで計算しているの で、容量が少なく表示されることがありますが、故障ではありません。

Gバイト(ギガバイト)についても、同様の記述となっています。

スキャンディスクを実行するとリトライ(再試行)をくりかえし、エ ラーメッセージが表示されて終了してしまう

プリンタ監視ソフトなどの常駐ソフトが起動していると、常駐ソフトが頻繁に ファイルにアクセスするため、このような現象が起こります。スキャンディスク を実行する前に、これらの常駐ソフトを終了するか削除してください。

スキャンディスクで完全チェックを行うと、メッセージが表示され てスキャンディスクが中断される

Windows 98がインストールされているドライブに対し、スキャンディスクで完 全チェックを行うと、「Windowsまたはほかのアプリケーションがこのドライブ に書き込みを行っているため、再試行回数が10回に達しました。実行中ほか のアプリケーションを終了するとチェックが早く行われれます。今後もこの警 告メッセージを表示しますか?」と表示され、スキャンディスクが中断される場 合があります。

このメッセージが表示されたときには、実行中のほかのアプリケーションを終 了して、「はい」ボタンをクリックしてください。引き続きスキャンディスクが実 行されます。

2つ以上の領域にわかれている内蔵ハードディスクを1つの領域 にしたい

※→○ FAT32ファイルシステムを適用して、ハードディスクの領域を作成してください

2Gバイト以上のハードディスクを1つの領域にするには、FAT32ファイルシス テムを適用して、ハードディスクの領域を作成する必要があります。 **参照** FAT32ファイルシステム 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「内蔵ハード ディスク」

ハードディスクを2Gバイト程度しか領域確保できない

FAT32ファイルシステムを適用してハードディスクの領域を作成してください

FAT32ファイルシステムを適用すると、一つの領域に2Gバイト以上の領域確保ができます。

参照 FAT32ファイルシステム 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「内蔵ハード ディスク」

「空きコンベンショナルメモリが足りません」というメッセージが 表示され、FAT32に変換できない

MS-DOSモード時に組み込まれる不要なドライバや常駐プログラムを削除 および無効にします。

Windows が起動するドライブ内の「CONFIG.SYS」や「AUTOEXEC. BAT」を「メモ帳」などで開き、無効にするドライバの行の先頭に、半角文字 で次のように入力して保存します。

REM <無効にするドライバ名>

FAT32を利用したい

「ドライブコンバータ(FAT32)」やカスタム再セットアップでFAT32を適用す ることができます。

参照 FAT32ファイルシステム 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「内蔵ハード ディスク」

CD-ROMを使っていたら

トレイを出し入れできない

(☆) → (ご) パソコンの電源は、入っていますか?

パソコンの電源を入れて、イジェクトボタンを押してください。電源が切れている状態では、出し入れできません。 電源が入っているのにディスクトレイが出てこないときは、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「CD-ROMドライブ」をご覧になり、ディスクを強制的に出してください。

ディスクをセットしても自動起動しない

(☆ → ご) ディスクは、自動起動に対応していますか?

自動起動に対応していないディスクは自動起動できません。CD-ROMのマニュアルで確認してください。

対応していないときは、Windows 98のデスクトップ画面の「マイコンピュータ」から「CD-ROMドライブ」アイコンをダブルクリックして起動してください。

(*) (*) 自動起動が設定されていますか?

次の手順で確認します。

1「コントロールパネル」を開き「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 2「デバイスマネージャ」タブをクリックして「CD-ROM」の左の●をクリックし、表示されたドライブ名をダブルクリックします。
- 3 「設定」タブをクリックします。

4「挿入の自動通知」のチェックボックスがチェックされていない場合は、 **○**(オン)にします。



×E

自動起動の設定を解除する場合は、「挿入の自動通知」のチェックボックスを

を

な
、
、
オフ)

にします。

5 「OK」ボタンをクリックして、次に表示された画面で「閉じる」ボタンを クリックします。

再起動を促すメッセージが表示されます。

6 「はい」ボタンをクリックして本機を再起動します。

データを読み出せない、音楽CDの再生中に音飛びする

(☆) ◆ ご) ディスクは正しくセットされていますか?

ディスクの表裏を確認して、ディスクトレイの中心の軸にきちんとセットしてください。

(☆) → ご) ディスクが汚れていませんか?

ディスクが汚れているときは、乾いた柔らかい布で内側から外側に向かって 拭いてから使ってください。



(↔) ● ご) ディスクに傷が付いていませんか?

傷がついているディスクは使えないことがあります。

メモ

添付されているCD-ROMに傷がついて使えなくなったときなどは、有料で 交換いたします。

(☆) ● (・) このパソコンに何らかの振動を与えませんでしたか?

振動を与えないようにして、操作をやり直してください。

(*) ⇒(•) このパソコンで使えるディスクかどうか確認してください

このパソコンで使えるディスクを使ってください。 アプリケーションなどのCD-ROMは、一般にOSごとに専用のものが用意され ています。例えば、Windows 98を使うときは、Windows 98に対応したCD-ROMを使ってください。

↔ ⇒ ご 音楽CDを再生中にフロッピーディスクを出し入れしませんでしたか?

音楽CDを再生中にフロッピーディスクを出し入れすると、音飛びの原因とな ります。 音楽CDの再生中はフロッピーディスクを出し入れしないでください。

再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない

(☆) ● (・) 動画データ再生中に、他のアプリケーションを実行していませんか?

他のアプリケーションを終了させてください。 動画データのCD-ROMの再生には、パソコンの処理能力が多く必要になりま す。このため、複数のアプリケーションを同時に使うと動画データの処理が追 い着かなくなり、画像がとぎれたり、なめらかに再生されなくなったりします。

(☆) ⇒(・・) 再生中に、ウィンドウの大きさや位置を変えませんでしたか?

動画データの再生中にウィンドウの大きさや位置を変えると、音飛びや画像の乱れの原因になります。いったん動画の再生を停止してから操作してください。

メモ

アプリケーションによっては本機のメモリを増設すると、再生がよりなめらかになるものもあります。

動画の再生中に画面が消えてしまう

ビデオCDなど、MPEG形式の動画を再生中に省電力機能などが働くと、再 生画面が消えてしまいます。動画を再生するときは、省電力機能やパワーマ ネージメント機能をオフにしてください。

音楽CD再生中に音楽が止まってしまう

音楽CD再生中に省電力機能などが働くと、音楽が止まってしまいます。音 楽を再生するときは、省電力機能やパワーマネージメント機能をオフに設定 してください。

CD-ROMドライブのドライブ番号を変えたい

本機に標準で装備されているCD-ROMドライブのドライブ番号は、Qドライブ に設定されていますが、次のようなときにはドライブ番号が変更されます。

- ・別売のCD-ROMドライブを増設したとき
- ・CD-ROMドライブの設定を変更したときなど

×E

特に指定しなければ、CD-ROMドライブのドライブ番号は、最後のハードディ スクドライブの次の番号が割り当てられます。

例:最後のハードディスクがDドライブのとき、CD-ROMドライブはEドライ ブ

ドライブ番号を変更する場合は、次のように操作してください。

1 p.136の手順に従って「コントロールパネル」を開き「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 2「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「CD-ROM」の左の●をクリックし、表示されたドライブ名をダブルクリックします。
- 3「設定」タブをクリックします。

4「予約ドライブ文字」の「開始ドライブ文字」をクリックして表示された 一覧の中から選びます。

TEAC CD-220EA のプロパティ	?×
全般 設定 ドライバ	
TEAC XX-XXXXX	
ターゲット ID: 0	ファームウェア改訂番号:XXX
論理ユニット数: 0 - オプション	
☑ 切断(①)	□ 17 -1(2)か(日)
□ 同期データ転送(Y)	🗖 Int 13 그드카 @
▶ 挿入の自動通知(型)	DMA(M)
現在のドライブ文字書的当て: 一予約ドライブ文字	<u>Q:</u>
間始ドライブ文字(S):	
終了ドライブ文字(E):	
	OK キャンセル

終了ドライブ文字も自動的に変更されます。

- 5 「OK」ボタンをクリックして、次に表示された画面で「閉じる」ボタンを クリックします。
- **6** Windows 98の再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックして再起動します。

MS-DOSモードでCD-ROMドライブを使いたい

出荷時の状態では、MS-DOSモードでCD-ROMドライブを使うことはできません。

MS-DOSモードでCD-ROMドライブを使うためには、設定が必要です。 PART6の「Windows 98でMS-DOSモードを利用する」をご覧ください。

CD-ROMの読み取りエラーメッセージが表示されたら

CD-ROMを使用するプログラムを実行中に、ディスクを取り出すと、エラーメッセージが表示されます。取り出したディスクをセットし直して、【Enter】を押してください。なお、このメッセージで表示されるシリアル番号は無視してください。

周辺機器を取り付けようとしたら

別売の周辺機器を取り付けたが動作しない。別売の周辺機器を 取り付けたらパソコンが起動しなくなった。他の機能が使えなく なった

(☆) → (・) 正しく接続されていますか?

コネクタやネジがゆるんでいないか確認してください。

(↔) ● (・・) 割り込みレベルなどの設定は正しいですか?

周辺機器には、取り付けるときに、割り込みレベル、DMAチャネルなどの設定が必要なものがあります。

周辺機器が使う割り込みレベルがすでに使われていると、パソコンが起動し なくなったり、動作が不安定になったりします。割り込みレベルが重ならない ように、どちらかの設定を変更してください。

周辺機器の割り込みやドライバなどの設定は、「コントロールパネル」を開き、 「システム」アイコンをダブルクリックして表示される「システムのプロパティ」 ウィンドウの「デバイスマネージャ」タブで確認します。

メ モ デバイスマネージャの表示方法

1「コントロールパネル」を開いて「システム」アイコンをダブルクリック します。



「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2「デバイスマネージャ」タブをクリックします。 デバイスマネージャの画面が表示されます。



参照 割り込みレベル、DMAチャネル 『活用ガイド ハードウェア編』PART4の「割り 込みレベル・DMAチャネル」

取り付けた周辺機器のところに赤い「×」マークや黄色い「!」マークが付いて いるときは、その周辺機器が何らかの理由で正常に動作していないことが考 えられます。

(☆) → (ご) 周辺機器の設定は正しいですか?

周辺機器によっては、設定スイッチの変更やドライバなどのインストールが必要な場合があります。

参照 / 周辺機器のマニュアル

トラブルをおこしたドライバを削除し、正しいドライバをインストールするときには、SafeモードでWindows 98を起動して、次の操作にしたがって設定して ください。

SafeモードでWindows 98を再起動します。

- 1 本機の電源を入れて、Windows 98を起動します。
- **2**「NEC」のロゴ画面が表示されたら【Ctrl】を押し続けて、表示される画 面で「3」を選び【Enter】を押します。
- 3「キーボードのタイプを判定します」と表示されたら、【半角/全角】キー を押します。

「Windows 98はSafeモードで実行されています。」と表示されます。

4「OK」ボタンをクリックします。

×Ε

Safeモードで起動しなかった場合は、もう一度、上記の手順1~3を実行してください。

取り付けた周辺機器のドライバを無効にします。

1「スタート」ボタンをクリックし、「設定」「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

- 2「システム」アイコンをダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブを クリックします。
 「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されます。
- 3 取り付けた周辺機器のアイコンをダブルクリックします。
- **4**「全般」タブをクリックして「すべてのハードウェア プロファイルを使用する」の ▼(オン)をクリックして □(オフ)にします。
- **5**「OK」ボタンをクリックします。

Windows 98を再起動すると、通常のモードで立ち上がります。

周辺機器を使いたいときはドライバを更新します。

周辺機器の最新のドライバを用意してください。

- 1 前記の1から3の手順を行います。
- 2 「ドライバ」タブをクリックして「ドライバの更新」ボタンをクリックします。 以降は画面の指示にしたがってください。

メモ

最新のドライバは周辺機器メーカのホームページなどでダウンロードしてくだ さい。また、Windows Updateでも周辺機器のドライバを更新できることが あります。次の「Windows Updateで最新のデバイスドライバをダウンロード してドライバを更新したい」をご覧ください。 プラグアンドプレイ対応の周辺機器のドライバをインストールしたが、デバイスマネージャの画面に黄色い「!」マークが表示され、周辺機器が動作しない

(↔) → (•) ドライバをインストールした後、本機を再起動しましたか?

PCカードなどのプラグアンドプレイに対応した周辺機器のドライバをインストールした場合は、本機を再起動した後、周辺機器が使えるようになります。 ドライバをインストールした後、本機を再起動してください。

Windows Updateで最新のデバイスドライバをダウンロードし てドライバを更新したい

「デバイスドライバの更新ウィザード」を利用すると、周辺機器のドライバを更 新することができます。さらに、「デバイスドライバの更新ウィザード」で Windows Updateを利用するとMicrosoftのサーバに接続し、最新のデバ イスドライバをダウンロードして、最適なドライバに更新することができます。

次の操作にしたがってドライバの更新をしてください。

- 1 デバイスマネージャの画面を表示します。(p.189)
- 2「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- 3 ハードウェアの左の田をクリックし、該当するデバイス名をクリックし、 「プロパティ」ボタンをクリックします。
- 4 「ドライバ」タブをクリックします。
- 5「ドライバの更新」ボタンをクリックします。
 - 「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。
- **6**「次へ」ボタンをクリックします。
- 7「現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推 奨)」が選ばれていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックします。
- **8** 「Microsoft Windows Update」の \Box (オフ をクリックして \mathbf{V} (オン) にして、「次へ」ボタンをクリックします。

Windows Updateが起動して最新のデバイスドライバをダウンロード します。 **9**「更新されたドライバ(推奨)」の □(オフ)をクリックして ▼(オン) にして、「次へ」ボタンをクリックします。

以降は画面の指示にしたがって、ドライバを更新してください。

Windows Updateをしたが、以前の状態に戻したい

Windows Updateをしたあとに以前の状態に戻したいときは次の操作にしたがってください。

1「スタート」ボタン 「プログラム」「アクセサリ」「システム ツー ル」「システム情報」をクリックします。

「Microsoftシステム情報」ウィンドウが表示されます。

2 メニューバーの「ツール」をクリックして「更新ファイルのアンインストール」をクリックします。

「Windows 98 CD-ROMラベルのついたディスクを挿入して 「OK」をクリックしてください。」というメッセージが表示された

プリンタなどの周辺機器に添付されているフロッピーディスクからドライバを インストールする場合、上記のようなメッセージが表示されることがあります。 この場合、次のようにして対処してください。

1「OK」をクリックします。

「ファイルのコピー元」を入力する画面が表示されます。

2「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」と入力して「OK」をクリックします。

以降は画面の指示に従ってドライバをインストールしてください。

アプリケーションを使っていたら

アプリケーションが起動しない

アプリケーションを起動するのに必要なだけメモリは空いていますか?
 すでに複数の他のアプリケーションが起動しているときはそれらを終了してから、起動してください。それでも起動しないときは、本機を再起動してください。

メモ

複数のアプリケーションが起動していると、メモリが不足して、新たにアプリ ケーションを起動できなくなることがあります。

参照 アプリケーションの起動に必要なメモリ容量を調べるときには アプリケーションのマニュアル

フルカラーにするようにというメッセージが表示された

アプリケーションの中には、画面の表示色をフルカラーにしないと正常に動作しないものがあります。画面の表示色を変更してください。

参照 画面の表示色を変更するには 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「液晶 ディスプレイ」の「解像度と表示色を変更する」

アプリケーションをインストールできない

(☆) → (・) アプリケーションはこのパソコンに対応していますか?

アプリケーションによっては、このパソコンでは動作しないものや、別売の周辺機器が必要なものがあります。アプリケーションのマニュアルで「動作環境」や「必要なシステム」を確認してください。

(☆) → (・) アプリケーションのインストール先がAドライブになっていませんか?

インストール先をハードディスクのドライブ名(購入時の状態では、Cドライブ) に変えて、インストールし直してください。 アクティブデスクトップをWebページで表示するように設定している場合、ア プリケーションを正しくインストールできないことがあります。次の手順でアク ティブデスクトップの設定を変更してください。

- 1 デスクトップ上の何もないところで、右クリックします。
- **2** 表示されるメニューから「アクティブデスクトップ」「Webページで表示」をクリックします。

「Webページで表示」の左側にチェックが付いていないことを確認して ください。

> アプリケーションを新しくインストールするときに、ハードディスクに一定の空き 領域が必要な場合があります。アプリケーションに添付のマニュアルをご覧 になり、ハードディスクに必要な空き領域を確認してください。ハードディスク の空き領域が足りないときは、空き領域のある他のドライバにインストールして ください。

参照 ハードディスクの空き領域を増やすには「ハードディスクの空き領域が足りない(p.180)

メモ

どうしてもハードディスクの空き領域を増やすことができないときは、セットアップ時にセットアップの方法を「最小」や「カスタム」にすることで、必要最低限の機能だけをインストールできるアプリケーションもあります。

※ ● Windows 98 に対応していないMS-DOS用、Windows 3.1用、または Windows 95用のアプリケーションをインストールしようとしていませんか?

> MS-DOS用、Windows 3.1用、Windows 95用のアプリケーションの中に はインストールできないものがあります。各アプリケーションの製造元にご確認 ください。

> MS-IME 2000を標準でご使用の状態でWindows 3.1用のアプリケーショ ンを実行すると、まれに(主にセットアップ時に)プログラムが停止することが あります。このような場合は次のように設定してください。

- チェック!
 ・通常は、次の操作は必要ありません。そのままWindows 3.1対応アプリケー ションをお使いください。
 - ・次の操作は1つのアプリケーションに対して1度だけ行えば、以後毎回有効で す。ただし、アプリケーションが異なった場合は、そのアプリケーションのため に、もう一度、次の方法を行う必要があります。

メモ

次の操作を行うとWIN.INIファイルが変更されます。まず、Windowsのフォ ルダ(購入時の状態では、Cドライブ)にあるWIN.INIファイルのコピー(バッ クアップ を取っておくことをおすすめします。

- 1 まず、クイックビューアをセットアップします。すでにクイックビューアのセットアップを行っている場合は、手順6へ進んでください。
- 2「コントロールパネル」を開いて「アプリケーションの追加と削除」アイ コンをダブルクリックします。 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- **3**「Windowsファイル」タブで「ファイルの種類」の「アクセサリ」をクリックして「詳細」ボタンをクリックします。
- **5**「OK」ボタンをクリックします。 クイックビューアのセットアップが行われ、Windows 98のデスクトップ の画面が表示されます。
- **6**「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
- 7 症状の起きたWindows 3.1対応アプリケーションのアイコンを右ク リックし、メニューの「クイックビューア」をクリックします。 選択したアプリケーションの情報(テクニカル ファイル情報)を表示す るウィンドウが開きます。
- 8「モジュール名」の右側に表示されている文字をメモします。 ここでは仮に「ABC」とします。

9 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行...」をクリックします。

- **10**「名前」欄に「WIN. INI」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。 「メモ帳」が起動して、WIN. INIが表示されます。
- 11 「検索」メニューから「検索」をクリックします。 「検索」ダイアログが開きます。
- **12**「検索する文字列」欄に「Compatibility」と入力し、「次を検索」ボタン をクリックします。 本文内の「Compatibility」が選ばれます。

13 「検索」ダイアログ内の「キャンセル」ボタンをクリックします。

- **14**キーボードの【Fn】を押しながら【Home】を押します。 「Compatibility」の後ろにカーソルが移動します。
- **15** キーボードの[Enter]を押します。 新しい行が作成されます。
- 16 手順8でメモした文字(ここではABC)と入力します。
- 17 手順16で入力した文字に続けて「=0x00400000」を入力します。 手順15で作成された行に次の内容が表示されます。 ABC=0x00400000
- 18「メモ帳」「ファイル」メニュー 「上書き保存」をクリックします。
- **19**「メモ帳」「ファイル」メニュー 「メモ帳の終了」をクリックします。 メモ帳が終了します。
- **20**「クイックビューア」の「ファイル」メニューから「クイックビューアの終 了」をクリックします。 クイックビューアが終了します。

これでWindows 3.1対応アプリケーションが使用できます。

×Ε

Windows 3.1対応アプリケーションのアイコンを右クリックした時表示される メニューに、クイックビューアが存在しない場合には、クイックビューアがセッ トアップされていません。

クイックビューアのセットアップを先に行ってください。

5

トラブル解決 Q&A

「メディアプレーヤー」を終了させても、音楽CDが再生されたままになる

次の手順で音楽CDを停止させてください。

- **1**「スタート」ボタン 「プログラム」「アクセサリ」「エンターテイメ ント」から「メディアプレーヤー」をクリックします。
- **2**「デバイス」メニューから「CDオーディオ」を選びます。
- 3「停止」ボタンをクリックします。

音楽CDが停止します。

再セットアップするときに、インストールするアプリケーションを 選びたい

アプリケーションを選んで再セットアップすることはできません。再セットアップ すると、購入したときにインストールされていたすべてのアプリケーションがイ ンストールされます。インストールしたくないアプリケーションがあるときは、再 セットアップしたあとで、削除してください。

Windows 95版のアプリケーションをWindows 98でも使用したい

Windows 95版のアプリケーションがWindows 98でもそのまま使えるかど うかはアプリケーションによって異なります。

本機にあらかじめインストールまたは添付されているアプリケーションの 場合

アプリケーションの名称に「・・・for Windows 95」や「Windows 95版」など と記載されていたり、アプリケーションの画面やヘルプに「Windows 95」と 記述されていても問題なく動作します。

市販されているアプリケーションの場合

Windows 98で問題なく使用できるかどうかについては、アプリケーションの 購入元にご確認ください。 MS-DOS通信アプリケーションがうまく動作しない

MS-DOS通信アプリケーションは、「MS-DOSプロンプト」画面をフルスクリーンにして使用してください。

スタンバイ状態(サスペンド)にしよう としたら

スタンバイ状態(サスペンド)にできない。または、省電力の設定をしても自動スリープ機能が利用できない(APMモード時)

→ ご 実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度設定し直してください

電話回線を使用中のときは、回線を切ってからスタンバイ状態(サスペンド) にしてください。

アプリケーションや周辺機器は、スタンバイ状態(サスペンド)に対応して
 いますか?

アプリケーションによっては、周辺機器でこの機能を使おうとすると、正常に 動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入 れ直してください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、 スタンバイ状態(サスペンド)にしないでください。

自動的にスタンバイ状態(サスペンド)にならない

(☆) → (・) 一定間隔でパソコンにアクセスする周辺機器を接続していませんか?

双方向通信するプリンタなど、一定間隔でパソコンにアクセスする周辺機器 を接続しているときは、自動的にスタンバイ状態(サスペンド)になりません。



休止状態(ハイバネーション)の処理画面が表示されずスタンバイ状態(サスペンド)になってしまう

(☆) → (・・) 休止状態(ハイバネーション)は設定されていますか?

『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」を見て設定してください。

※ ● ● 再セットアップや、内蔵ハードディスクのフォーマットや、メモリの取り付け
/ 取り外しやCドライブの圧縮 / 圧縮解除 / Cドライブに対してドライブコンバータ(FAT32)を実行しませんでしたか?

再セットアップや、内蔵ハードディスクのフォーマットや、メモリの取り付け / 取 り外しやCドライブの圧縮 / 圧縮解除 / Cドライブに対してドライブコンバー ダ FAT32 を実行したときは、休止状態(ハイバネーション状態)の再設定が 必要です。

参照 休止状態(ハイバネーション)について 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の 「省電力機能」

ハイバネーション設定ユーティリティを使用して休止状態(ハイ バネーション を使用するように設定すると、エラーメッセージが 表示される

(↔) → (•) ハードディスク内の空き領域が不足していませんか?

ハイバネーション設定ユーティリティでは、実装しているメモリ容量によって作成される休止状態(ハイバネーション)用のファイルの大きさが変わります。必要な連続した空き領域を確保してから休止状態(ハイバネーション)の設定を行ってください。

Windows 98の起動時「Invalid HIBERNATION XXXX/file...RUN HDPREPEZ...」または「Save to Disk partition not found」と表 示された

- ✓チェック! OSをWindows NT 4.0にのせかえた場合は、毎回起動時にメッセージが表示 されますが、これは、Windows NT 4.0がハイバネーションをサポートしていな いためで問題ありません。
 - ※ ● 増設RAMボードの取り付け / 取り外しやCドライブの圧縮 / 圧縮解除 / C ドライブに対してドライブコンバータ(FAT32)を実行しませんでしたか?

増設RAMボードの取り付け / 取り外しやCドライブの圧縮 / 圧縮解除 / C ドライブに対してドライブコンバータ(FAT32)を実行したときは、休止状態 (ハイバネーション をもう一度設定し直してください。

- 参照〉休止状態の設定 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能」
- (☆) → (・・) 休止状態(ハイバネーション)を使用しない設定にしませんでしたか?

休止状態(ハイバネーション)を使用しない設定にした場合、Windows 98起 動時には必ずこのメッセージが表示されます。

(↔) → (••) 休止状態 ハイバネーション のときに機器構成を変えませんでしたか?

休止状態(ハイバネーション)の設定をして電源を切ったときに、接続してい る周辺機器などの構成を変えると、休止状態(ハイバネーション)が正しく働 かないことがあります。このようなときは、一度電源を切り、機器構成を元に戻 してから、もう一度電源を入れてください。


スリープ状態から復帰(レジューム)したが、スリープ状態にする 前の状態の画面が表示されない

(☆ → (・) バッテリの残量はありますか?

スタンバイ状態(サスペンド)のときにバッテリ残量がなくなると、自動的に本 機が起動し、メモリに保存してあるデータをハードディスクに保存して電源が 切れます(自動的にハイバネーションします)。この場合は、液晶ディスプレイ を開いた状態で電源スイッチを操作すればデータが元に戻ります。

参照 バッテリの残量を確認するには 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「バッテリ」

(↔) → (・) アプリケーションや周辺機器は、スリープ状態に対応していますか?

アプリケーションや周辺機器によっては、この機能を使おうとすると、正常に 動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入 れ直してください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、 スタンバイ状態(サスペンド)にしないでください。

スリープ状態にしておいたデータを復帰(レジューム)させようとしたら、画面が乱れて電源が切れた

- CONTROL CON
 - ・ディスプレイのフタを閉めた
 - ・スリープ状態にした
 - ・電源を切った

Windowsの終了処理中にこれらの操作を行うと、復帰(レジューム)できなく なることがあります。このような場合は、電源スイッチで電源を入れてください。 い。エラーメッセージが表示されたときは、メッセージに従ってください。

その他

日付や時刻が正しく表示されない

(ジ → ご) バッテリの電池は十分に充電されていますか?

本機の内蔵時計はリチウム電池で動いています。内蔵のリチウム電池が十 分に充電されていないと、日付や時刻が正しく表示されないことがあります。 本機購入後すぐや、本機を2カ月以上使用しないでいた後などには、本機の 電源を約40時間以上入れたままにしてリチウム電池を充電してから、次の手 順に従って日付と時刻をもう一度設定し直してください。

1 「コントロールパネル」を開き「日付と時刻」アイコンをダブルクリック します。

「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 正しい日付と時刻をそれぞれクリックして選びます。



3「OK」ボタンをクリックします。

これで正しい日付と時刻が設定されました。

Windows Updateができない

(☆ ● (・) インターネットに正しく接続されていますか?

「接続できない(p.161 をご覧になり、もう一度接続を確認してください。

(☆) → (・・) インターネットプロバイダとの契約はお済みですか?

Windows Updateは、インターネット経由で接続するため、インターネットプロ バイダとの契約が必要です。

メモ

インターネットへの接続は「Windows 98へようこそ」の「インターネットに接続」 をクリックすると、簡単に設定することができます。



Windows Updateを利用するには、Windows 98ユーザー登録をしておく 必要があります。

ユーザー登録をしていないときは、「Windows Update-登録してください」 ウィンドウが表示されますので、「はい」ボタンをクリックして、引き続き、画面 の指示にしたがってユーザー登録をしてください。

メモ

Windows 98ユーザー登録は「Windows 98へようこそ」の「いますぐ登録」 をクリックしても起動することができます。

2000年問題について知りたい

NECでは、インターネットのホームページ⁷981nformation」の「西暦2000年 対応状況」や「98AP情報」で、2000年問題についての情報を提供していま す。次のアドレスにアクセスしてください。

http://www.nec.co.jp/98/

なお、記載されている情報は更新されますので、定期的にアクセスして確認 してください。

各アプリケーションが2000年問題に対応しているかどうかは、アプリケーションの製造元にお問い合わせください。



慣習的に西暦年号は2桁で表現され、同様にコンピュータの世界でも2桁の 年号が多く使われてきました。西暦2000年を迎えたときに、アプリケーション によっては、年号が00になってしまい、日付をキーにした期間計算などの結 果が不正となり、業務システム等に多大な影響を与えることが考えられます。 これがコンピュータの西暦2000年問題です。

Windows 98起動ディスクを作成したい

Windows 98起動ディスクは、Windowsがハードディスクから正しく起動でき なかったときに、フロッピーディスクドライブから起動するために使うものです。 Windows 98起動ディスクは、次の手順で作成します。

1「コントロールパネル」を開き「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2「起動ディスク」タブで画面の指示に従って起動ディスクを作成します。

Windows 98起動ディスクからパソコンを起動したい

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 電源ランプがついたらすぐにフロッピーディスクドライブにWindows 98起動ディスク1をセットします。

「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されます。

- 3「Start computer with CD-ROM support」が選択されていることを 確認して、【Enter】を押します。
 「キーボードのタイプを判定します」と表示されます。
- **4**【半角 / 全角】キーを押します。 「Windows 98 起動ディスク2を挿入してください」と表示されます。
- 5 フロッピーディスクドライブから「Windows 98 起動ディスク1」を取り出し、「Windows 98 起動ディスク2」をセットします。

6 いずれかのキー(【Enter】など)を押します。

しばらくすると、「A: ¥ > _ 」と表示されます。

これで、Windows起動ディスクからのパソコンの起動が完了しました。

もう一度ハードディスクから起動したいときは、ディスクドライブから Windows 98起動ディスクを取り出して、本機の電源を入れ直してくだ さい。

動作状況が不安定になった

> LANに接続して通信中にスタンバイ状態(サスペンド)や休止状態(ハイバ ネーション)にすると、本機が正常に動作しなくなることがあります。通信中に スタンバイ状態(サスペンド)や休止状態(ハイバネーション)にしないでくだ さい。

> Windows 98の電源管理で自動的にスタンバイ状態(サスペンド)になる設定をしている場合は、設定を解除してください。

コンピュータウィルスが検出された

VirusScanなどによってコンピュータウィルスに感染したファイルが検出されたら、すぐにウィルスを駆除し、最寄りのNECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。

また、日本では、企業でも個人でもウィルスを発見した場合は、所定の機関 に届けることが義務づけられています。ウィルスの届け出先として、情報処理 振興事業協会という通産省の外郭団体(通称 IPA がウィルス技術調査室を 設置しており、そこを届け出先として指定しています。これは、ウィルスの対 策基準として平成7年7月に通産省から官報で告知されたもので(平成7年 7月7日付通商産業省告示第429号)、届け出をしなくても罰則の規定はあり ませんが、今後の対策や被害状況を正しく把握するためにも積極的に報告 してください。届け出の内容は、今後の被害対策のための貴重な情報となり ます。 届け出先:情報処理振興事業協会(通称 IPA)

- 本部 : 〒113-6591 東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコートセンターオフィス16階 IPAセキュリティセンター ウイルス対策室
- 電話 :03-5978-7509
- FAX :03-5978-7518
- ホームページアドレス:http://www.ipa.go.jp/

「追加情報 READMEファイル」を参照したい

「スタート」ボタン「プログラム」「追加情報」をご覧ください。

「ネットウォッチャー」や「ケーブル接続」の機能を利用できない

(☆) → (ご) ネットワークの設定はされていますか?

「ネットウォッチャー」や「ケーブル接続」の機能を利用するには、ネットワークの設定が必要です。

ご使用になるネットワーク環境にあわせて、「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」で「ネットワーク」アイコンをダブルクリックし、「クライアント」、「アダプタ」、「プロトコル」の設定を行ってください。



ここでは、本機の機能に関連した補足情報を記載してあります。

Windows 98でMS-DOSモードを利用する

Windows 98のMS-DOSモードを利用するときの注意事項を説明しています。

MS-DOSモードを利用する

MS-DOSプロンプトで動作しないMS-DOSアプリケーションを利用するため に、本機をMS-DOSモードで起動することができます。

 ✓ チェック!? プログラムによっては、MS-DOSモードおよびMS-DOSプロンプトでは利用で きないものがあります。特に、PC-9800シリーズ対応のアプリケーションの多く は、MS-DOSモードやMS-DOSプロンプトでは動作しません。ご使用のアプリ ケーションが利用できるかについてはアプリケーションの製造元にお問い合わ せください。

本機をMS-DOSモードで再起動する

MS-DOSモードを利用するには、次のように操作します。

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする
- 2「MS-DOSモードで再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをク リックする 本機がMS-DOSモードで再起動します。

MS-DOSモードを終了する

1 コマンドプロンプトの画面から、次のように入力する

EXIT[Enter]

Windows 98が再起動します。

MS-DOSモードとMS-DOSプロンプトの違い

MS-DOSアプリケーションやMS-DOSコマンドを利用するには、「MS-DOS モード」と「MS-DOSプロンプト」とがあります。「MS-DOSモード」は、MS-DOSで起動したときと同じような環境になるため、他のアプリケーションと一 緒に使うことはできません。「MS-DOSプロンプト」は、MS-DOSをWindows 98上でマルチタスクのアプリケーションとして使用できるようにしたもので す。

ジチェック? 「MS-DOSモード」または「MS-DOSプロンプト」からは使用できないコマンドや アプリケーションもあります。

MS-DOS プロンプトを起動する

「MS-DOSプロンプト」を利用するには、次のように操作します。

1「スタート」ボタン 「プログラム」「MS-DOSプロンプト」をク リックする 「MS-DOSプロンプト」ウィンドウが表示されます。

✓ チェック! MS-DOSモードでは、PCカードは使用できません。

MS-DOSモードでCD-ROMドライブを利用する

本機は、ご購入時の設定では、MS-DOSモードでCD-ROMドライブを使用 することはできません。MS-DOSモードで内蔵のCD-ROMドライブを使用す る場合は、次の手順が必要です。

現在のMS-DOSモードで内蔵のCD-ROMドライブを使う場合

現在のMS-DOS設定を使う場合で、MS-DOSモード上でCD-ROMを使うときには、次の手順を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする
- 2「MS-DOSモードで再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリッ クする 本機がMS-DOSモードで再起動します。

3 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

SETCD /A[Enter]

CD-ROMドライバがCONFIG.SYS、DOSSTART.BATに追加され、 SETCD実行前のCONFIG.SYS、DOSSTART.BATは拡張子SCD として保存されます。

4 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

EXIT[Enter]

Windows 98が再起動します。

- 5 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする
- 6 「再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリックする 本機が再起動します。
- 7 「スタート」ボタン 「Windowsの終了」をクリックする
- 8「MS-DOSモードで再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリックする MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライブがQドライブに割り当てられます。

新しいMS-DOS設定を指定する場合

新しいMS-DOS設定を指定する

新しいMS-DOS設定を指定する場合、MS-DOSモード上でCD-ROMドライ ブを使用するには、次の手順で行ってください。

 「スタート」ボタン「プログラム」「エクスプローラ」でエクスプローラを起動する 「エクスプローラ」が表示されます。 **2** C: ¥COMMAND.COMをクリックする プログラム名が反転表示されます。

COMMAND.COMは、COMMANDと表示されることもあります。表示の

- 3 「エクスプローラ」の「ファイル」メニューから「プロパティ」をクリックするか、COMMAND.COMを右クリックして「プロパティ」をクリックする 「Commandプロパティ」が表示されます。
- 4 「プログラム」タブをクリックして、「詳細設定」ボタンをクリックする 「プログラムの詳細設定」が表示されます。
- 5 「MS-DOSモード」をクリックして、「新しいMS-DOS設定を指定す る」チェックボックスにチェックをつける CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの内容が編集できるようになり ます。
- **6**「OK」ボタンをクリックする 「プログラムの詳細設定」が閉じます。
- 7 「OK」ボタンをクリックする 「プロパティ」が閉じます。
- 8「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定したCOMMAND.COM をダブルクリックする MS-DOSモードが起動します。
- 9 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

SETCD / A[Enter]

CD-ROMドライバがCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATに追加さ れ、SETCD実行前のCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATは拡張子 SCDとして保存されます。 10 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

EXIT[Enter]

Windows 98が再起動します。

- 11 エクスプローラを起動していない場合は、「スタート」ボタン 「プログラム」「エクスプローラ」でエクスプローラを起動する 「エクスプローラ」が表示されます。
- 12「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定したCOMMAND.COM をダブルクリックする MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライブがQドライブに割り当てら れます。
- チェック!新しいMS-DOS設定したCOMMAND.COMを起動した場合は、次のようなメッ
 セージが表示されることがあります。

「このプログラムはMS-DOSモードで実行するように設定されており、ほかのプログラムの動作中には実行できません。続行するとほかのプログラムをすべて 終了します。続行しますか?」

アフターケアについて

保守サービスについて

お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、ご購入元、Bit-INN、 NECサービスセンター、サービスステーションで承っております。お問い合わ せ窓口やお問い合わせの方法など、詳しくは『NEC PC あんしんサポート ガイド」または『メンテナンス&サポートのご案内』をご覧ください。

添付品の修復、再入手方法について

本機の添付品のうち、次のものは、修復、再入手が可能です(有料)。 ・フロッピーディスク

•CD-ROM

パソコンの型名、Product keyなどは、紛失に備えて控えておくことをおす すめします。

消耗品と消耗部品について

本機の添付品のうち、消耗品と消耗部品は次のとおりです。

種類	概要	本機の場合
消耗品	使用頻度あるいは経過年数により消耗 し、一般的には再生が不可能なもので、お 客様ご自身で購入し、交換していただくも のです。保証期間内であっても、有料で	バッテリパック
		フロッピーディスク
		CD-ROM(媒体)
	す。	
 消耗部品 (有償交換部品)	使用頻度あるいは経過年数により消耗、 摩耗、または劣化し、修理再生が不可能な 部品です。NECサービスセンター、サービ スステーションなどで交換し、お客様に部 品代を請求するものです。保証期間内で ちってまた割の場合が知ります	液晶ディスプレイ
	のつして有料の場合かめります。	

また、本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。

本製品の譲渡について

本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件に従ってください。また、 譲渡を受けられたときには、所定の手続きに従って、「正規ユーザ (980FFICIAL PASSメンバー)」へのご登録を行ってください。

譲渡されるお客様へ

本製品を第三者に譲渡(売却)するときは、以下の条件を満たす必要があり ます。

本機に添付される全てのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと

各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと

譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除したあと、 譲渡すること(本機に添付されている「ソフトウェアの使用条件適用ー 覧」をご覧ください)

✓ チェック? ・パソコン内のデータには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除することをお勧めします。

・ご登録されている製品を第三者に譲渡される場合は、980FFICIAL PASS登録センター(TEL:042-333-5516)まで、ご連絡のうえ必ず登録削除の手続きをお願いいたします。

譲渡を受けられるお客様へ

「正規ユーザ(980FFICIAL PASSメンバー)」へのご登録に必要な以下の 事項を記入し、お手数ですが官製八ガキまたは封書でお送りください。 ただし、「980FFICIAL PASSお客様登録申込書」が未使用で残っている 場合は、その「980FFICIAL PASSお客様登録申込書」でご登録ください。

ご連絡いただきましたお客様へは、適時、展示会、イベント、キャンペーン、セミナーなどのご案内や、ソフトメーカー様からの新作ソフトのご紹介等をお送 りいたします。

記載内容

本体型名および保証書番号(本体背面または本機底部に記載の 製造番号)および当社が添付しているフロッピーディスクラベル上 の「Serial No.(いずれのソフトも同一) 「Serial No.がない場合は不要です。 以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号

あなたの氏名、住所、電話番号

返送先

〒108-8001 東京都港区芝五丁目7番1号 980FFICIAL PASS 登録センター係行

本機の廃棄方法について

本機を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

Windows NT 4.0を使う場合の補足事項

VA33Hで内蔵アクセラレータを利用するには

VA33HにWindows NT 4.0をインストールした場合、内蔵アクセラレータを 利用するには、「3 内蔵アクセラレータの利用(p.116)の手順1~13を 行った後、次の手順を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 2 次のように入力して「OK」ボタンをクリックする

C:¥NT40¥SM710¥SETUP.EXE

- 3 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「プログラムフォルダの選択」の画面で「次へ」ボタンをクリック する
- 5 「セットアップの完了」の画面で「完了」ボタンをクリックする
- 6 本機を再起動する

続いて「4 内蔵サウンドの利用 (p.117)以降をご覧ください。



トラブル解決 Q&A内容一覧

はじめて電源を入れたら

セットアップの画面が表示されない	. 132
セットアップ画面が表示されずに、メッセージが表示された	. 133
セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった	.133
セットアップの途中で電源スイッチを操作してしまったら、「Windowsを終了します。 よろしいですか?」というメッセージが表示された	. 133
ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした)	. 134
セットアップ時に登録した名前やふりがなを変更したい	. 134

電源を入れたが

「Invalid system disk Replace the disk,・・・」と表示された
「Non-system disk or disk error」と表示された136
カーソル以外、画面に何も表示されない136
「Operating System not found」と表示された136
ここに書かれていないその他のメッセージが表示された、またはピーッというエラー音が
した
ディスプレイに何も表示されない138
Windows 98が起動しない139
「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示された140
「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスクドライブにエラーがある可能性が
あります」と表示され、自動的にスキャンディスクがはじまった
パスワードを入力すると、入力されたパスワードが間違っています」と表示される141
パスワードを忘れてしまった141
スリープ状態から復帰(レジューム)したが、何も画面に表示されない142
Windows 98の起動時、「Invalid HIBERNATION XXXX/ fileRUN HDPREPEZ」
または Save to Disk partition not found と表示された143

バッテリを使っていたら

ACアダプタを接続してもバッテリの充電が始まらない14
タスクバーに電源アイコンが表示されない14
フル充電したのに、バッテリ充電ランプ 🚺 が点灯する14
バッテリ充電ランプが点滅する14

電源を切ろうとしたが

電源を切れない。強制的に電源を切りたい146

画面がおかしい

電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる	148
デスクトップ画面を従来のWindowsのスタイルにしたい	148
MS-DOSプロンプト画面がフルスクリーンになってしまった	148
MS-DOSモードを終了してWindows 98に戻りたい	148

MS-DOSプロンプト画面で、Windows 98のスクリーンセーバが起動した149 別売のディスプレイを使っていたら

ディスプレイの省電力機能を設定できない	150
「ディスプレイの種類が指定されていません」というメッセージが表示される	151
表示できるはずの高解像度を選べない	151

NXパッドを操作しても

NXパッドを操作しても、何も反応しない、または反応が鈍い	
------------------------------	--

文字を入力しようとしたら

キーボードのキーを押しても、何も反応しない	156
別売のキーボードを接続したが、キーを押しても反応しない。使えないキーがある	156
キーボードで押したキーと違う文字が表示される	157
記号などで入力できない文字がある	158
MS-DOSプロンプトのとき、バックスラッシュ(¥)が入力できない	158

ファイルを保存しようとしたら

ハードディスクに保存できない	160
フロッピーディスクに保存できない	160
長いファイル名をつけられない。表示できない	160

インターネット / パソコン通信しようとしたら

接続できない16	1
「モデムが正しく応答していません。モデムが電話およびコンピュータに正しく装着されて	С
いるか確認してください。」と表示される16	3
文字がおかしくなったり、データの送受信にエラーが発生する16	3
ファイルを添付したメールをうまく送れない16	5
「発信音が聞こえません。」と表示された16	5
「接続ケーブルまたは回線がモデムに正しく接続されていないか、モデムの電源が	
入っていません」と表示された16	6
「回線はビジーです。」と表示された16	6
「ダイヤル先のコンピュータが応答しません。」と表示された16	7
「回線が混雑しているか、電話回線使用のお客様は、トーン / パルス、	
外線発信番号(" 0 ")の設定、I SDN回線使用のお客様は、同期 / 非同期設定に	
誤りがあります」と表示された16	7
ダイヤラでダイヤルできない16	8
モデムで電話できるか確認したい16	8
「要求されたWebページは、オフラインで使用できません。」と表示される16	9
Internet Explorerや関連製品に関するサポート技術情報について知りたい16	9
自動発着機能が作動しない17	0

ネットワーク(LAN)に接続しようとしたら

ネットワークへの接続方法が分からない	171
ネットワークに接続できない	171
共有ドライブやフォルダが使えない	172

赤外線通信しようとしたら

赤外線通信できない	173
Intellisyncで赤外線デバイスを有効にしようとしたとき、「試みた接続は	
不正なオペレーションです。Intellisyncは正しくインストールされていません。	
続けるには「OK」をクリックして下さい。」と表示された	173

印刷しようとしたら

プリンタから印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される174	4
印刷しようとしたら「FAX送信」、「新しいメッセージの作成」などの	
印刷とは関係のないウィンドウが表示された170	ô

フロッピーディスクを使っていたら

「マイコンピュータ」の3.5インチFDをクリックしたが、ディスクの内容が表示されない177
読み込みはできるが、書き込みができない178
2DDのフロッピーディスクに書き込みができない
ディスクコピーやフォーマットができない175

ハードディスクを使っていたら

ハードディスクの空き領域が足りない180
ファイルをごみ箱に捨てても、ハードディスクの空き領域が増えない181
領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない182
スキャンディスクを実行するとリトライ(再試行)をくりかえし、
エラーメッセージが表示されて終了してしまう182
スキャンディスクで完全チェックを行うと、メッセージが表示されてスキャンディスクが
中断される182
2つ以上の領域にわかれている内蔵ハードディスクを1つの領域にしたい182
ハードディスクを2Gバイト程度しか領域確保できない183
「空きコンベンショナルメモリが足りません」というメッセージが表示され、
FAT32に変換できない
FAT32を利用したい183

CD-ROMを使っていたら

トレイを出し入れできない	184
ディスクをセットしても自動起動しない	184
データを読み出せない、音楽CDの再生中に音飛びする	185
再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない	186

動画の再生中に画面が消えてしまう	. 187
音楽CD再生中に音楽が止まってしまう	. 187
CD-ROMドライブのドライブ番号を変えたい	. 187
MS-DOSモードでCD-ROMドライブを使いたい	. 188
CD-ROMの読み取りエラーメッセージが表示されたら	. 188

周辺機器を取り付けようとしたら

別売の周辺機器を取り付けたが動作しない。別売の周辺機器を取り付けたらパソコンが
起動しなくなった。他の機能が使えなくなった189
プラグアンドプレイ対応の周辺機器のドライバをインストールしたが、デバイスマネージャの
画面に黄色い!」マークが表示され、周辺機器が動作しない192
Windows Updateで最新のデバイスドライバをダウンロードしてドライバを更新したい 192
Windows Updateをしたが、以前の状態に戻したい193
「Windows 98 CD-ROMラベルのついたディスクを挿入して「OK」をクリックしてください。」
というメッセージが表示された193

アプリケーションを使っていたら

アプリケーションが起動しない194
フルカラ - にするようにというメッセージが表示された194
アプリケーションをインストールできない
「メディアプレーヤー」を終了させても、音楽CDが再生されたままになる19
再セットアップするときに、インストールするアプリケーションを選びたい19
Windows 95版のアプリケーションをWindows 98でも使用したい
MS-DOS通信アプリケーションがうまく動作しない19

スタンバイ状態(サスペンド)にしようとしたら

スタンバイ状態(サスペンド)にできない。または、省電力の設定をしても自動スリープ	機能が
利用できない(APMモード時)	200
自動的にスタンバイ状態(サスペンド)にならない	200

休止状態(ハイバネーション)にしようとしたら

休止状態(ハイバネーション)の処理画面が表示されずスタンバイ状態(サスペンド)に なってしまう
ハイバネーション設定ユーテリティを使用して休止状態(ハイバネーション)を使用するように設定すると、エラーメッセージが表示される20
Windows 98の起動時、「Invalid HIBERNATION XXXX/ fileRUN HDPREPEZ」またに 「Save to Disk partition not found」と表示された

スリープ状態から復帰(レジューム)しようとしたら

スリープ状態から復帰(レジューム)したが、スリープ状態にする前の状態の画面が	
表示されない	203
電源が切れた	203

その他

日付や時刻が正しく表示されない	204
Windows Updateができない	205
2000年問題について知りたい	205
Windows 98起動ディスクを作成したい	206
Windows 98起動ディスクからパソコンを起動したい	206
動作状況が不安定になった	207
コンピュータウィルスが検出された	207
「追加情報 READMEファイル」を参照したい	208
「ネットウォッチャー」や「ケーブル接続」の機能を利用できない	208

総索引

英字

2000年問題 205
Acrobat Reader 3.0J $\ldots \ldots$ 35, 51
CyberAccess 11, 36, 51
$Cyber \texttt{Warner-NX} \ \dots \ 14, \ 36, \ 51$
FAT32 183
Intel® LANDesk® Client Manager 6.0
(with NEC Extensions)20, 41, 53
Intellisync5, 33, 49
Masty Data Backup 22, 43, 55
MS-DOSプロンプト 158, 211
MS-DOSモード 210, 211
NEC Soft MPEG1.010, 34, 49
NXパッド 154
Office 2000 Personal4, 32, 47, 93
pcAnywhere 9.0 EX 20, 42, 54
RSA SecurPC21, 42, 54
Safe mode 140
Virtual CD 223, 44, 56
VirusScan18, 39, 52
Windows NT 4.0

あ行

アフターケア	215
アプリケーション 2, 30, 45,	194
-太郎10パック 5, 32, 48,	97
インターネットエクスプローラ 5, 162,	169
インターネット設定切替ツール 22, 44,	56
印刷	174
ウィルス	. 18
英語モードフォント19, 40,	53

か行

解像度15	1
カスタム再セットアップ68, 71, 7	4
キーボード15	6
休止状態	1
強制的に電源を切る方法14	6
コンピュータウィルス	7

さ行

再セットアップ57
サスペンド
自動メール受信ユーティリティ23
周辺機器189
スタンバイ状態200
スーパバイザパスワード142
スキャンディスク 140, 182
スリープ203
赤外線通信 5, 173

た行

な行

日本語入力												1	5	7
ネットワーク												1	7	1

は行

ハードディスク180
ハイバネーション
パスワード141
バッテリ144
標準再セットアップ64
プリンタ174
フロッピーディスク177
プレーヤ-NX 10, 35, 50
ま行
文字コード
モデム161
や行
ユーザー情報134
ら行
レジューム203
わ行
ワンタッチスタートボタン 23

トラブルチェックシート

お問い合わせにお答えするには、あなたのパソコンの構成やトラブルの具体的な症状を お知らせいただく必要があります。

このシートに記入してからお問い合わせしていただくと、より的確で迅速なお答えができます。ぜひ、記入してからお問い合わせください。

本体	
型名	
製造番号(パソコンの底部に)	
メモリの容量	MB(メガバイト)
メモリの容量を調べるには マイコンピュ クリックしてください。「 MBのRAM	ュータのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」を 」という表示の「 」がメモリの容量です。
ハードディスクの容量	GB(ギガバイト)
ハードディスクの空き領域	MB(メガバイト)
ハードディスクの容量、空き領域を調べる クして、表示されるメニューの「プロパラ	5には マイコンピュータを開き、ハードディスクのアイコンを右クリッ -ィ」をクリックしてください。使用容量や空き領域が表示されます。
周辺機器	品名・型名(メーカー名)
ディスプレイ	
プリンタ	
増設ハードディスク	
PC カード	
その他の周辺機器	
ソフトウェア	
OS のバージョンと発売メー	・カー
Windows 98	Windows NT (バージョン

トラブルチェックシート2 具体的なトラブルの内容
どんなトラブルが起きましたか? トラブルの内容を書いてください。
画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか? メッセージや番号を書いてください。
そのトラブルはどんなときに起きましたか?
パソコンを起動するたびに起きる
そのアプリケーションを起動するたびに起きる
特定の操作を行うと起きる
はじめて起きた
その他に気づいたことがあれば書いてください。





PC98-NX SERIES VersaPro NX

(Windows 98 インストール)

初版 1999年10月 NEC P



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙 (古紙率:表紙50%、本文100%)を使用しています。